

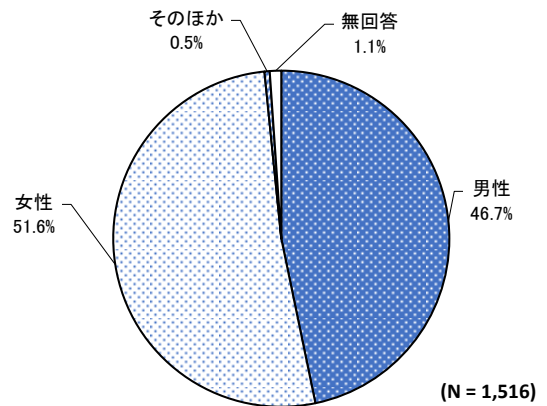
I 子ども調査

第1章 回答者属性（フェイス項目）の概要

性別 問47（F1）

■あなたの性別をお答えください。

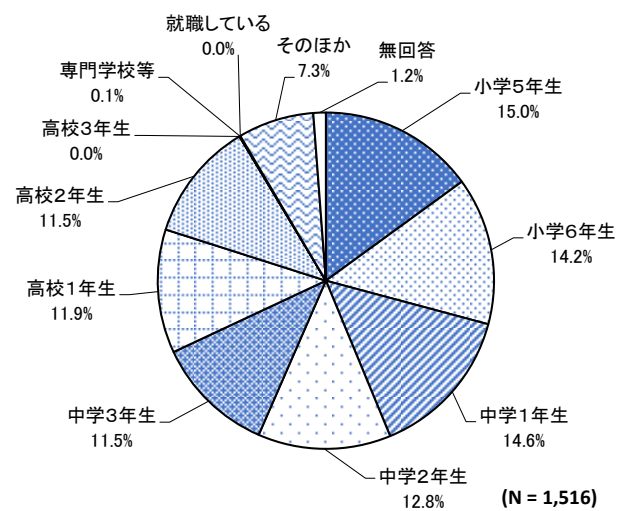
	回答数	構成比
男性	708	46.7%
女性	783	51.6%
そのほか	8	0.5%
無回答	17	1.1%
全体	1,516	100.0%



学年 問48（F2）

■あなたの学年をお答えください。

	回答数	構成比
小学5年生	227	15.0%
小学6年生	215	14.2%
中学1年生	222	14.6%
中学2年生	194	12.8%
中学3年生	175	11.5%
高校1年生	180	11.9%
高校2年生	174	11.5%
高校3年生	0	0.0%
専門学校等	1	0.1%
就職している	0	0.0%
そのほか	110	7.3%
無回答	18	1.2%
全体	1,516	100.0%



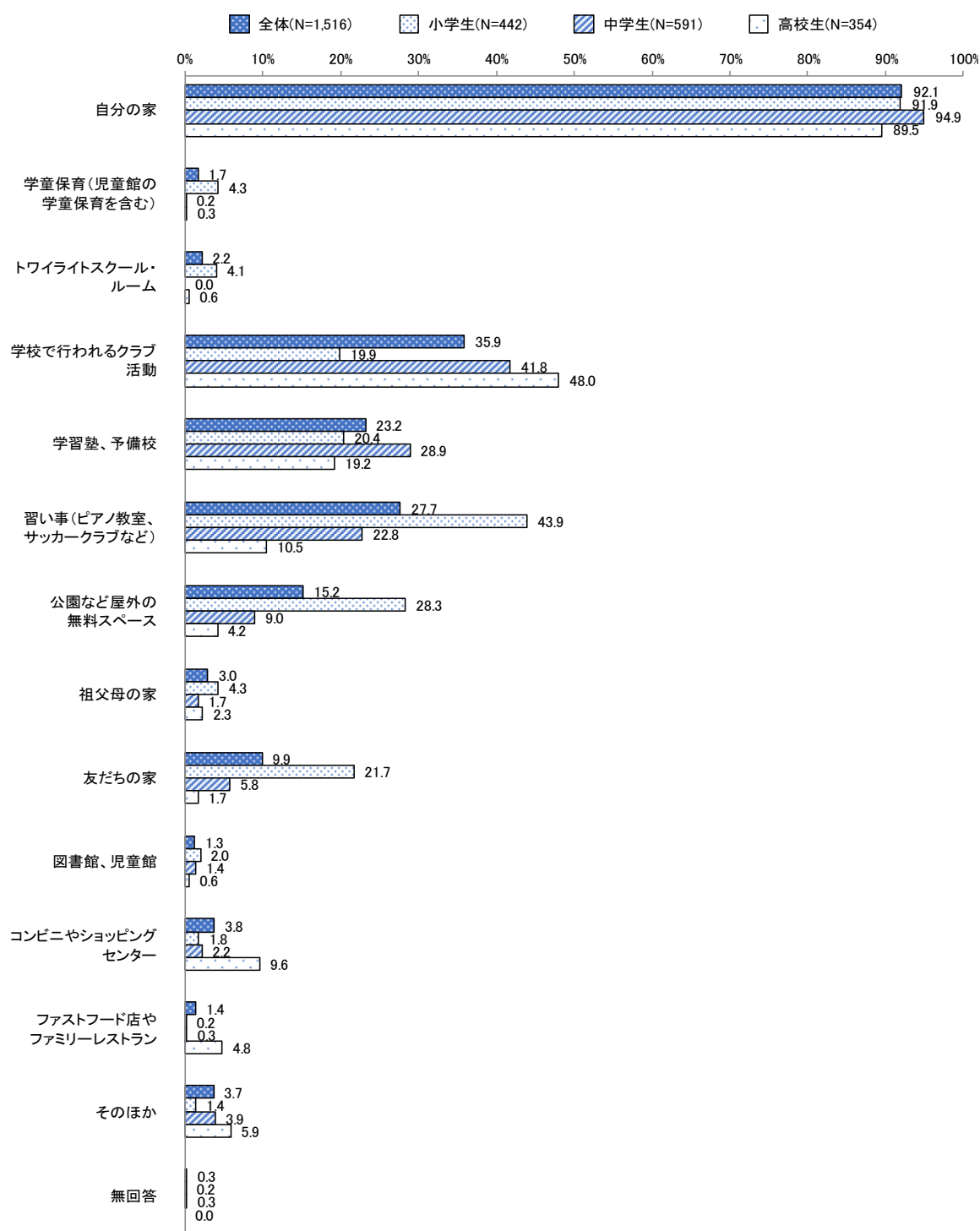
第2章 質問

～日常の生活や過ごし方に関する質問～

平日の放課後の過ごし方について 【問1】

■あなたは平日の授業が終わった後、主にどこで過ごしますか。（3つまで）

- ◇ 全体の92.1%は「自分の家」で過ごしている。次いで、「学校で行われるクラブ活動」が35.9%、「習い事」が27.7%、「学習塾、予備校」が23.2%、「公園など屋外の無料スペース」15.2%となっている。
- ◇ 小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「習い事」「公園など屋外の無料スペース」「友だちの家」で過ごす割合が高く、中学生は「学習塾、予備校」、高校生は「コンビニやショッピングセンター」が高くなっている。



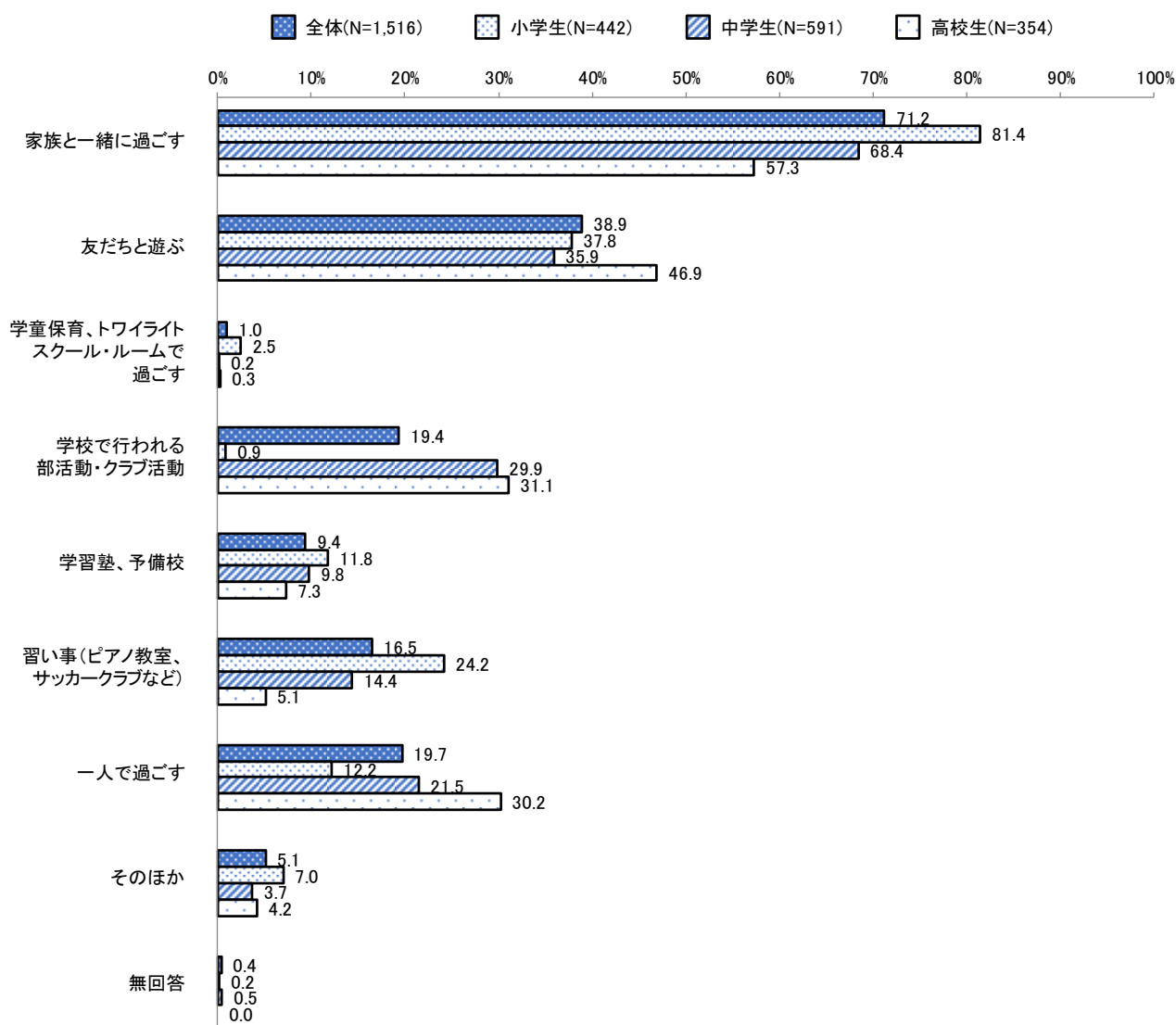
【前回調査との数値比較】

	自分の家			習い事		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	86.8	92.1	5.3	23.0	27.7	4.7
小学生	86.3	91.9	5.6	44.4	43.9	▲ 0.5
中学生	89.8	94.9	5.1	19.8	22.8	3.0
高校生	88.1	89.5	1.4	7.1	10.5	3.4

学校が休みの時の過ごし方について 【問 2】

■学校が休みのときは、主にどのように過ごしていますか。（2つまで）

- ◇ 「家族と一緒に過ごす」が71.2%と最も多く、次いで「友だちと遊ぶ」が38.9%、「一人で過ごす」が19.7%となっている。
- ◇ 小学生は中学生、高校生に比べて「家族と一緒に過ごす」「習い事」の割合が高く、中学生と高校生は「学校で行われる部活動・クラブ活動」の割合が高い。



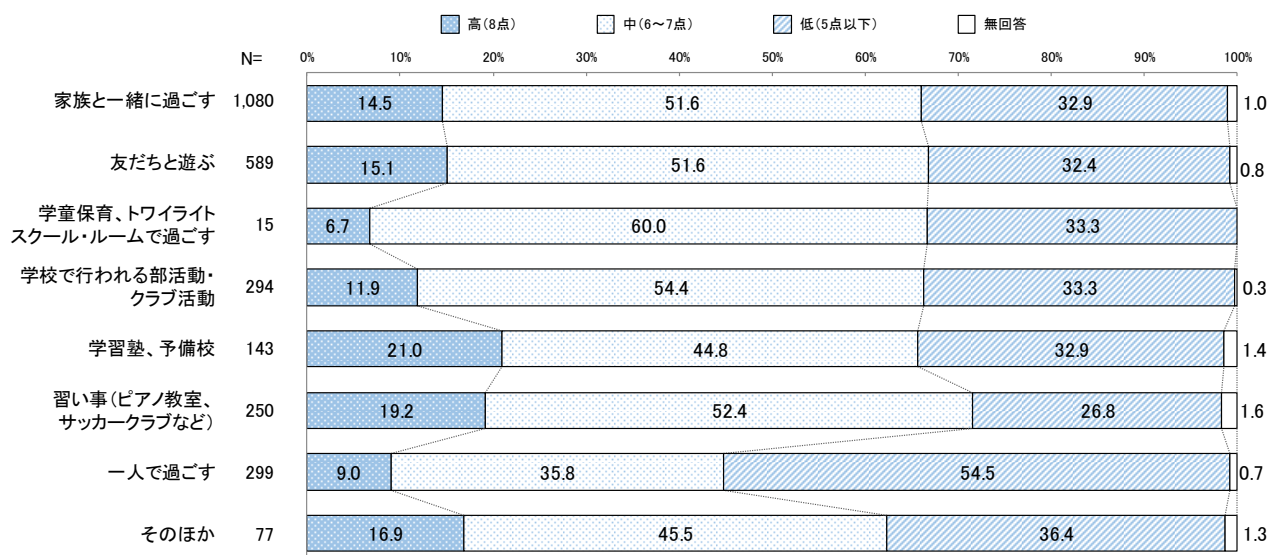
【前回調査との数値比較】

	家族と一緒に過ごす			一人で過ごす		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	67.1	71.2	4.1	15.7	19.7	4.0
小学生	84.5	81.4	▲ 3.1	7.6	12.2	4.6
中学生	64.3	68.4	4.1	16.3	21.5	5.2
高校生	57.3	57.3	0.0	23.7	30.2	6.5

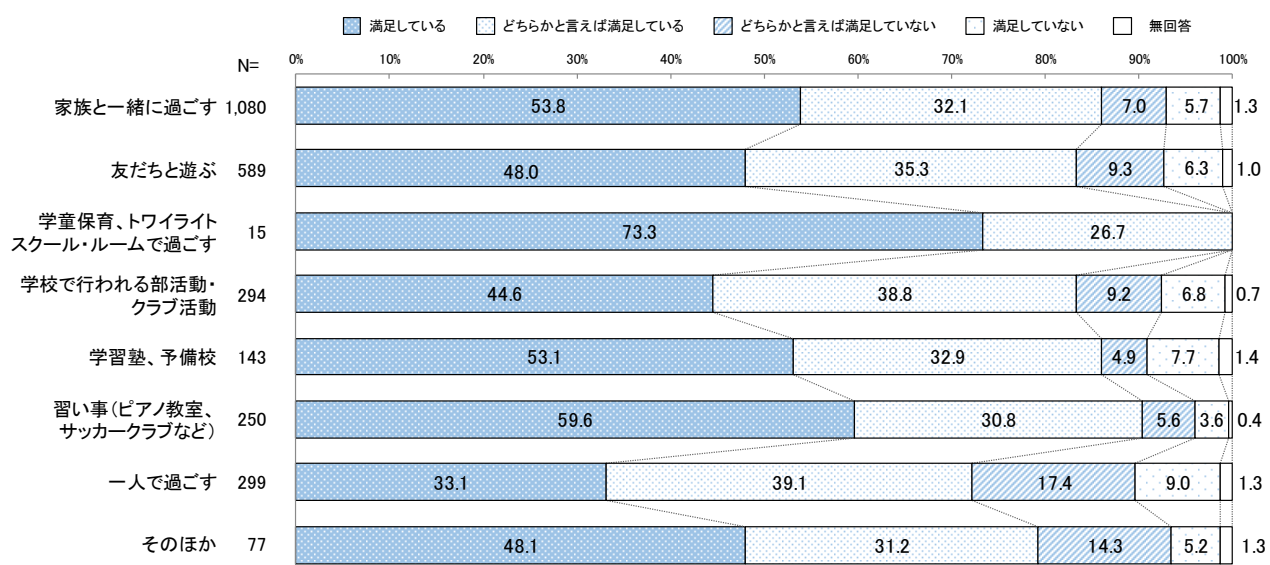
『学校が休みの時の過ごし方（問 2）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ 学校が休みの時に一人で過ごす子は「自己肯定感」や「生活満足度」が低い。

<自己肯定感指標>



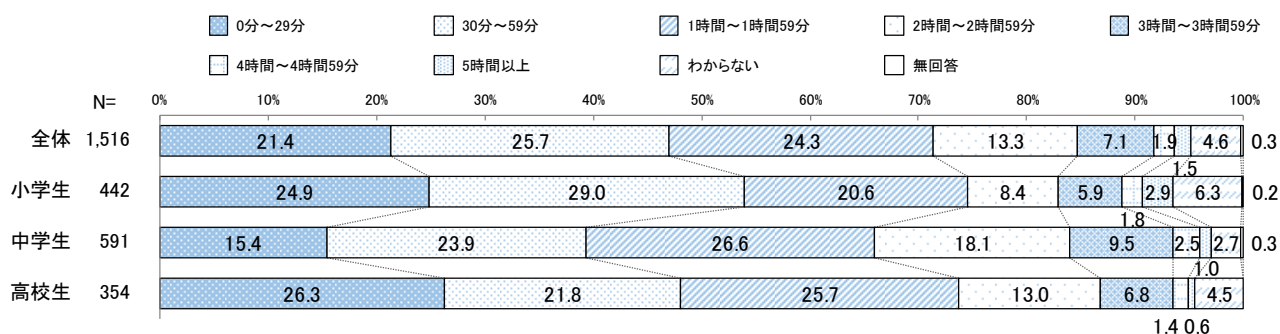
<生活満足度>



平日の授業以外の勉強時間について 【問3】

■平日、学校の授業のほかに、どのくらい勉強をしますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「30分～59分」が25.7%と最も多く、次いで「1時間～1時間59分」が24.3%、「0～29分」が21.4%となっている。また、「2時間以上」は合わせて23.8%である。
- ◇ 1時間以上勉強する割合は、中学生が57.7%と最も高く、小学生が39.6%と最も低くなっている。



【前回調査との数値比較】

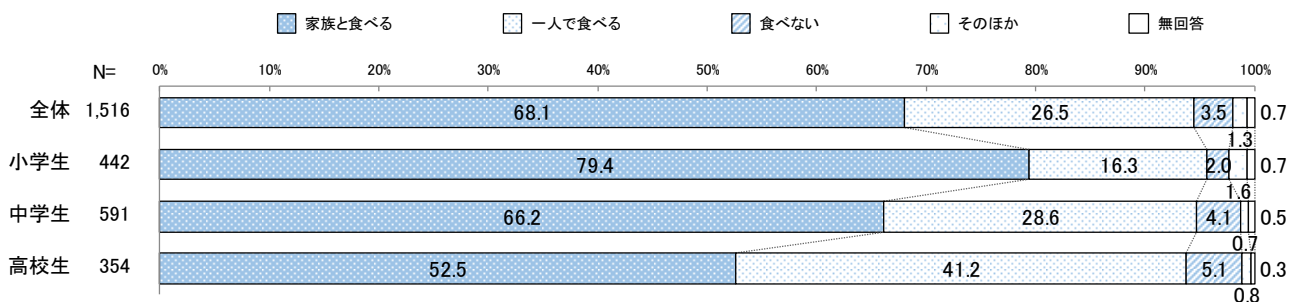
	1 時間未満		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	44.0	47.1	3.1
小学生	53.2	53.9	0.7
中学生	35.2	39.3	4.1
高校生	48.9	48.1	▲ 0.8

平日の食事について 【問4】

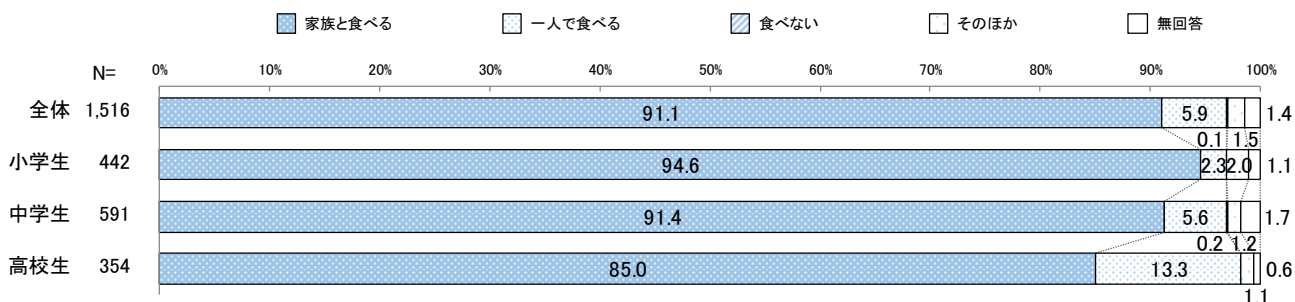
■平日は主にだれと食事をしていますか。（1つ）

- ◇ 全体では、朝食、夕食ともに「家族と食べる」が最も多く、朝食で 68.1%、夕食で 91.1%を占めている。夕食は朝食より「家族と食べる」の割合が 23.0%高い。また、朝食を「食べない」が 3.5%である。
- ◇ 朝食、夕食ともに「一人で食べる」の割合は、高校生になるにつれて高くなる。

ア. 朝食



イ. 夕食



【前回調査との数値比較】

ア. 朝食

	家族と食べる			一人で食べる		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	67.9	68.1	0.2	23.6	26.5	2.9
小学生	83.8	79.4	▲ 4.4	10.2	16.3	6.1
中学生	70.9	66.2	▲ 4.7	22.8	28.6	5.8
高校生	52.5	52.5	0.0	38.8	41.2	2.4

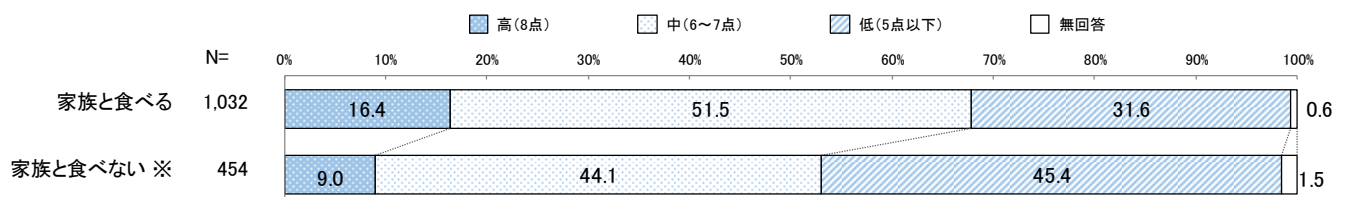
イ. 夕食

	家族と食べる			一人で食べる		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	86.5	91.1	4.6	6.3	5.9	▲ 0.4
小学生	91.9	94.6	2.7	2.1	2.3	0.2
中学生	90.2	91.4	1.2	4.7	5.6	0.9
高校生	81.3	85.0	3.7	12.6	13.3	0.7

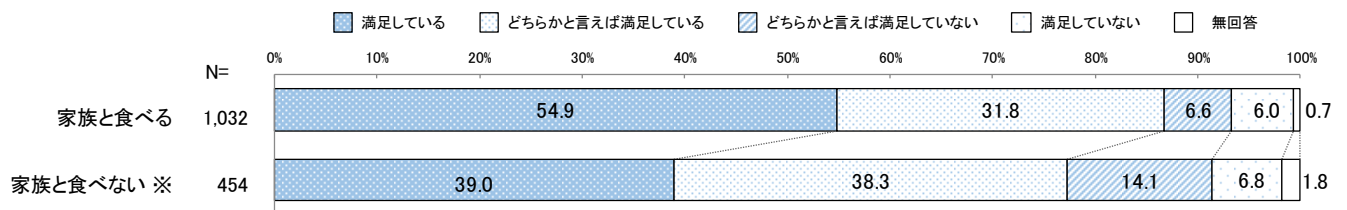
『平日の食事（問 4）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ 家族と食事をする子の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

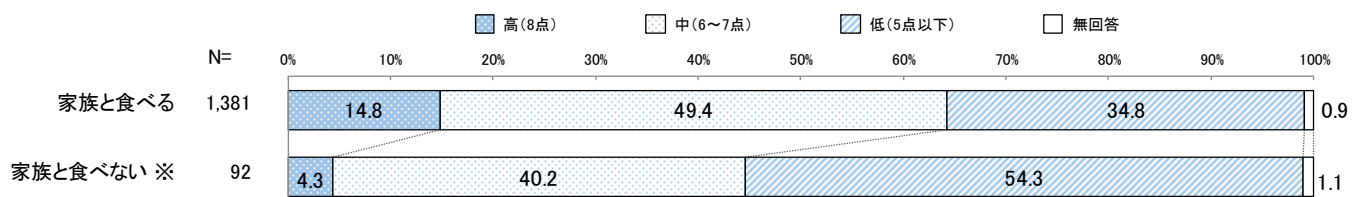
<朝食・自己肯定感指標>



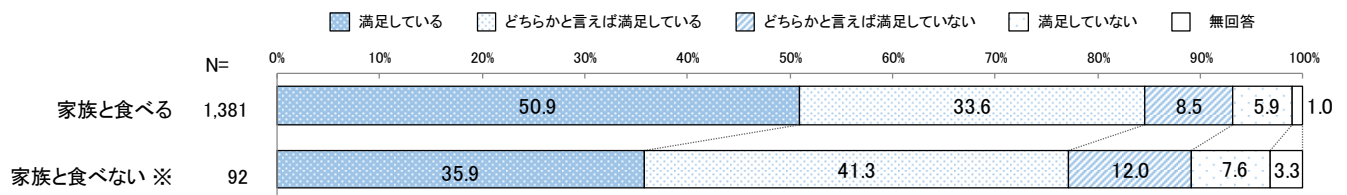
<朝食・生活満足度>



<夕食・自己肯定感指標>



<夕食・生活満足度>

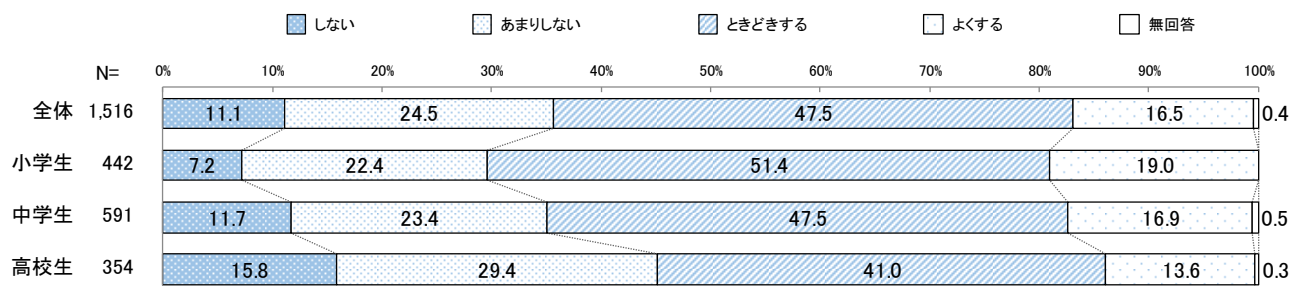


※家族と食べない：一人で食べる+食べない

家の手伝いについて 【問5】

■家の手伝いをしますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「ときどきする」が47.5%で最も多く、次いで「あまりしない」が24.5%、「よくする」が16.5%となっている。また、「しない」が11.1%である。
- ◇ 小学生が手伝いをする割合は最も高く、中学生、高校生になるにつれてその割合が低下する。



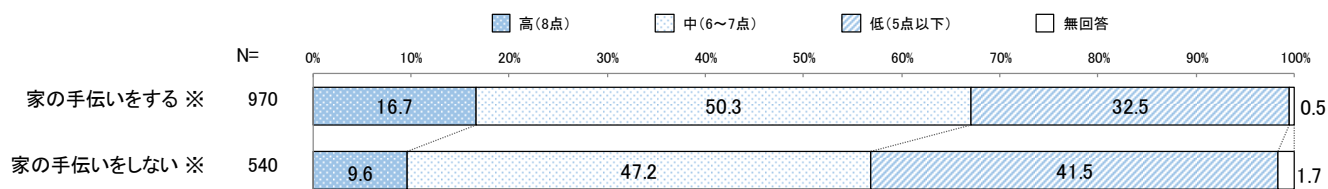
【前回調査との数値比較】

	ときどきする＋よくする		
	平成30年	令和5年	変化量
全 体	62.6	64.0	1.4
小学生	73.1	70.4	▲ 2.7
中学生	63.4	64.4	1.0
高校生	54.3	54.6	0.3

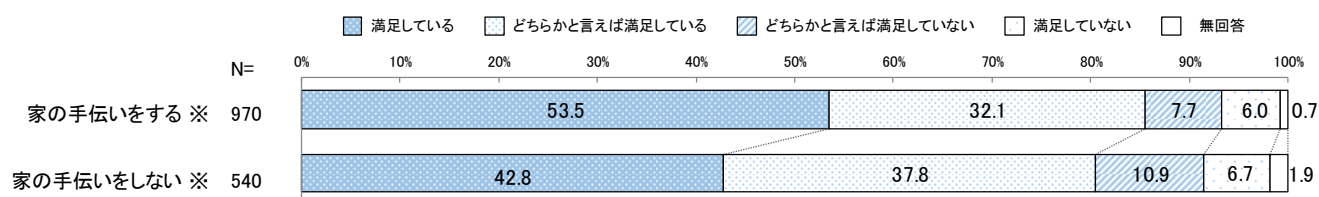
『家の手伝い（問5）と自己肯定感（問32・33）・生活満足度（問34）』

○ 家の手伝いをする子の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

<自己肯定感指標>



<生活満足度>



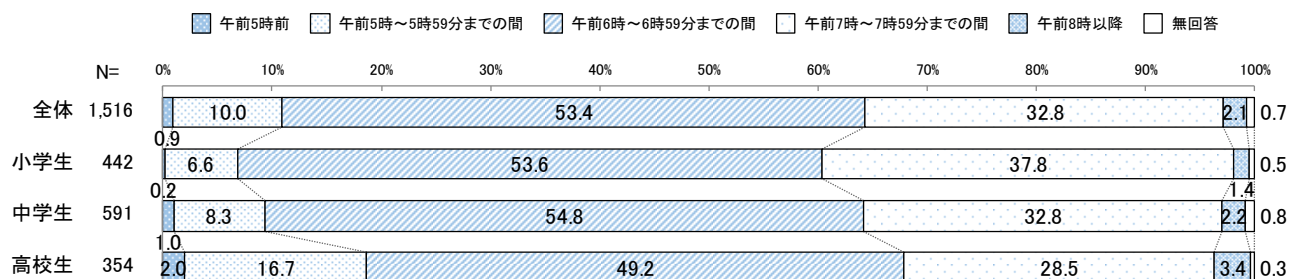
※家の手伝いをする：よくする＋ときどきする ※家の手伝いをしない：あまりしない＋しない

平日の起床時間と就寝時間について 【問6】

■平日の起きる時間と寝る時間は何時頃ですか。（1つ）

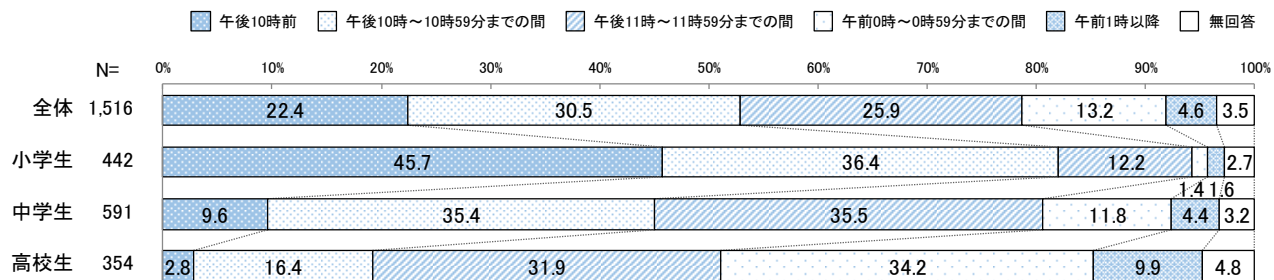
（1）起きる時間

- ◇ 全体では「午前6時～6時59分までの間」に起きる割合が53.4%と最も高く、「午前7時～7時59分までの間」が32.8%である。
- ◇ 高校生は小学生に比べて早く起きる割合が高く、67.9%の人が「午前6時台」までに起きている。



（2）寝る時間

- ◇ 全体では「午後10時～10時59分までの間」に寝る割合が30.5%と最も高く、「午後11時～11時59分までの間」が25.9%となっている。
- ◇ 小学生は「午後10時前」の割合が高いが、中学生と高校生は「午後11時台」「午前0時台」の割合が高くなる。



【前回調査との数値比較】

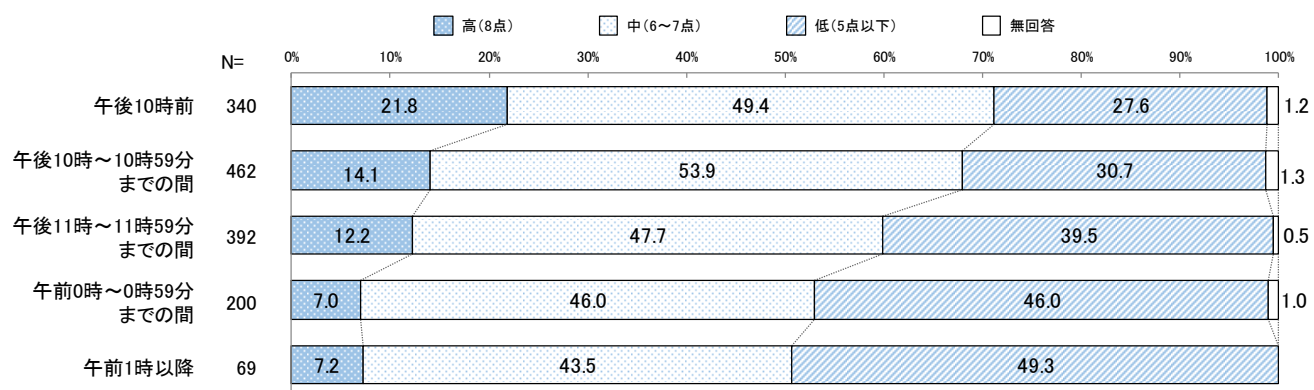
	午前7時前に起床		
	平成30年	令和5年	変化量
全 体	62.1	64.3	2.2
小学生	58.3	60.4	2.1
中学生	59.5	64.1	4.6
高校生	73.3	67.9	▲ 5.4

午後11時以降に就寝		
平成30年	令和5年	変化量
50.5	43.7	▲ 6.8
16.2	15.2	▲ 1.0
54.9	51.7	▲ 3.2
81.9	76.0	▲ 5.9

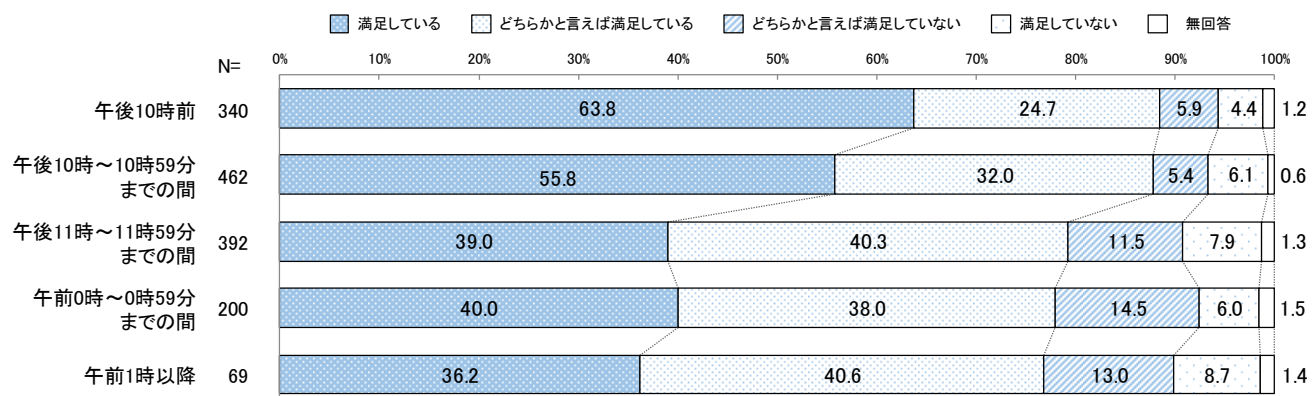
『就寝時間（問 6）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ 就寝時間が早い子ほど「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

< 自己肯定感指標 >



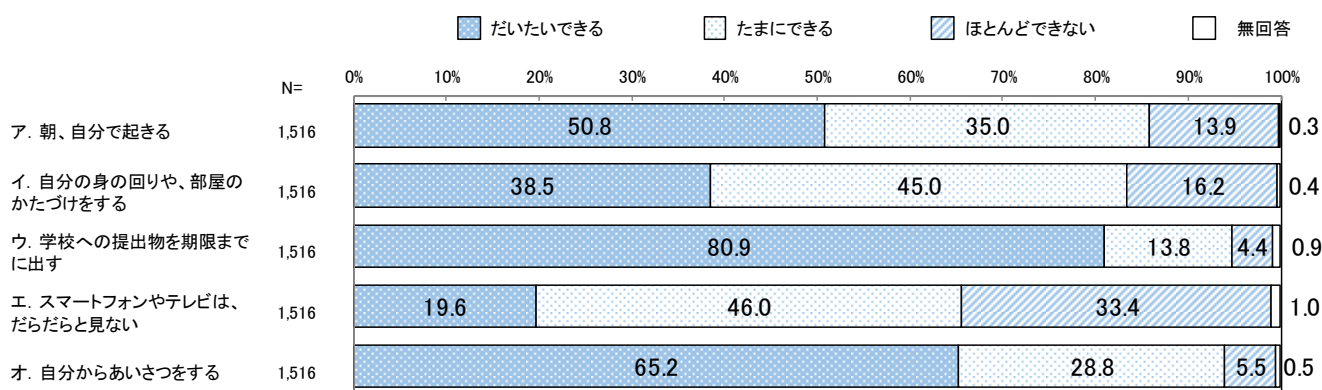
< 生活満足度 >



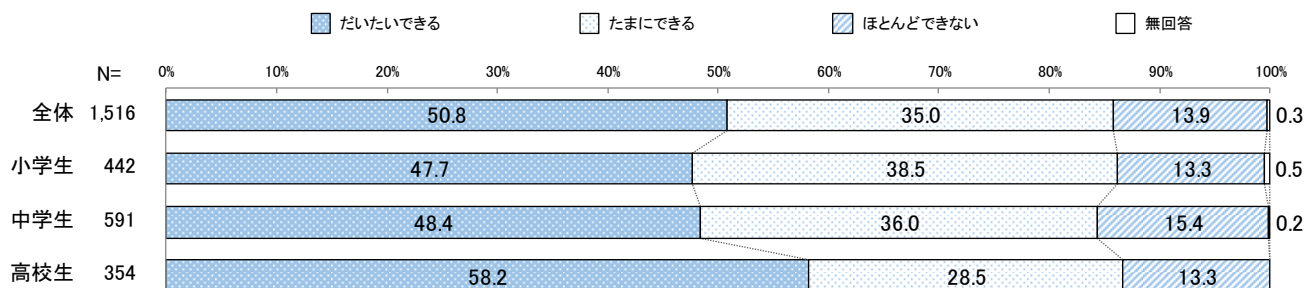
自分でできることについて 【問7】

■次のことができますか。(1つ)

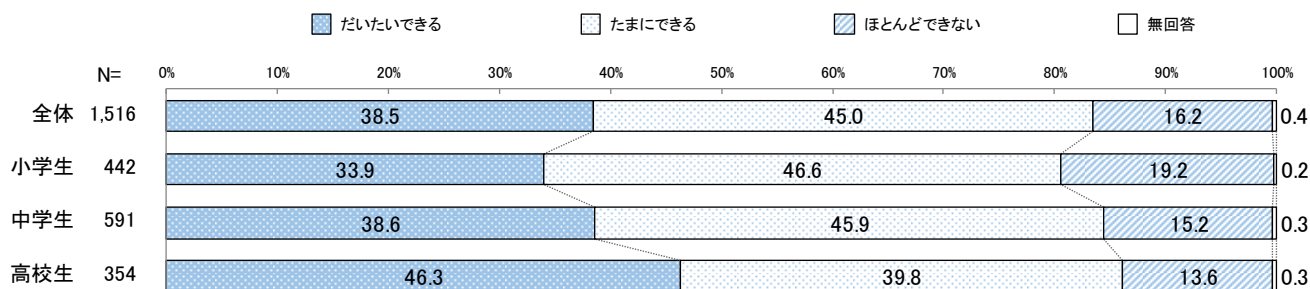
- ◇ 全体において、「だいたいできる」の割合が高いのは、「学校への提出物を期限までに
出す」(80.9%)、「自分からあいさつをする」(65.2%)である。
- ◇ 全体において、「ほとんどできない」の割合が高いのは、「スマートフォンやテレビは
だらだらと見ない」(33.4%)、「自分の身の回りや、部屋のかたづけをする」(16.2%)
である。
- ◇ 高校生になるにつれて、「スマートフォンやテレビは、だらだらと見ない」を「ほと
んどできない」と回答した人の割合が高くなっている。



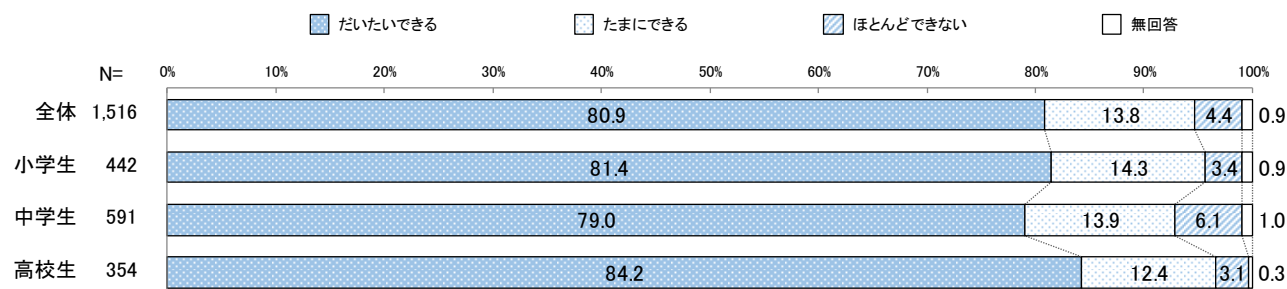
ア. 朝、自分で起きる



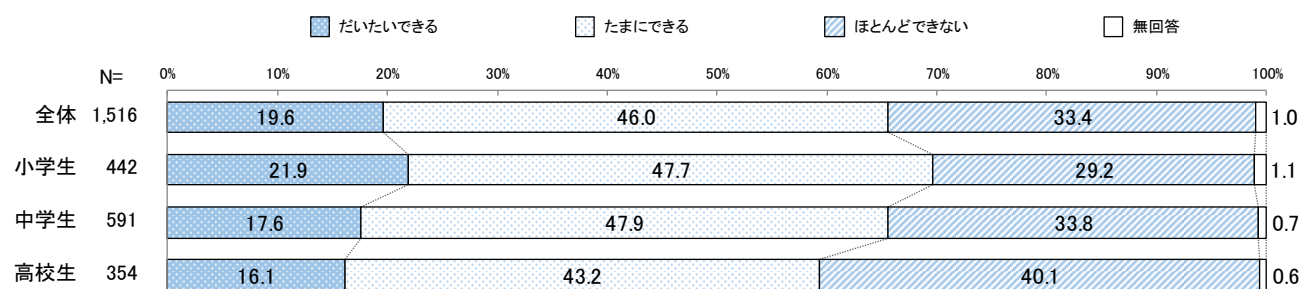
イ. 自分の身の回りや、部屋のかたづけをする



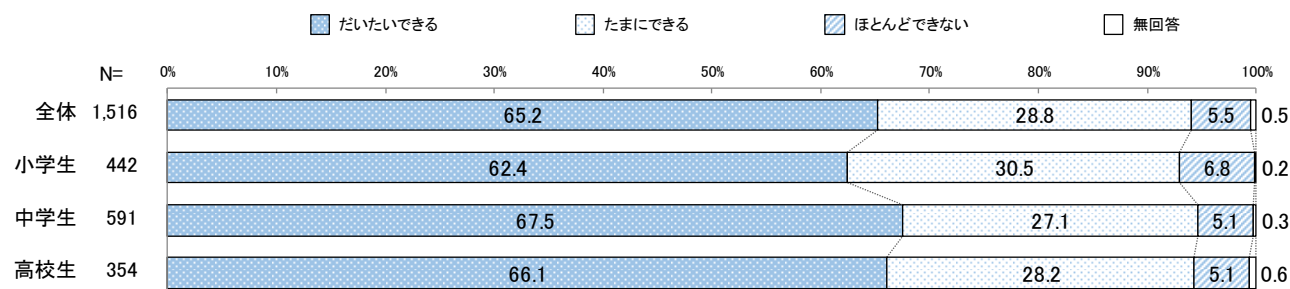
ウ. 学校への提出物を期限までに出す



エ. スマートフォンやテレビは、だらだらと見ない



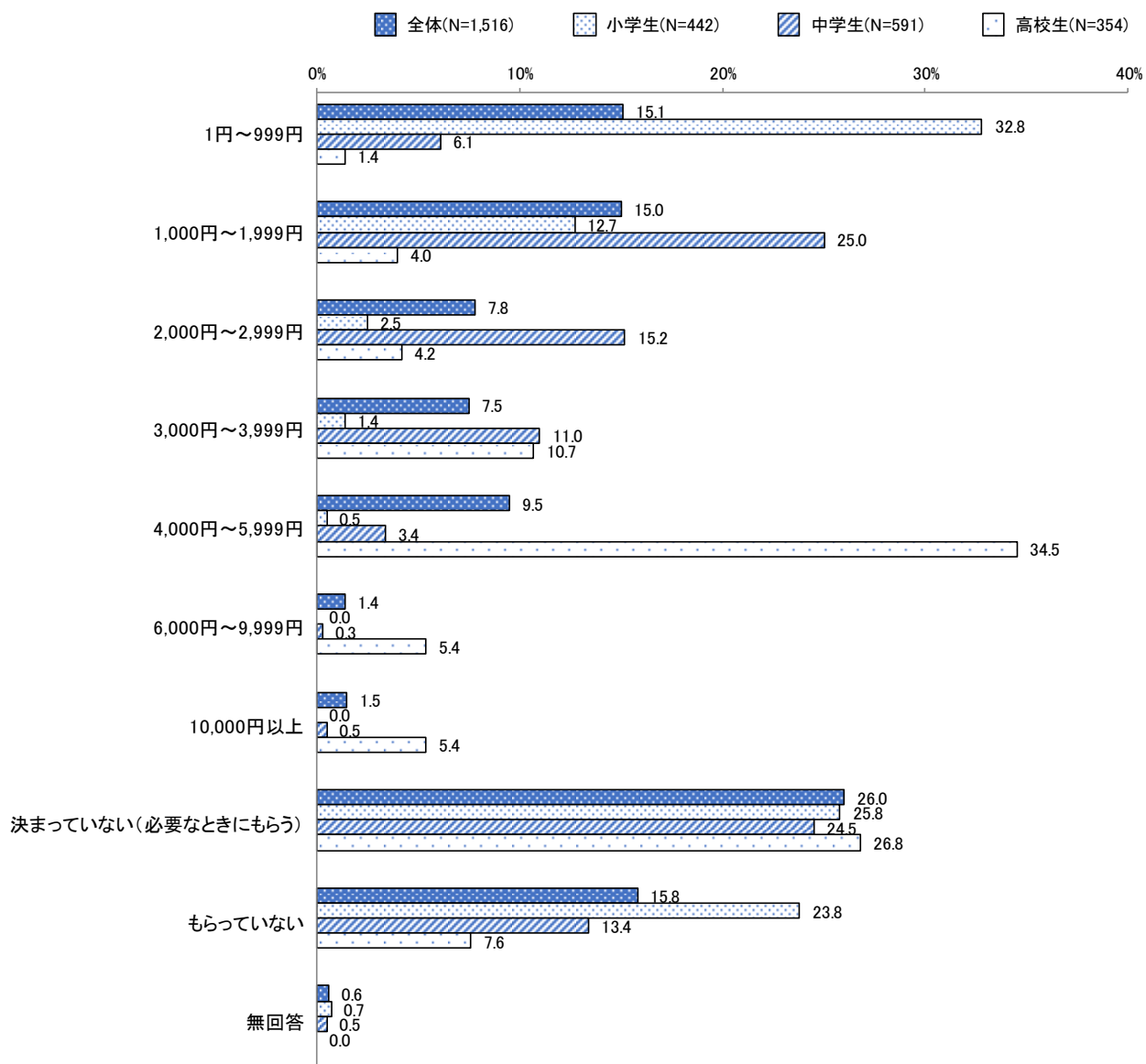
オ. 自分からあいさつをする



1ヶ月のこづかいについて 【問8】

■ 1ヶ月にこづかいをいくらもらっていますか。(1つ)

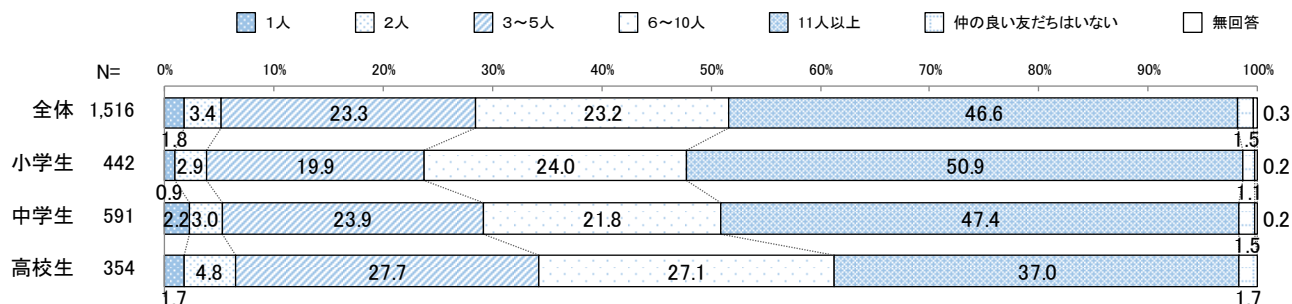
- ◇ 全体では、「決まっていない(必要なときにもらう)」が26.0%で最も多く、次いで「もらっていない」が15.8%、「1円～999円」が15.1%となっている。
- ◇ 小学生は「1円～999円」の割合が32.8%と最も高い。また、中学生は「1,000円～1,999円」の割合が25.0%、高校生は「4,000円～5,999円」の割合が34.5%とそれぞれ最も高い。



仲の良い友だちについて 【問 9】

■仲の良い友だちは何人いますか。(1つ)

- ◇ 全体では「11人以上」が46.6%と最も多く、次いで「3～5人」が23.3%、「6～10人」が23.2%となっている。また、「仲の良い友だちはいない」は1.5%である。
- ◇ 小学生は5割以上が「11人以上」と回答しているのに対し、高校生の5割以上は2～10人と回答している。



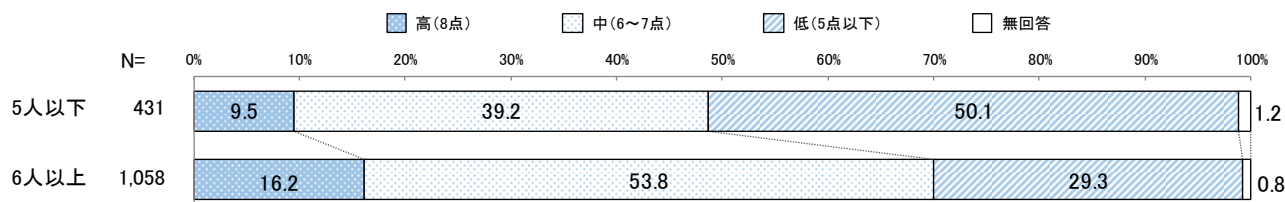
【前回調査との数値比較】

	5人以下			6人以上		
	平成30年	令和5年	変化量	平成30年	令和5年	変化量
全 体	22.9	28.5	5.6	73.4	69.8	▲ 3.6
小学生	17.8	23.7	5.9	80.3	74.9	▲ 5.4
中学生	22.1	29.1	7.0	74.4	69.2	▲ 5.2
高校生	30.1	34.2	4.1	68.7	64.1	▲ 4.6

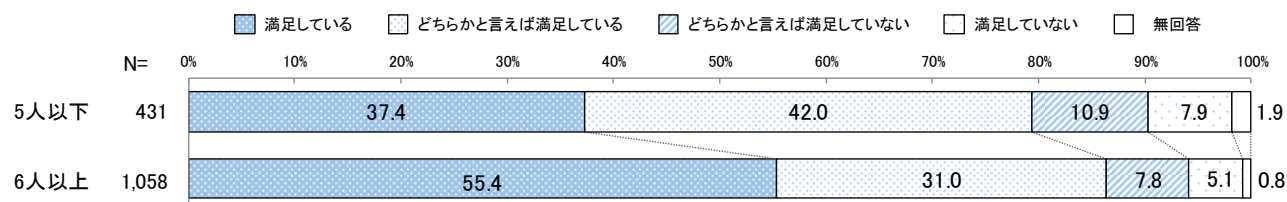
『友だちの人数（問 9）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ 友だちの数が6人以上の子は「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

<自己肯定感指標>



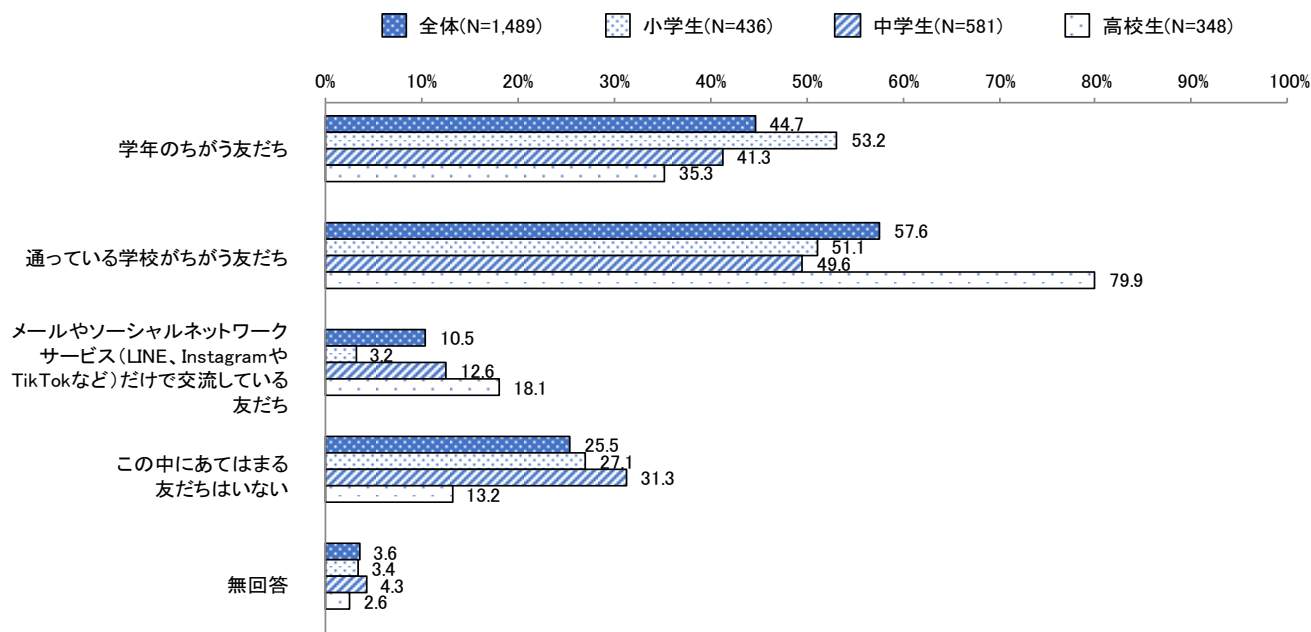
<生活満足度>



仲の良い友だちの種類について 【問 10】

■仲の良い友だちの中に、次のような人はいますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「通っている学校がちがう友だち」が 57.6%で最も多く、次いで「学年のちがう友だち」が 44.7%、「メールやソーシャルネットワークサービス（LINE、Instagram や TikTok など）だけで交流している友だち」が 10.5%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて、「メールやソーシャルネットワークサービス（LINE、Instagram や TikTok など）だけで交流している友だち」の割合が高くなっている。



【前回調査との数値比較】

	学年のちがう友だち		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	45.8	44.7	▲ 1.1
小学生	59.2	53.2	▲ 6.0
中学生	43.9	41.3	▲ 2.6
高校生	35.3	35.3	0.0

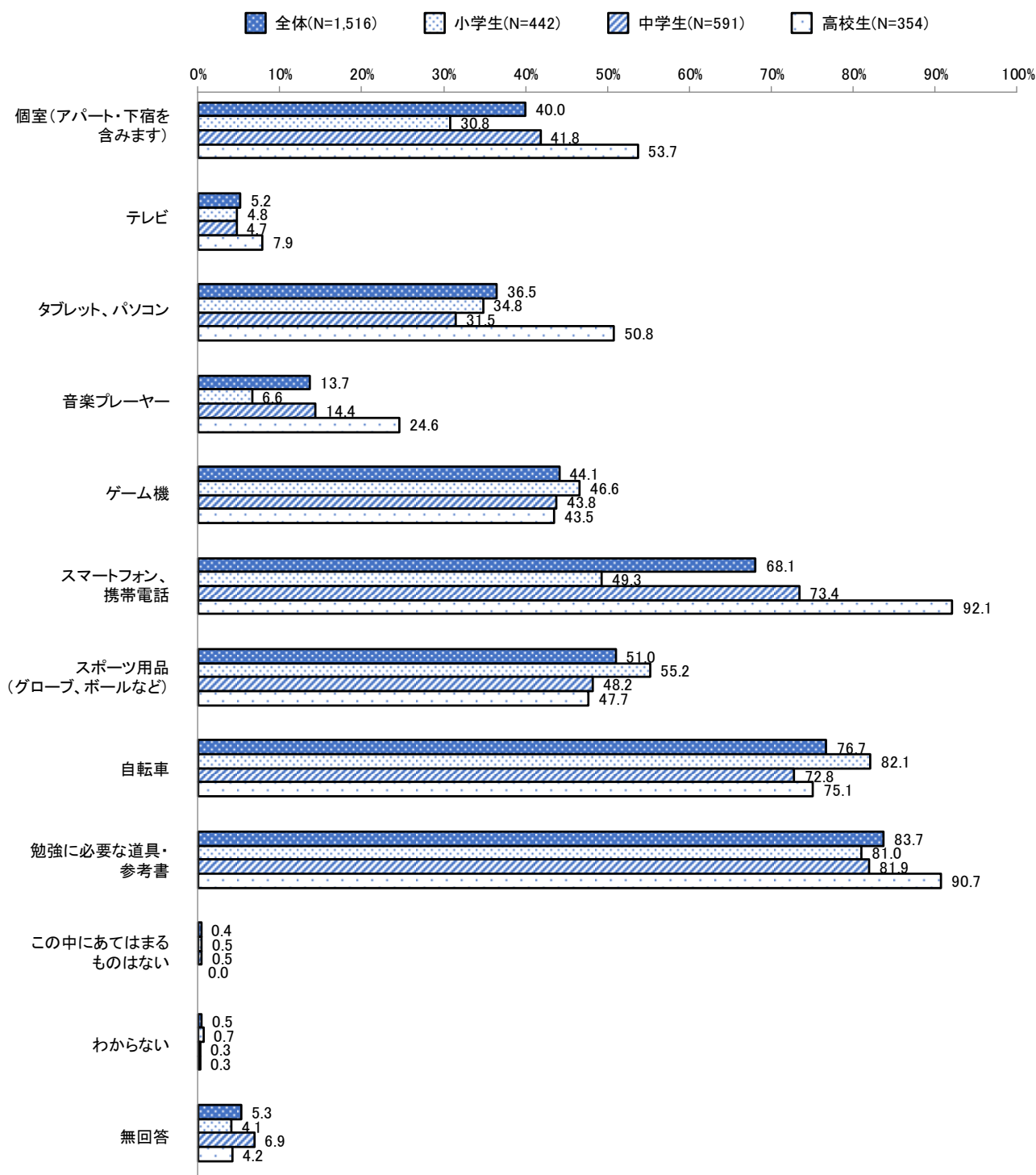
通っている学校がちがう友だち		
平成 30 年	令和 5 年	変化量
59.5	57.6	▲ 1.9
54.0	51.1	▲ 2.9
49.2	49.6	0.4
78.3	79.9	1.6

	メールやSNSだけで交流している友だち		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	5.5	10.5	5.0
小学生	1.2	3.2	2.0
中学生	4.9	12.6	7.7
高校生	10.6	18.1	7.5

自分専用の持ち物について 【問 11】

■あなた「専用」のものを持っていますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「勉強に必要な道具・参考書」が 83.7%で最も多く、次いで「自転車」が 76.7%、「スマートフォン、携帯電話」が 68.1%となっている。
- ◇ 「勉強に必要な道具・参考書」は、小学生、中学生、高校生のいずれも同様に、80%以上と高い割合がみられる。
- ◇ 「勉強に必要な道具・参考書」以外で割合が高いのは、小学生の場合は「自転車」、中学生、高校生の場合は「スマートフォン、携帯電話」である。



【前回調査との数値比較】

	小学生		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
個室	28.2	30.8	2.6
タブレット、パソコン	8.6	34.8	26.2
スマートフォン、携帯電話	43.5	49.3	5.8
自転車	85.9	82.1	▲ 3.8

	中学生		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
個室	38.2	41.8	3.6
タブレット、パソコン	16.6	31.5	14.9
スマートフォン、携帯電話	61.6	73.4	11.8
自転車	80.6	72.8	▲ 7.8

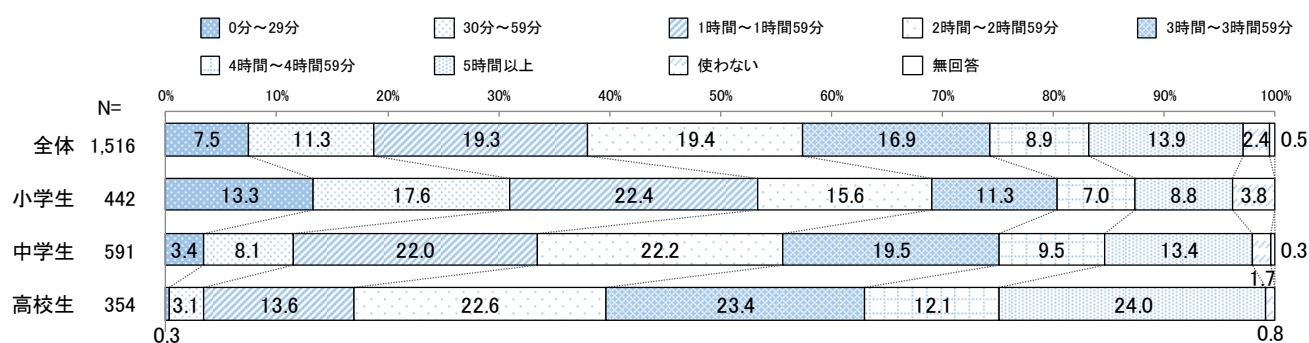
	高校生		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
個室	51.6	53.7	2.1
タブレット、パソコン	17.8	50.8	33.0
スマートフォン、携帯電話	94.5	92.1	▲ 2.4
自転車	84.0	75.1	▲ 8.9

インターネットの使用時間について 【問 12】

■学校の授業以外で、タブレット、パソコンやスマートフォン、携帯電話などでインターネットを1日どのくらい使いますか。(1つ)

◇ 全体では、「2 時間～2 時間 59 分」が 19.4%で最も多く、次いで「1 時間～1 時間 59 分」が 19.3%、「3 時間～3 時間 59 分」が 16.9%となっている。

◇ 高校生になるにつれて、2 時間未満の割合は低くなっているが、2 時間以上の割合は高くなっている。



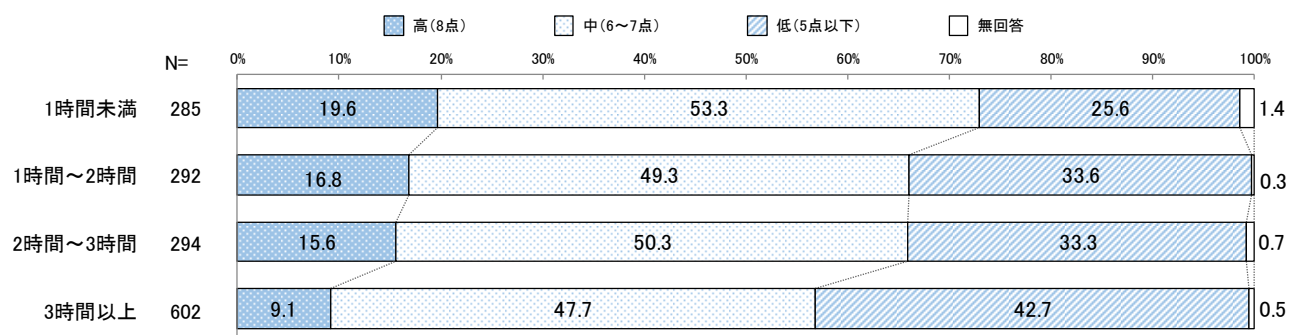
【前回調査との数値比較】

	2 時間未満			4 時間以上		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	50.2	38.1	▲ 12.1	11.3	22.8	11.5
小学生	59.5	53.3	▲ 6.2	3.9	15.8	11.9
中学生	54.4	33.5	▲ 20.9	11.2	22.9	11.7
高校生	38.2	17.0	▲ 21.2	19.6	36.1	16.5

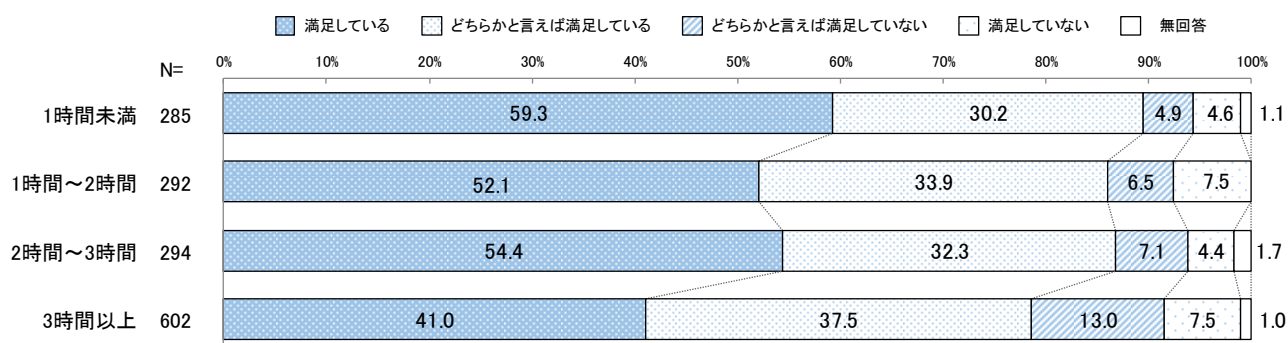
『インターネットの使用時間（問 12）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ インターネットの使用時間が長い子ほど「自己肯定感」や「生活満足度」が低い。

< 自己肯定感指標 >



< 生活満足度 >

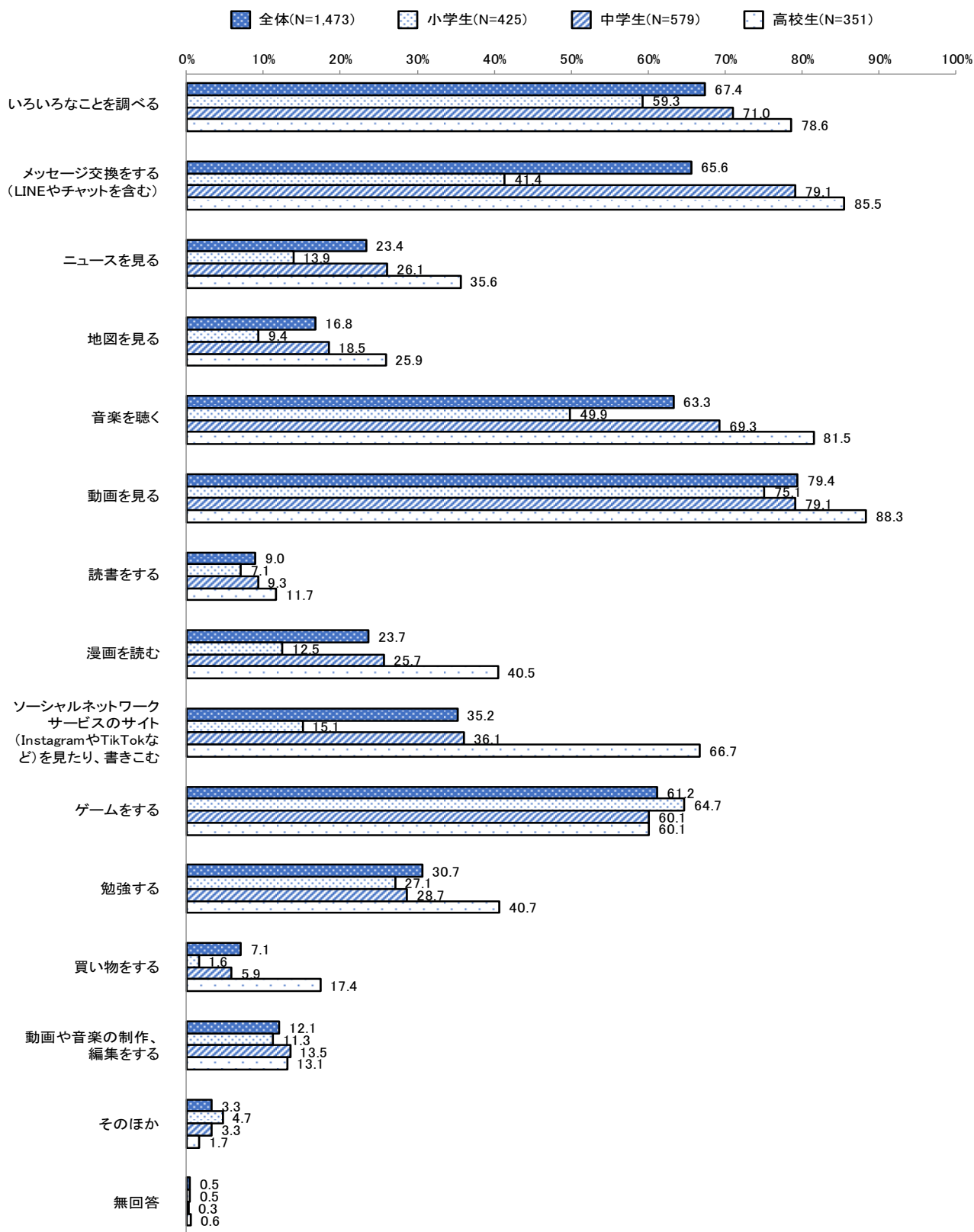


インターネットの使用目的について 【問 13】

■インターネットで何をしますか。(複数回答)

◇ 全体では、「動画を見る」が 79.4%で最も多く、次いで「いろいろなことを調べる」が 67.4%、「メッセージ交換をする」が 65.6%となっている。

◇ 学校種別に見ると、「ソーシャルネットワークサービスのサイト (Instagram や TikTok など) を見たり、書きこむ」の割合は、高校生の方が小学生よりも 51.6 ポイント高い。



【前回調査との数値比較】

	小学生			中学生			高校生		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
いろいろなこと を調べる	63.6	59.3	▲ 4.3	79.0	71.0	▲ 8.0	86.4	78.6	▲ 7.8
SNSを見たり、 書き込む	3.2	15.1	11.9	15.7	36.1	20.4	47.8	66.7	18.9
ゲームをする	64.1	64.7	0.6	58.9	60.1	1.2	57.6	60.1	2.5
勉強する	33.2	27.1	▲ 6.1	42.1	28.7	▲13.4	52.2	40.7	▲11.5

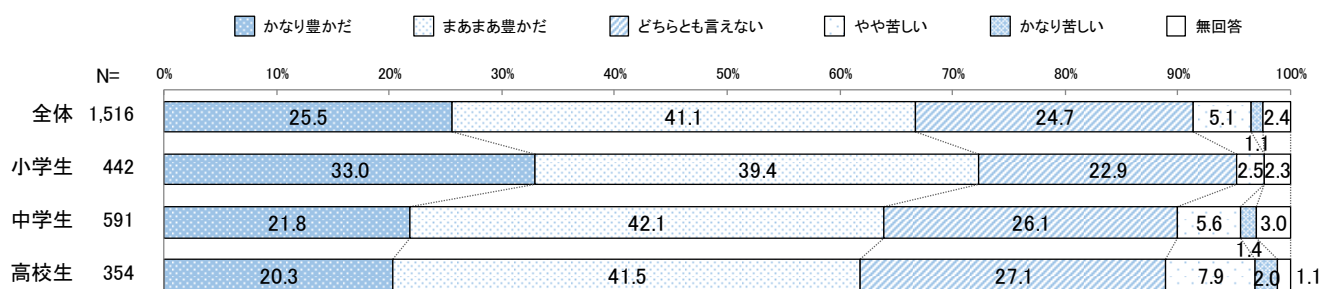
～家庭に関する質問～

経済的な生活レベルについて【問 14】

■あなたの家庭の「経済的な生活レベル」について、あなたはどのように思いますか。(1つ)

◇ 全体では、「まあまあ豊かだ」が 41.1%で最も多く、次いで「かなり豊かだ」が 25.5%であり、66.6%は豊かだと回答している。

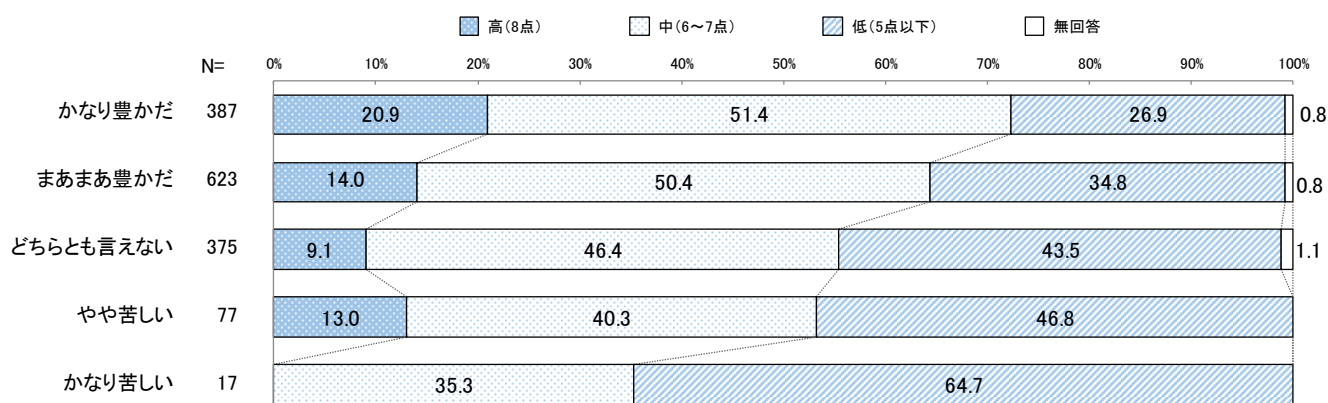
◇ 小学生の場合、豊かだと感じている割合は 72.4%であるが、高校生になるにつれてその割合が低下し 61.8%となる。



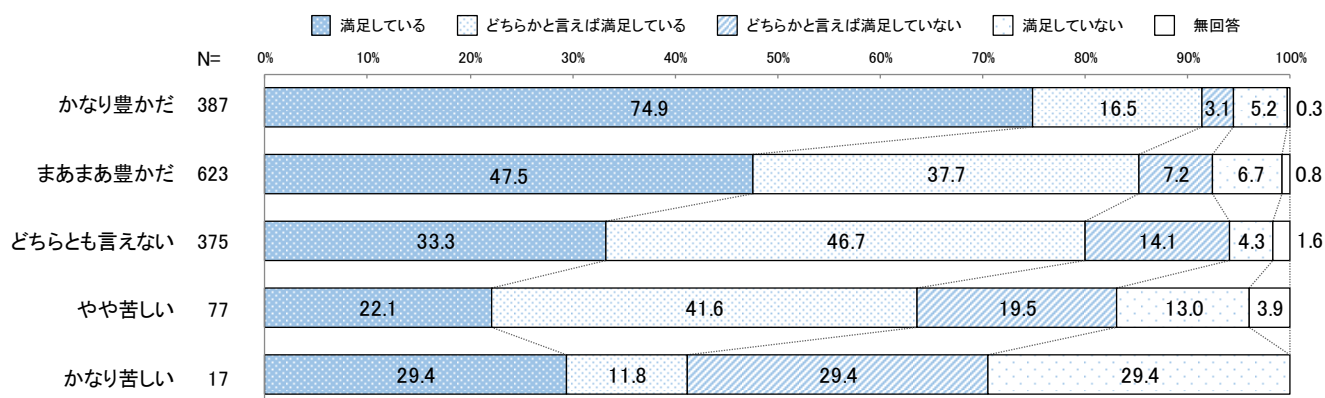
『経済的な生活レベル（問 14）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ 経済的な生活レベルを「豊かだ」と感じている子の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

<自己肯定感指標>

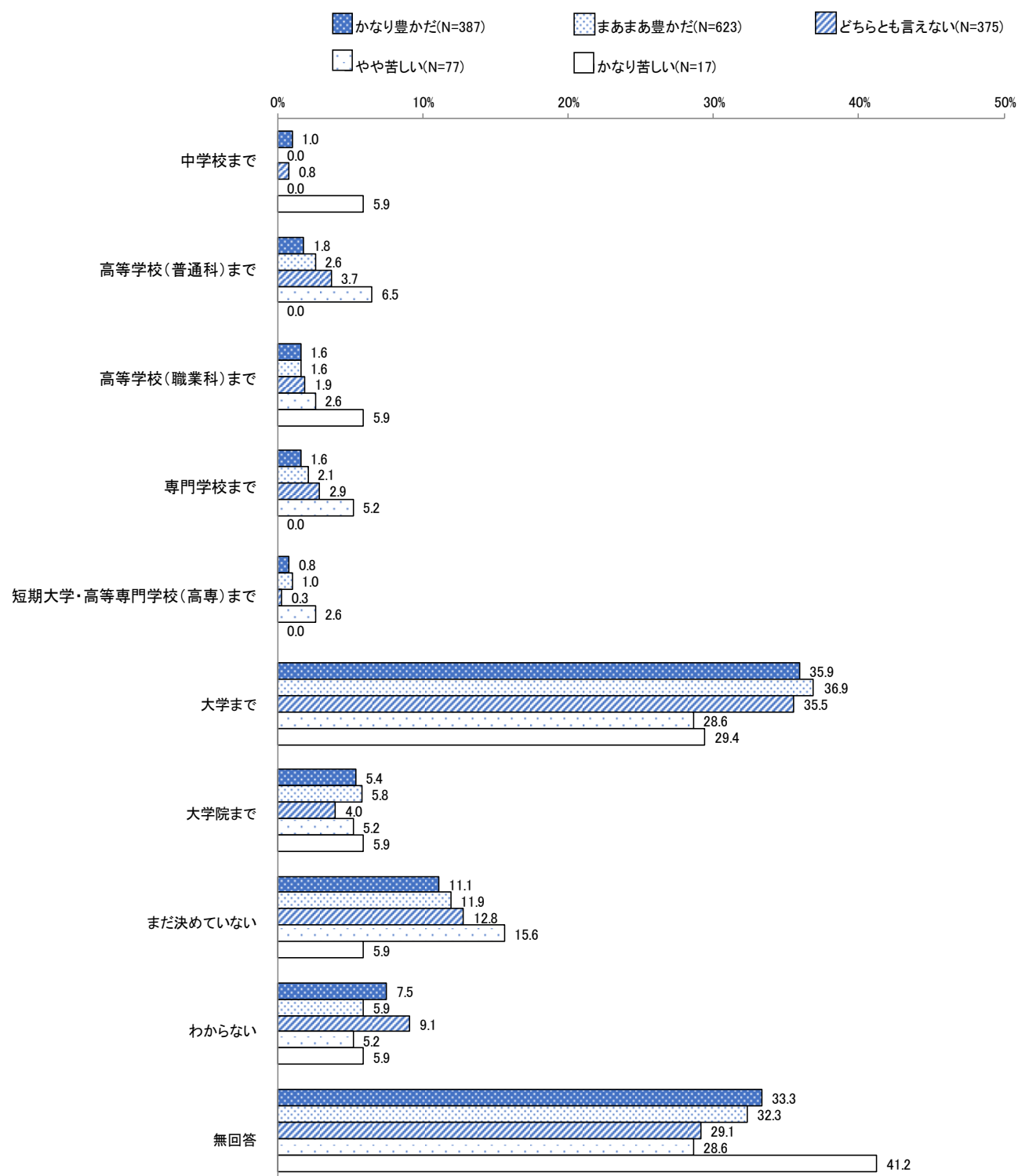


<生活満足度>



『経済的な生活レベル（問 14）と最終進学目標（問 50）』

◎ 家庭の「生活レベル」を豊かに感じる子の方が大学への進学希望が高い。

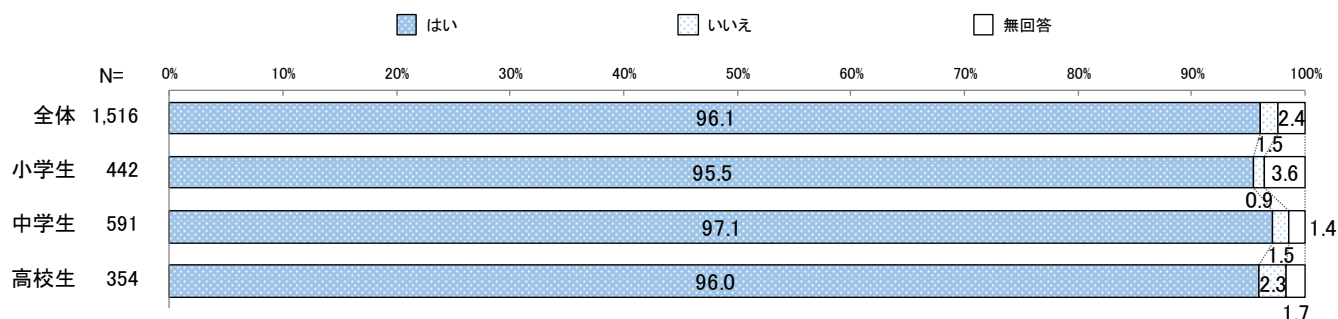


お母さんと暮らしているかについて 【問 15】

■現在、お母さんといっしょに暮らしていますか。

◇ 全体では、96.1%は母親と一緒に暮らしている。

◇ 小学生、中学生、高校生とも95%以上が「はい」と答えている。



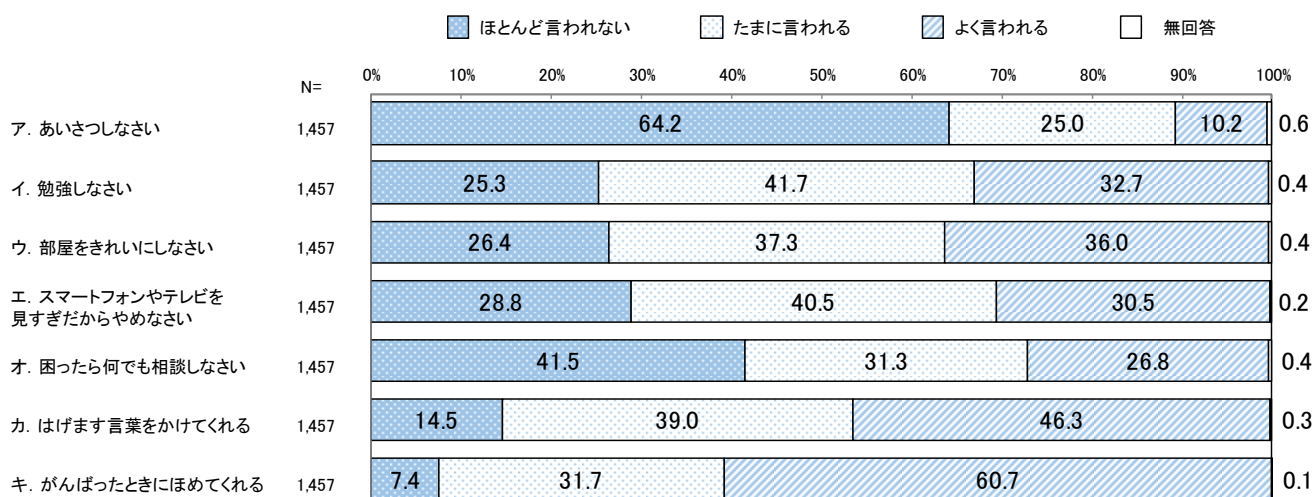
お母さんからよく言われることについて 【問 16】

■ふだん、お母さんから、次のようなことを言われますか。(各1つ)

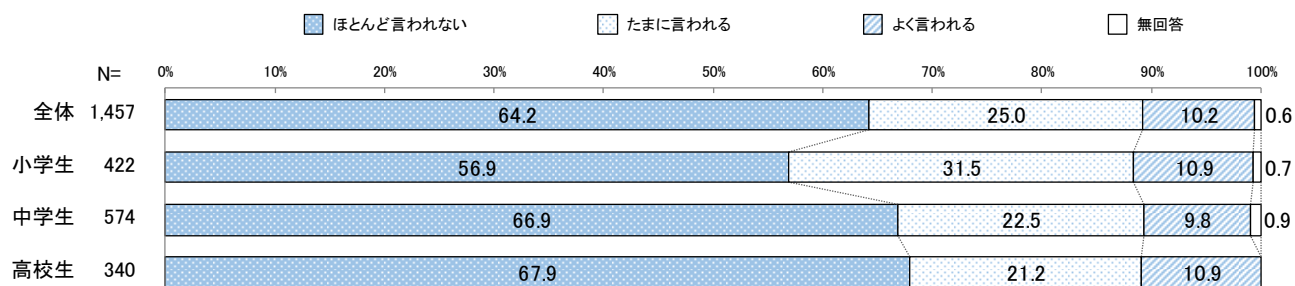
◇ 全体において「よく言われる」の割合が高いのは、「がんばったときにほめてくれる」(60.7%)、次いで「はげます言葉をかけてくれる」(46.3%)である。

◇ 全体において「ほとんど言われたい」の割合が高いのは、「あいさつしなさい」(64.2%)、次いで「困ったら何でも相談しなさい」(41.5%)である。

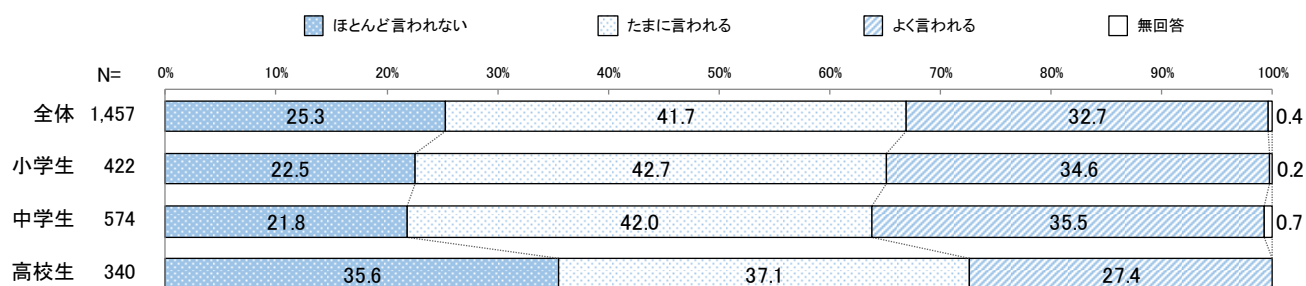
◇ 「ほとんど言われたい」の割合は、「はげます言葉をかけてくれる」で中学生、高校生が同率(15.3%)となっており、「がんばったときにほめてくれる」は中学生が8.7%で最も高く、その他の項目においては、全て高校生が最も高い割合となっている。



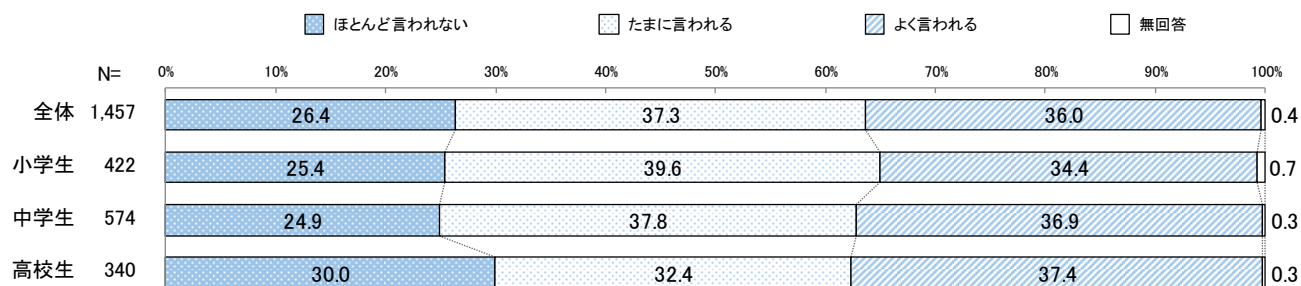
ア. あいさつしなさい



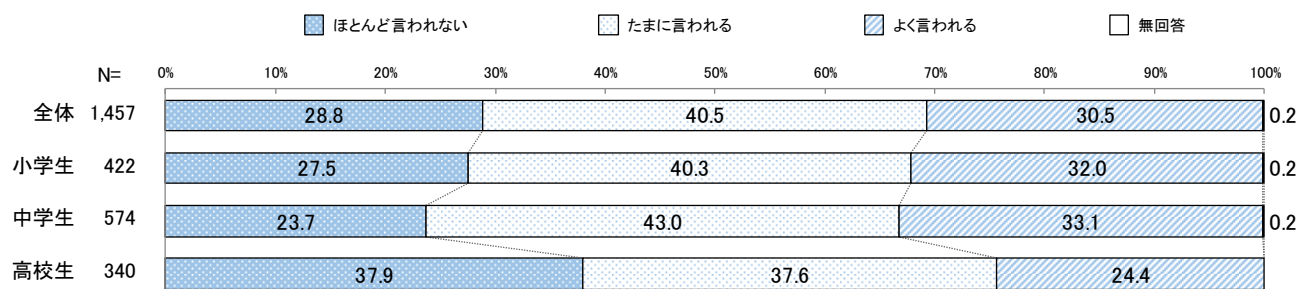
イ. 勉強しなさい



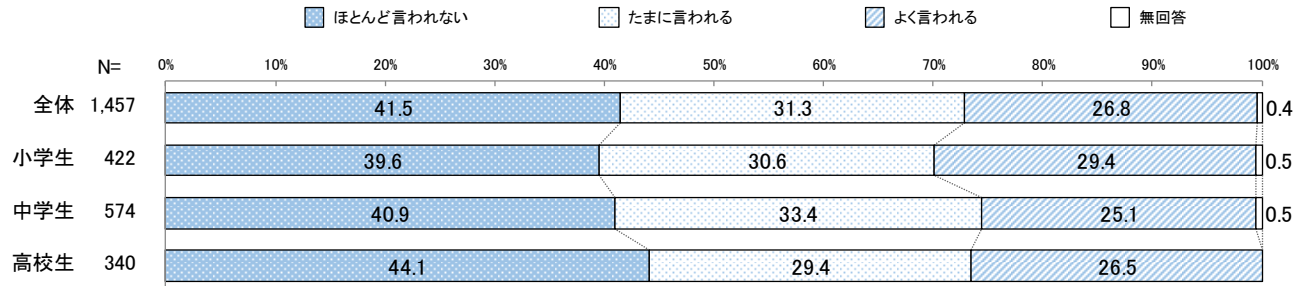
ウ. 部屋をきれいにしなさい



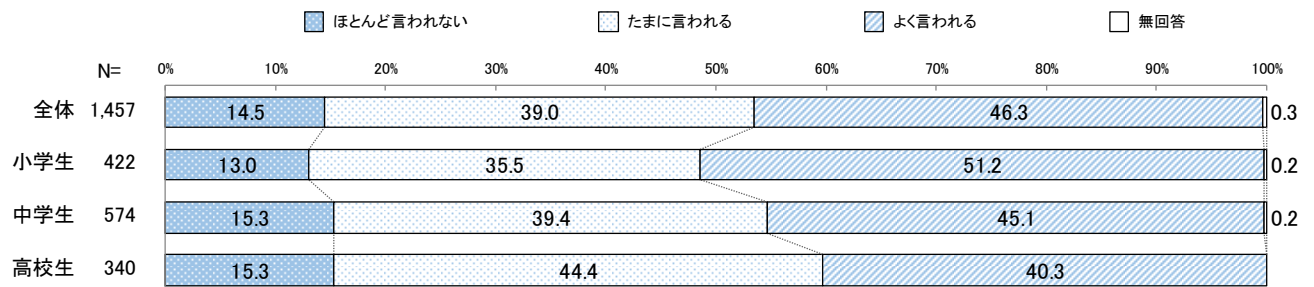
エ. スマートフォンやテレビを見すぎだからやめなさい



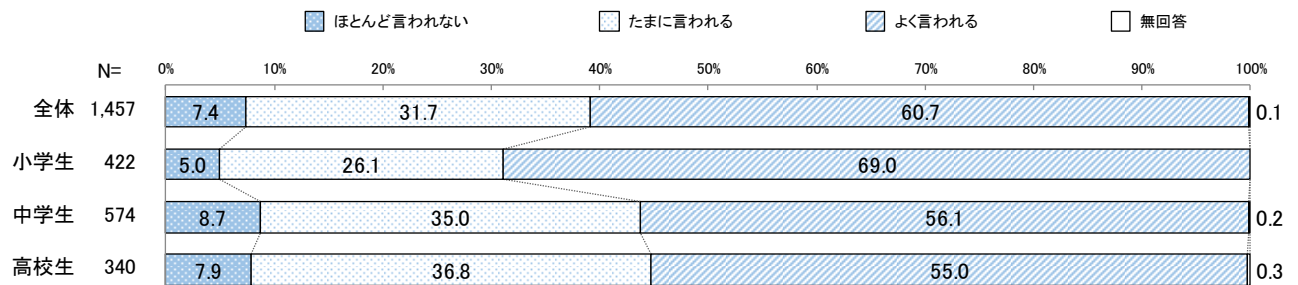
オ. 困ったら何でも相談しなさい



カ. はげます言葉をかけてくれる



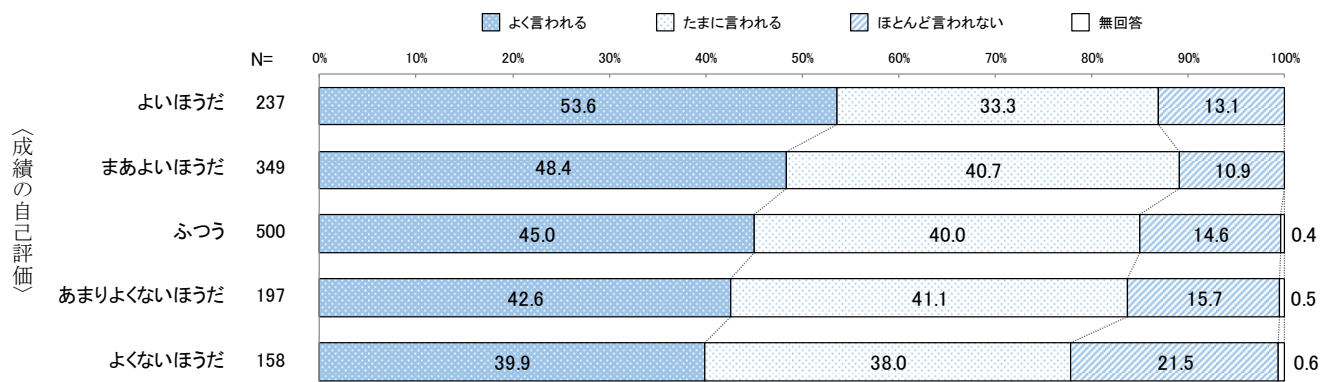
キ. がんばったときにほめてくれる



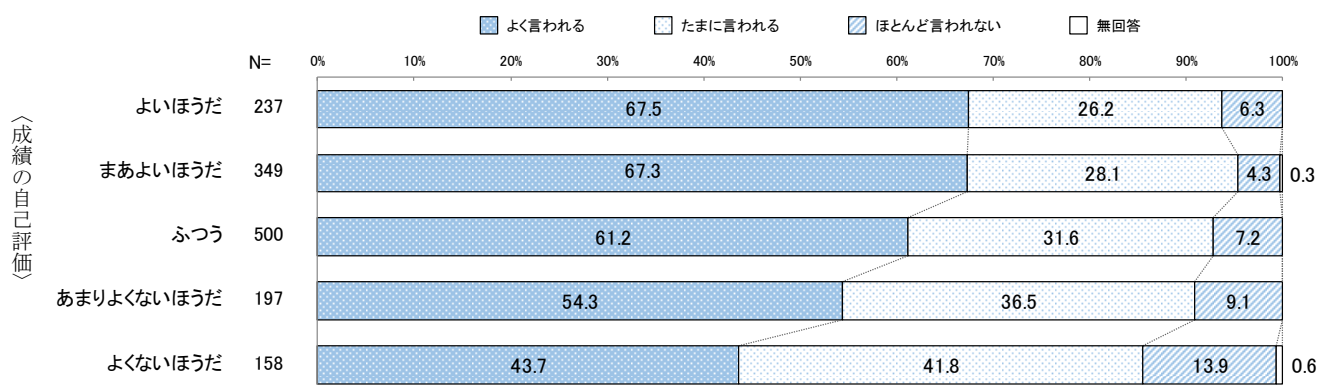
『母親から言われること（問 16）と成績の自己評価（問 49）』

- ◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が母親から励ましやほめられることがよくある割合が高い。

<カ. はげます言葉をかけてくれる>



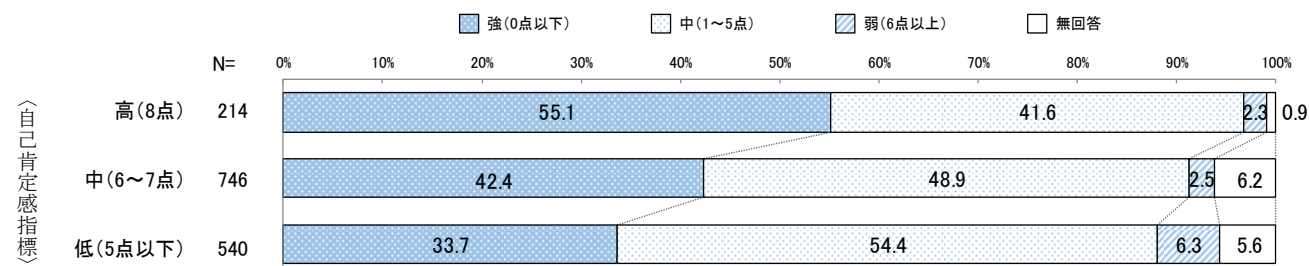
<キ. がんばったときにほめてくれる>



『親子関係（支援関係）：母親（問 16）と自己肯定感（問 32・33）』

- 「母親との支援的な関係」が強い子（支援関係指標の点数が低い子）の方が「自己肯定感」が高い。

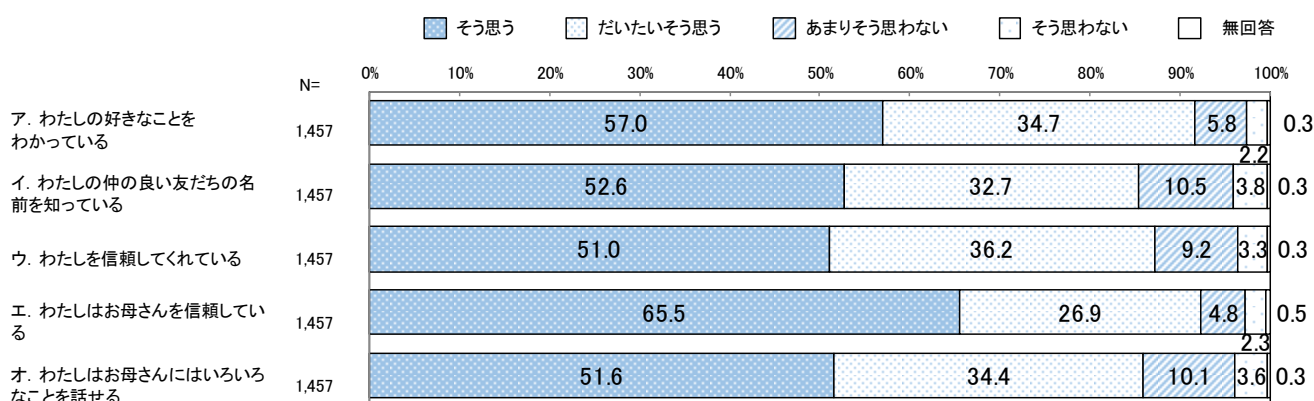
<親子関係（支援関係）指標>



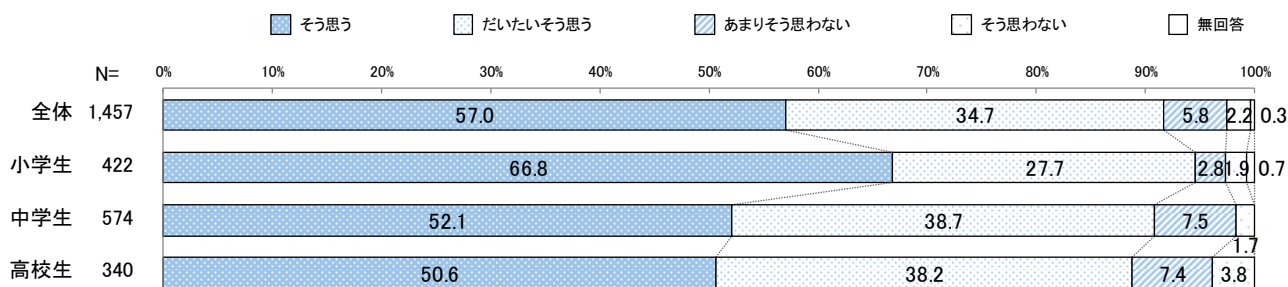
お母さんとの関係について 【問 17】

■あなたとお母さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。(各1つ)

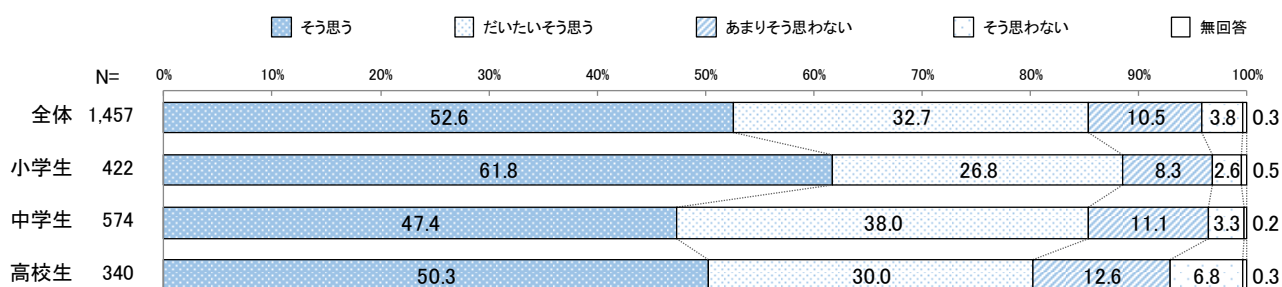
- ◇ 全体において、「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計の割合が高いのは、「わたしはお母さんを信頼している」が 92.4%、「わたしの好きなことをわかっている」が 91.7%である。
- ◇ 全体において、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合が高いのは、「イ. わたしの仲の良い友だちの名前を知っている」が 14.3%、「わたしはお母さんにはいろいろなことを話せる」が 13.7%である。
- ◇ 「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計の割合は、「わたしを信頼してくれている」のみ高校生が最も高くなっているが、その他の項目はすべて小学生が最も高い。



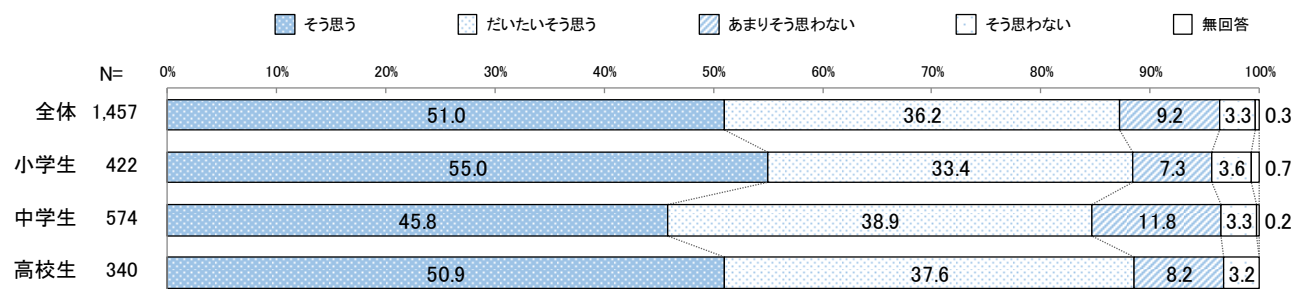
ア. わたしの好きなことをわかっている



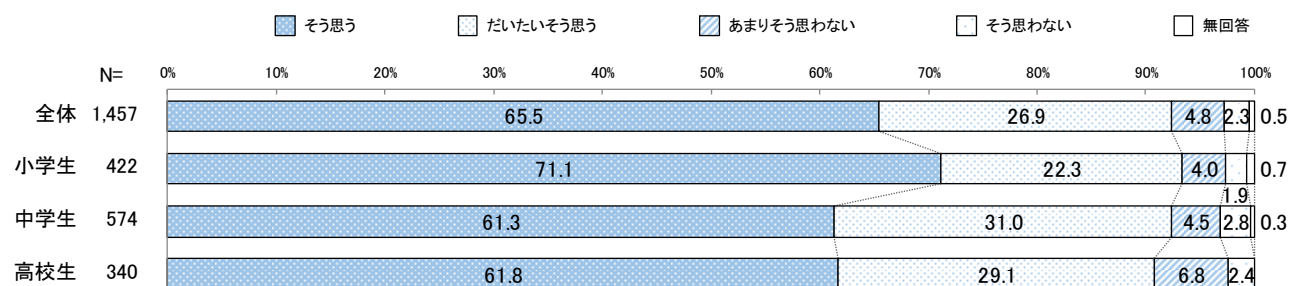
イ. わたしの仲の良い友だちの名前を知っている



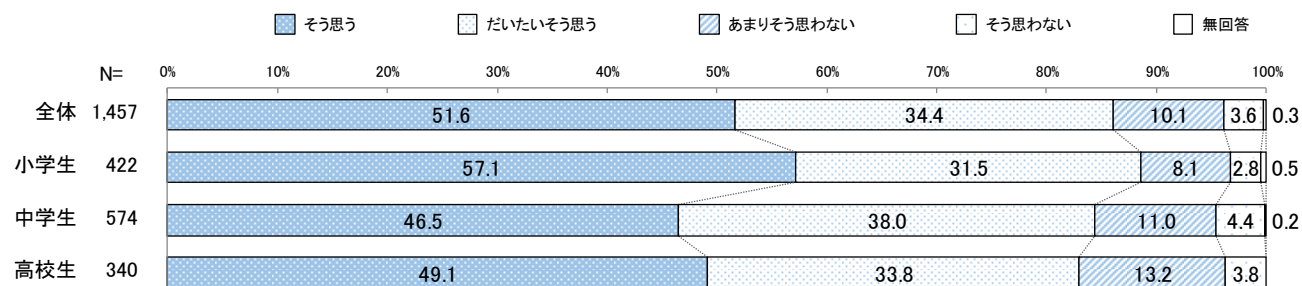
ウ. わたしを信頼してくれている



エ. わたしはお母さんを信頼している

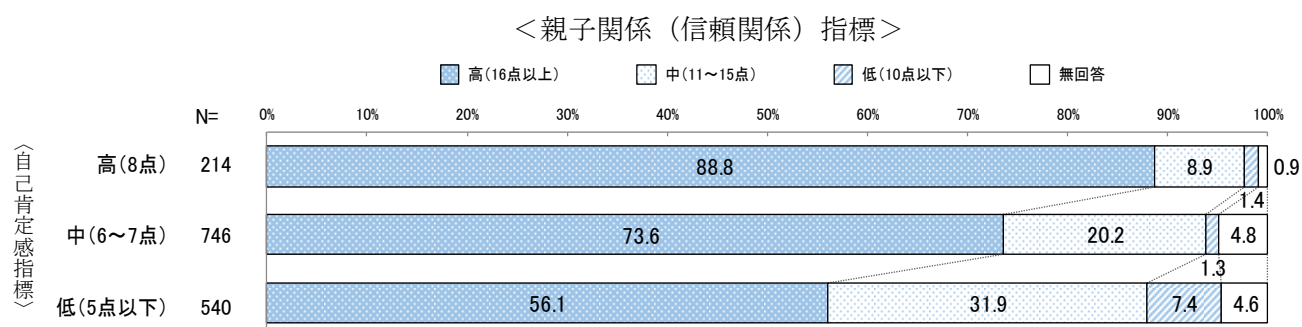


オ. わたしはお母さんにはいろいろなことを話せる



『親子関係（信頼関係）：母親（問 17）と自己肯定感（問 32・33）』

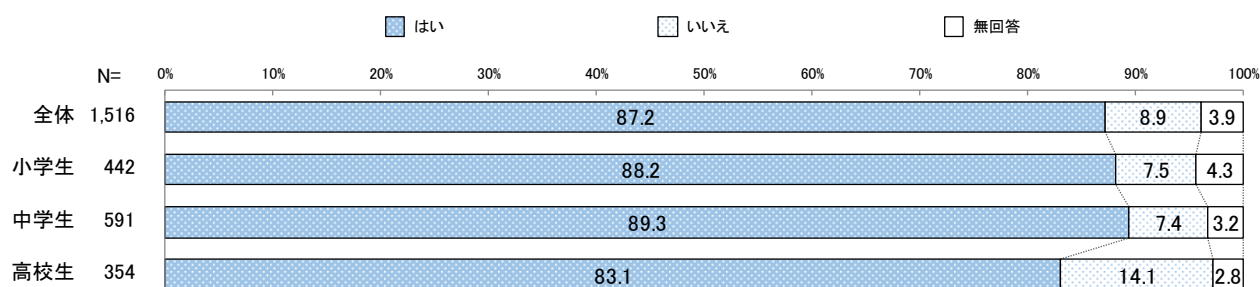
- 「母親との信頼的な関係」が強い子（信頼関係指標の点数が高い子）の方が「自己肯定感」が高い。



お父さんと暮らしているかについて 【問 18】

■現在、お父さんといっしょに暮らしていますか。

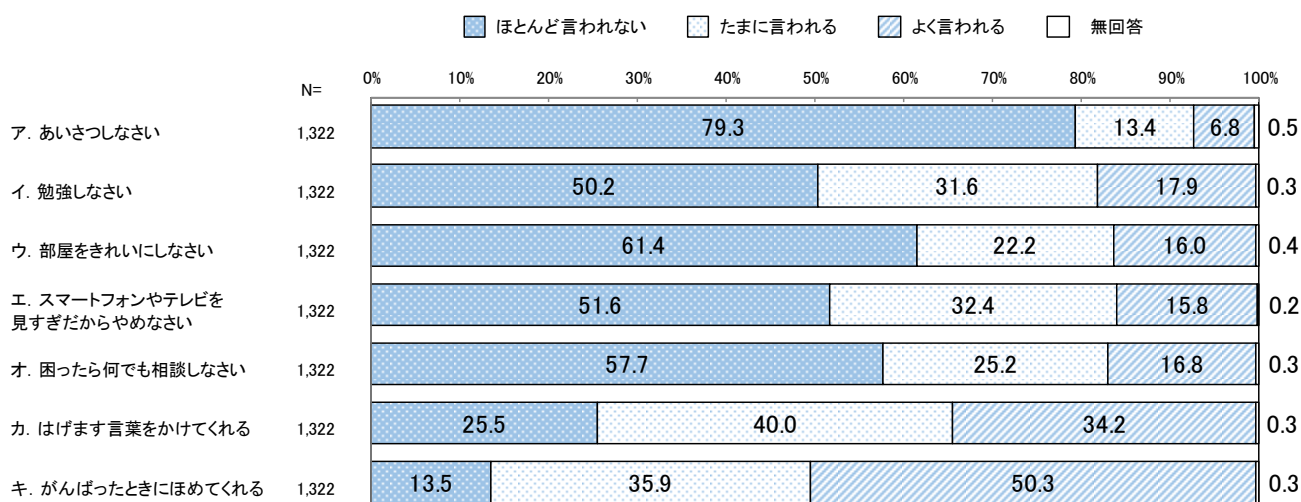
- ◇ 全体では、87.2%は父親と一緒に暮らしている。
- ◇ 高校生は「はい」の割合が83.1%と最も低くなっている。



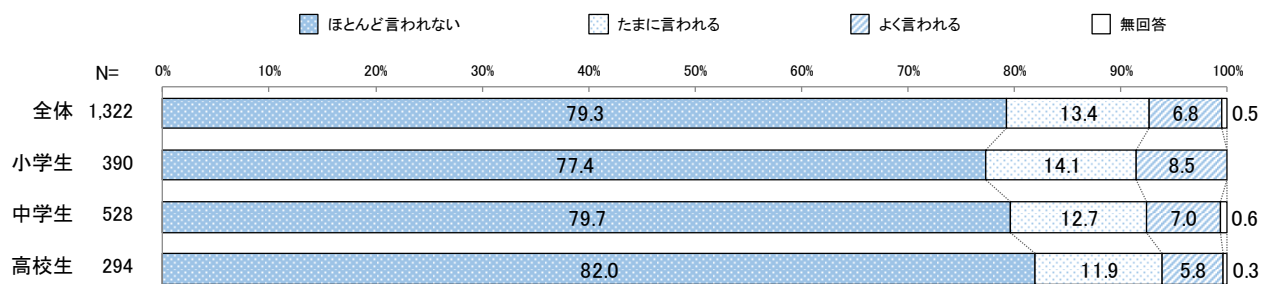
お父さんからよく言われることについて 【問 19】

■ふだん、お父さんから、次のようなことを言われますか。（各 1 つ）

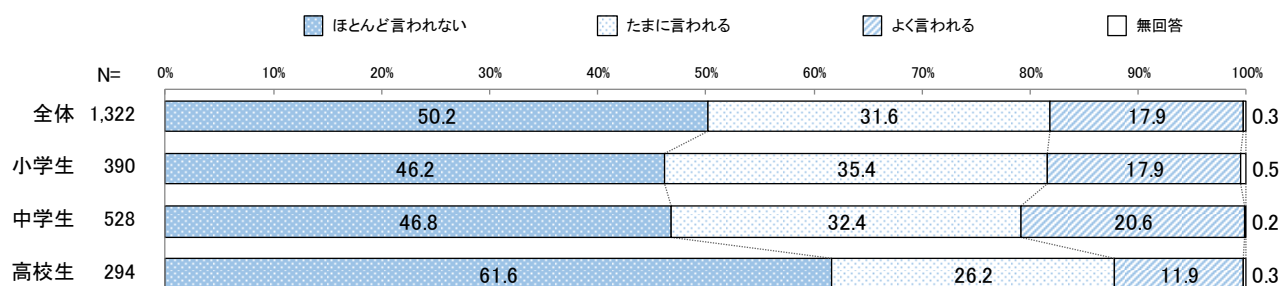
- ◇ 全体において、「よく言われる」の割合が高いのは、「がんばったときにほめてくれる」が50.3%、「はげます言葉をかけてくれる」が34.2%である。
- ◇ 全体において、「ほとんど言われたい」の割合が高いのは、「あいさつしなさい」が79.3%、「部屋をきれいにしなさい」が61.4%である。
- ◇ 「ほとんど言われたい」の割合は、いずれの項目も高校生が最も高い。



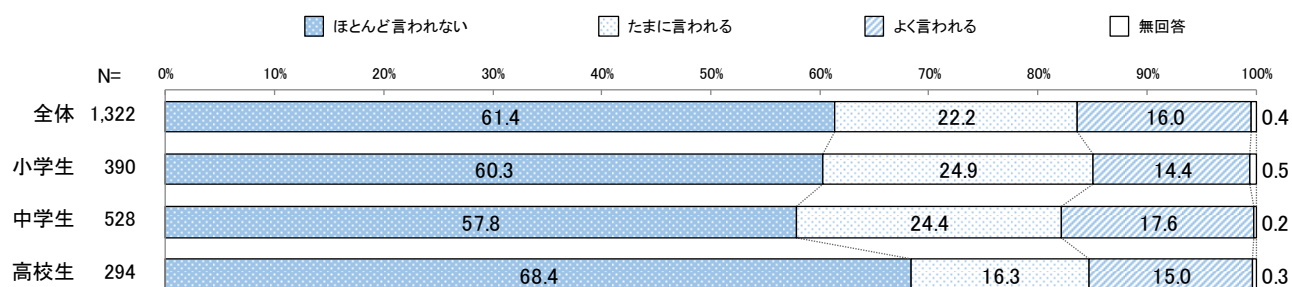
ア. あいさつしなさい



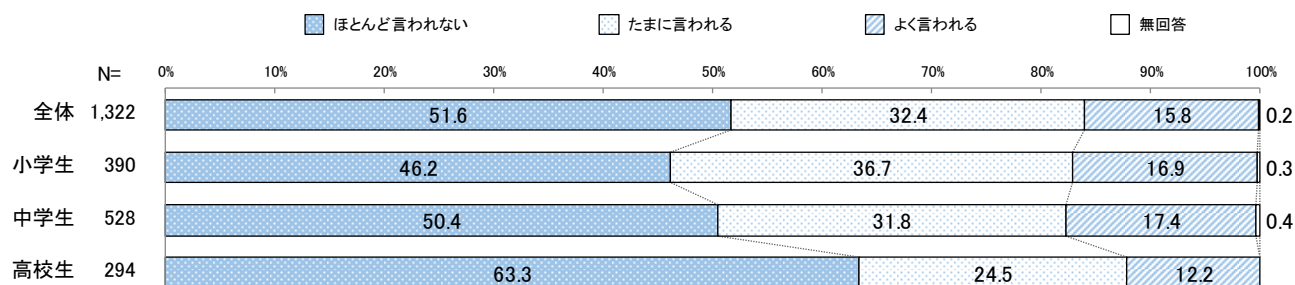
イ. 勉強しなさい



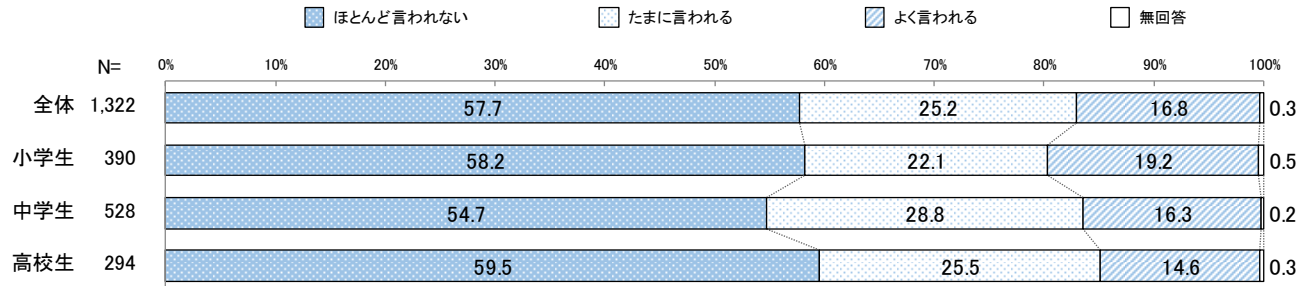
ウ. 部屋をきれいにしなさい



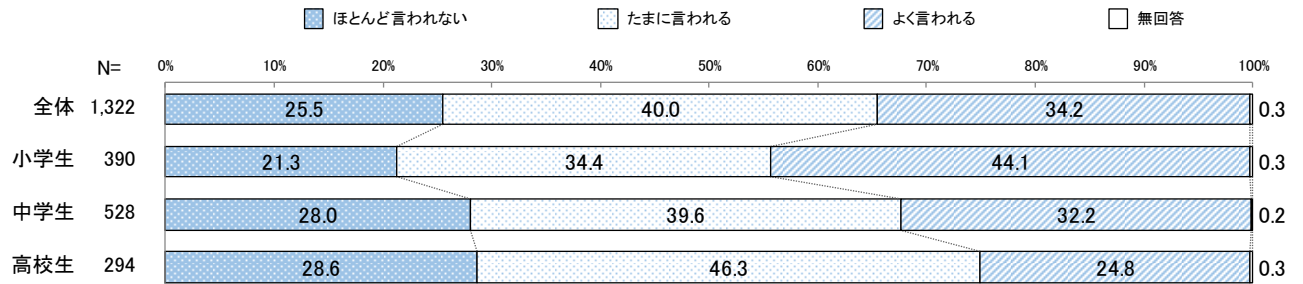
エ. スマートフォンやテレビを見すぎだからやめなさい



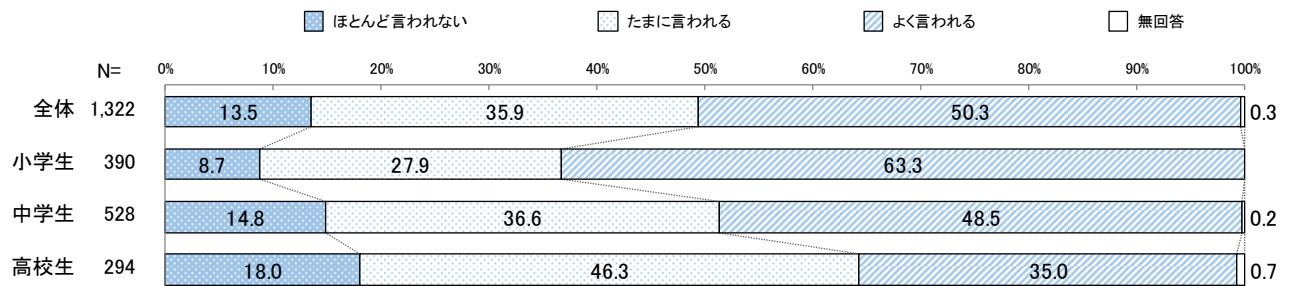
オ. 困ったら何でも相談しなさい



カ. はげます言葉をかけてくれる

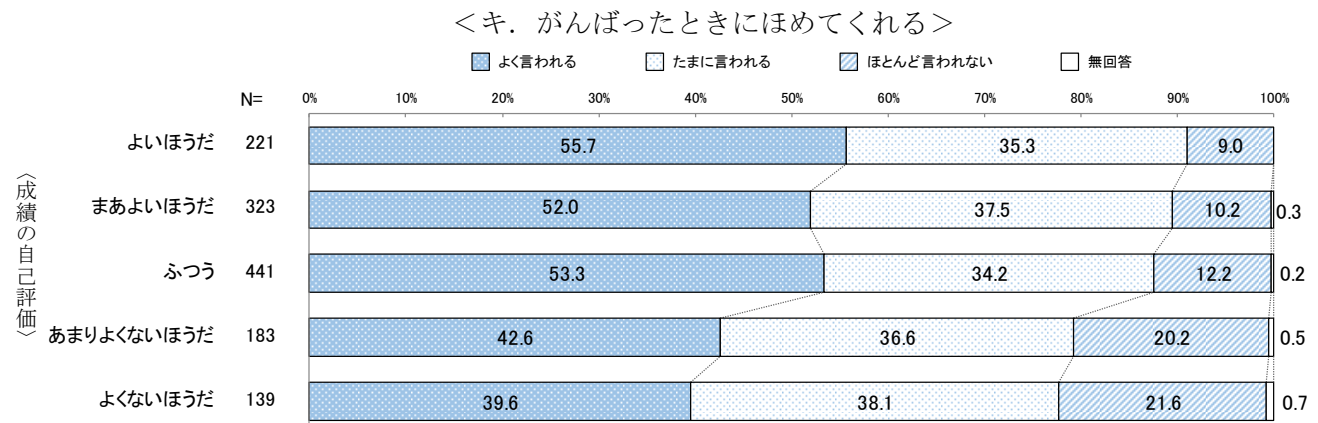
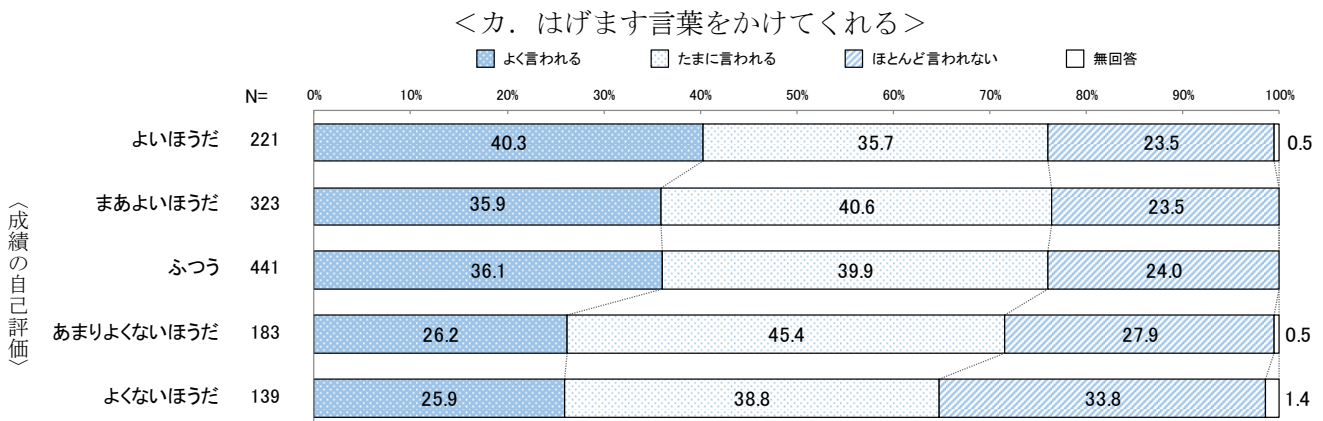


キ. がんばったときにほめてくれる



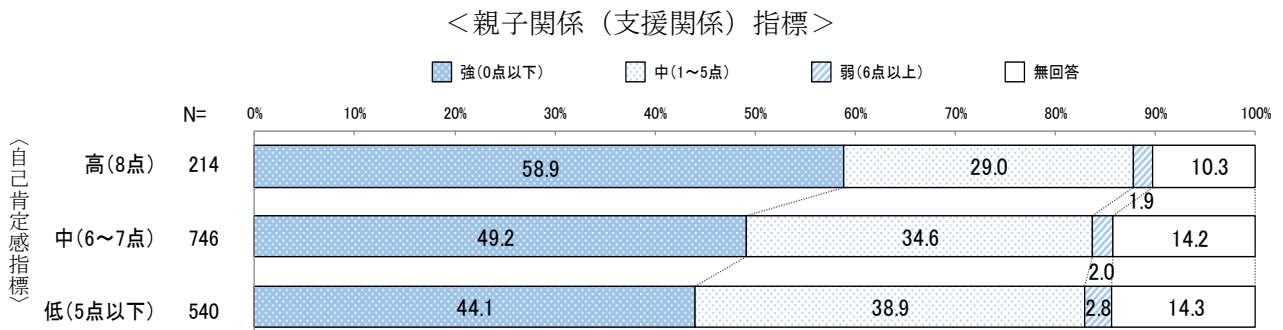
『父親から言われること（問 19）と成績の自己評価（問 49）』

- ◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が父親から励ましやほめられることがよくある割合が高い。



『親子関係（支援関係）：父親（問 19）と自己肯定感（問 32・33）』

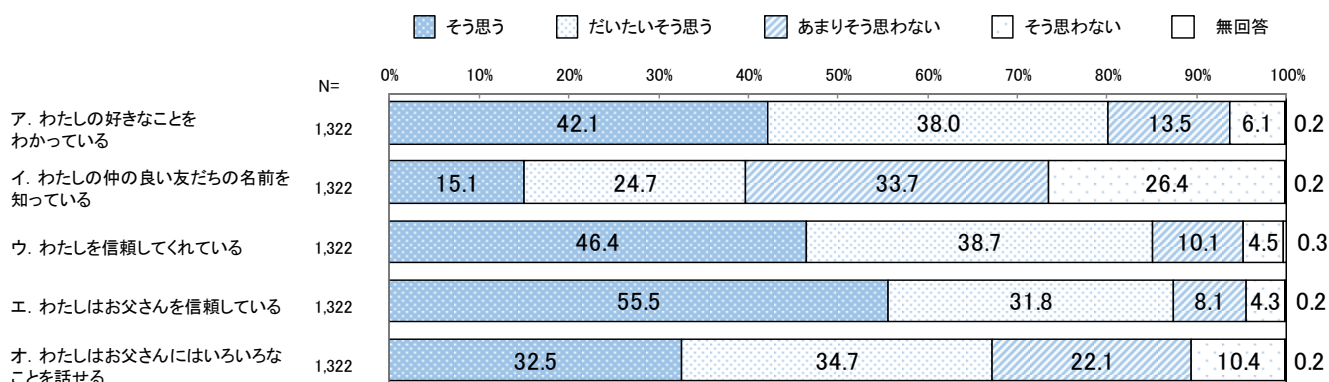
- 「父親との支援的な関係」が強い子（支援関係指標の点数が低い子）の方が「自己肯定感」が高い。



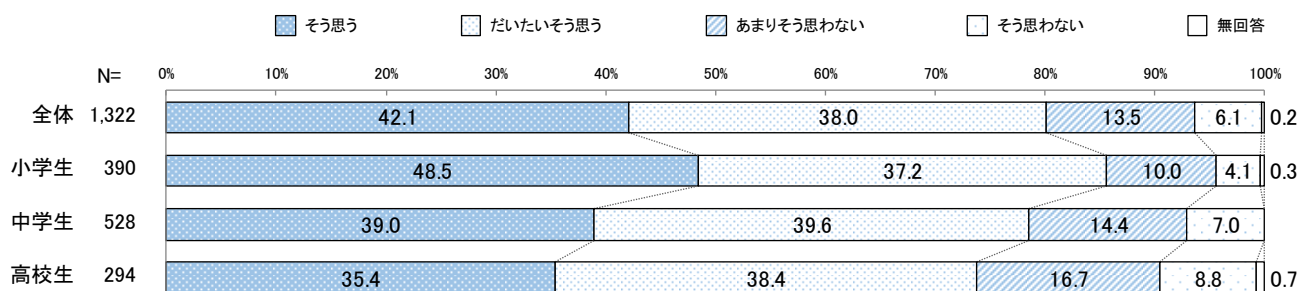
お父さんとの関係について 【問 20】

■あなたとお父さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。(各1つ)

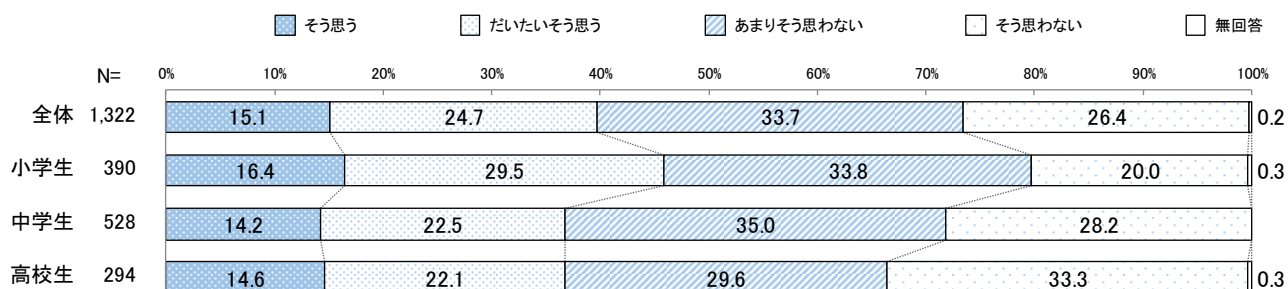
- ◇ 全体において、「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計の割合が高いのは、「わたしはお父さんを信頼している」が 87.3%、「わたしを信頼してくれている」が 85.1% となっている。
- ◇ 全体において、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合が高いのは、「わたしの仲の良い友だちの名前を知っている」が 60.1%、「わたしはお父さんにはいろいろなことを話せる」が 32.5%である。
- ◇ 小学生は、全ての項目において、「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計の割合が最も高い。



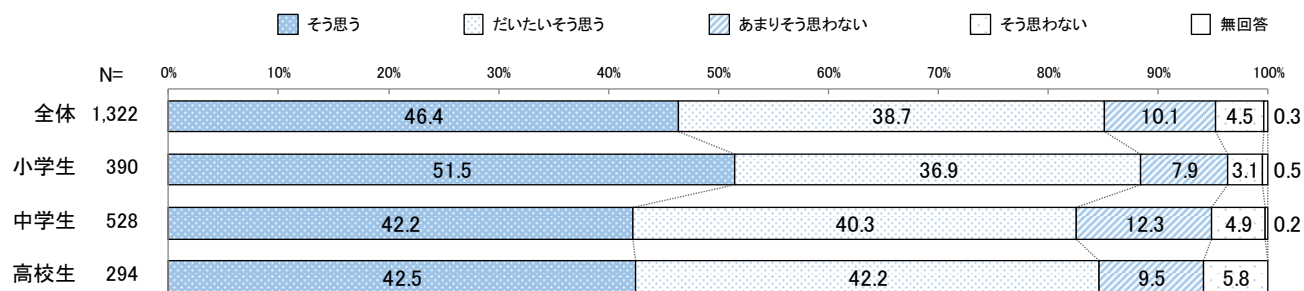
ア. わたしの好きなことをわかっている



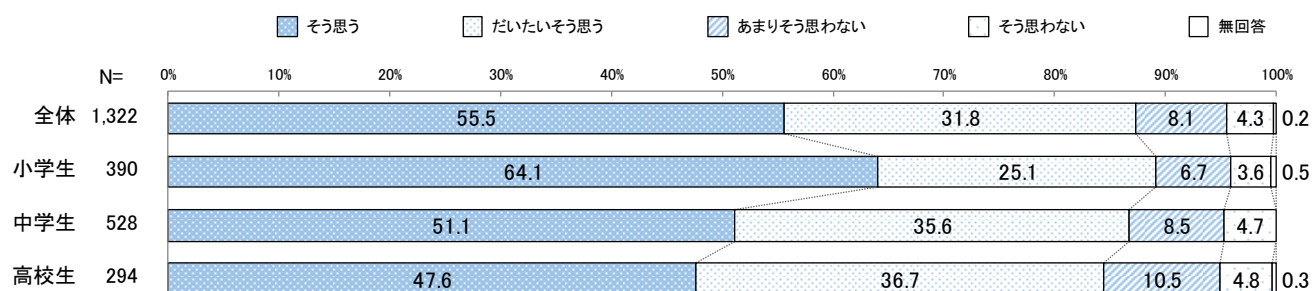
イ. わたしの仲の良い友だちの名前を知っている



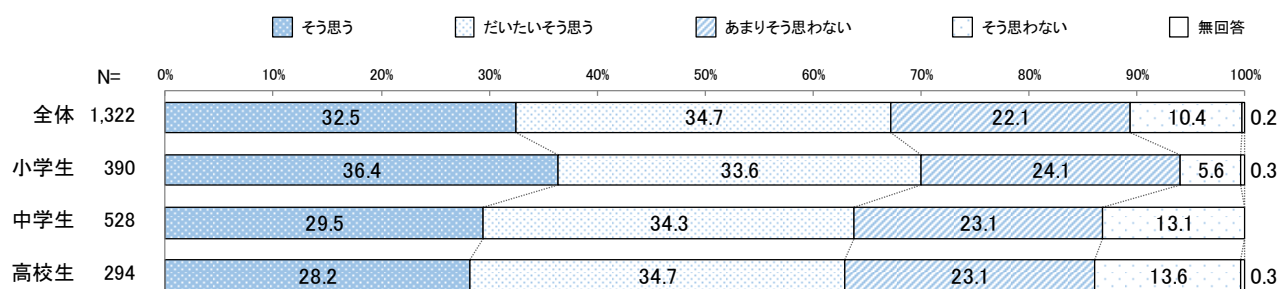
ウ. わたしを信頼してくれている



エ. わたしはお父さんを信頼している



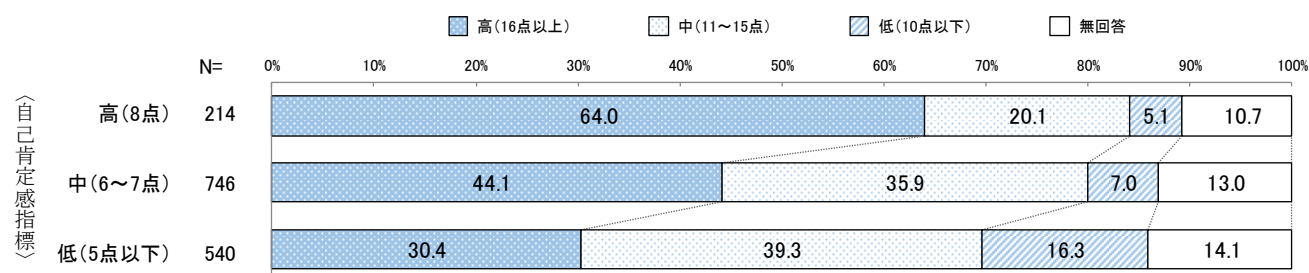
オ. わたしはお父さんにはいろいろなことを話せる



『親子関係（信頼関係）：父親（問 20）と自己肯定感（問 32・33）』

○ 「父親との信頼的な関係」が強い子（信頼関係指標の点数が高い子）の方が「自己肯定感」が高い。

<親子関係（信頼関係）指標>

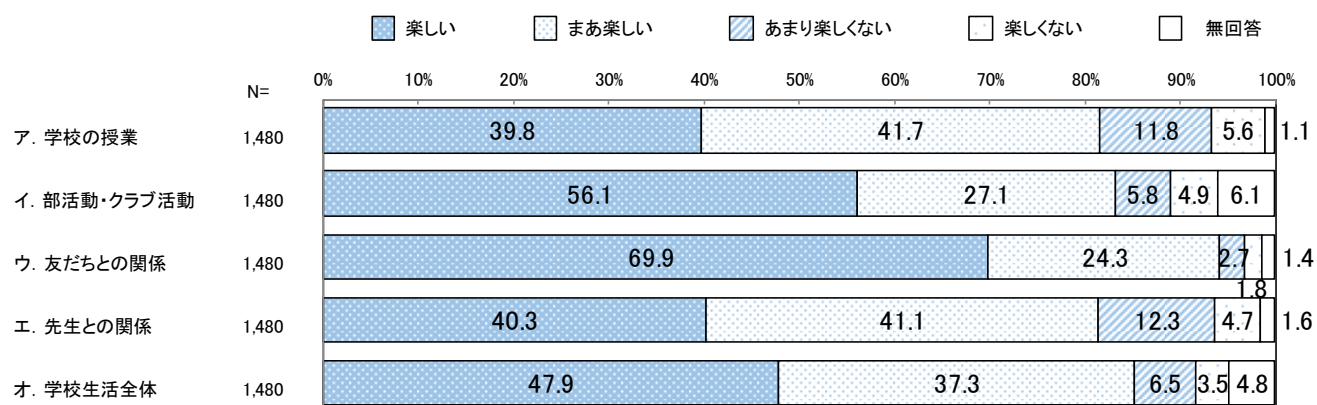


～学校や近所のことに関する質問～

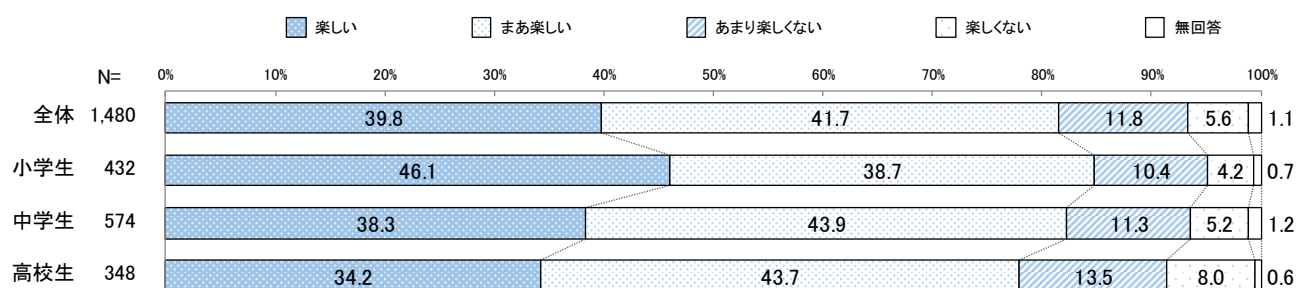
通っている学校について 【問 21】

■いま通っている学校での生活は楽しいですか。(各1つ)

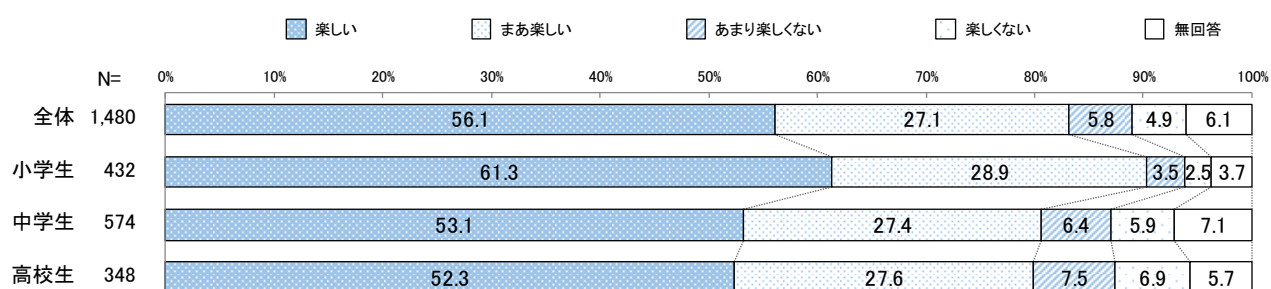
- ◇ 全体において、「楽しい」と回答している項目は、「友だちとの関係」が69.9%と最も高く、次いで「部活動・クラブ活動」が56.1%、「学校生活全体」が47.9%である。
- ◇ 全体において、「楽しくない」と回答している項目は、「学校の授業」が5.6%と最も高く、次いで「部活動・クラブ活動」が4.9%である。
- ◇ 長期間学校を休んでいる子どもの割合は全体で1.5%である。



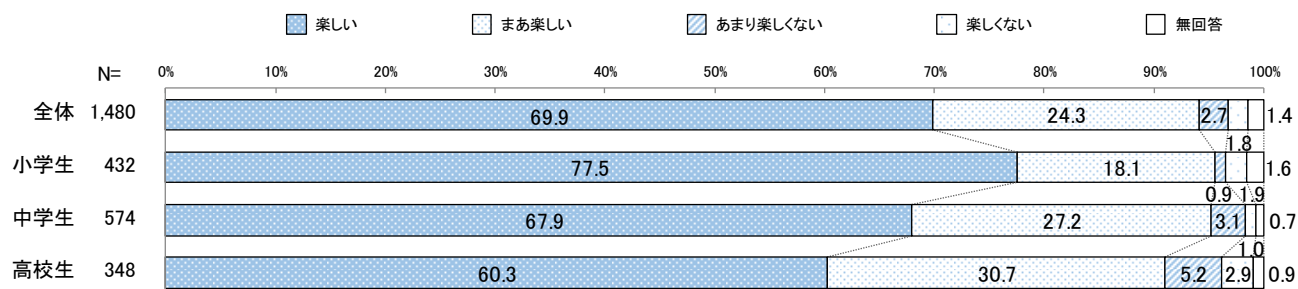
ア. 学校の授業



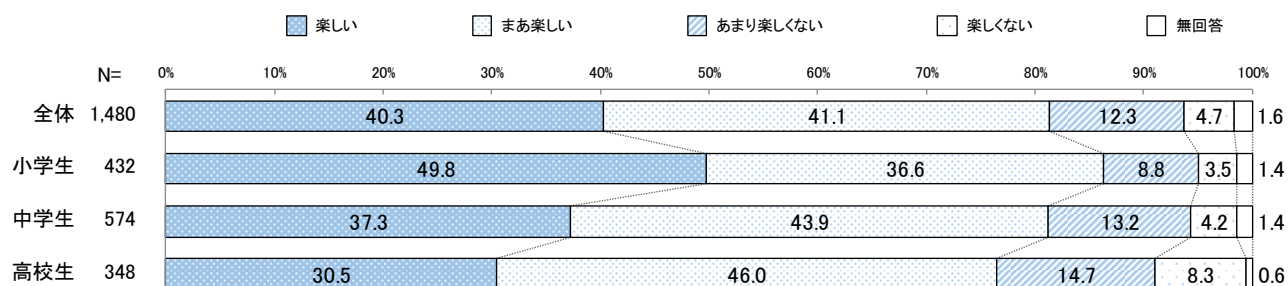
イ. 部活動・クラブ活動



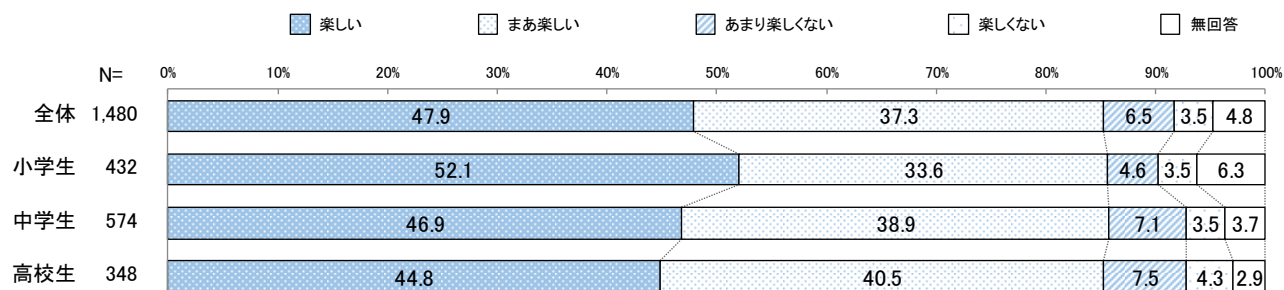
ウ. 友だちとの関係



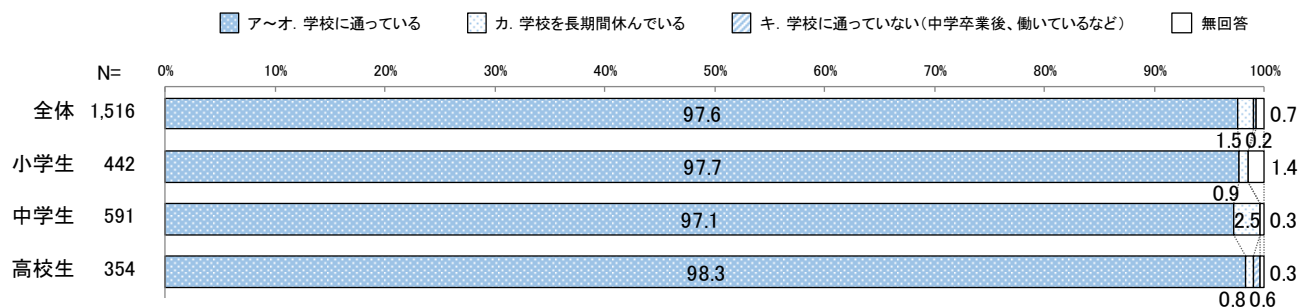
エ. 先生との関係



オ. 学校生活全体



【学校に通っているか】



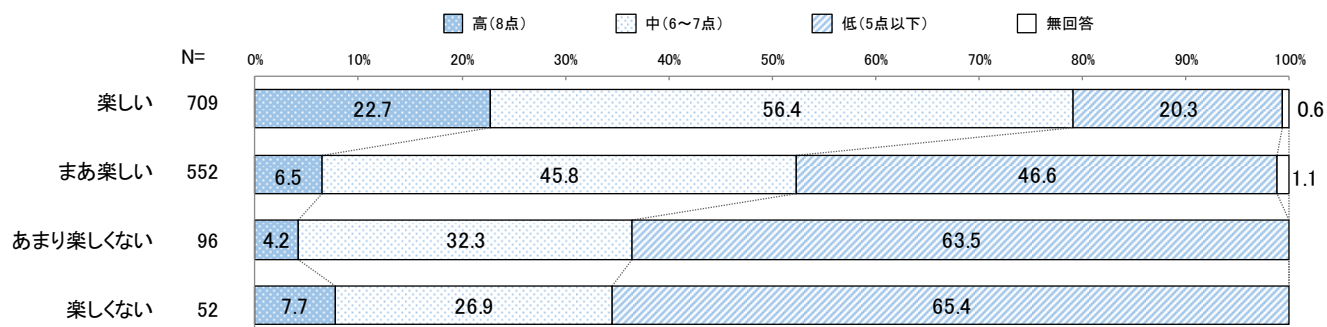
【前回調査との数値比較】※各項目における「楽しい」の割合

	小学生			中学生			高校生		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
学校の授業	65.6	46.1	▲ 19.5	59.0	38.3	▲ 20.7	46.1	34.2	▲ 11.9
部活動・ クラブ活動	88.7	61.3	▲ 27.4	69.2	53.1	▲ 16.1	62.1	52.3	▲ 9.8
友だちとの関係	87.8	77.5	▲ 10.3	85.0	67.9	▲ 17.1	80.4	60.3	▲ 20.1
先生との関係	62.1	49.8	▲ 12.3	52.9	37.3	▲ 15.6	42.2	30.5	▲ 11.7
学校生活全体	71.5	52.1	▲ 19.4	69.3	46.9	▲ 22.4	59.1	44.8	▲ 14.3

『学校生活（問 25 オ 学校生活全体）と自己肯定感（問 32・33）』

○ 学校生活全体を「楽しい」と感じている子は「自己肯定感」が高い。

<自己肯定感指標>

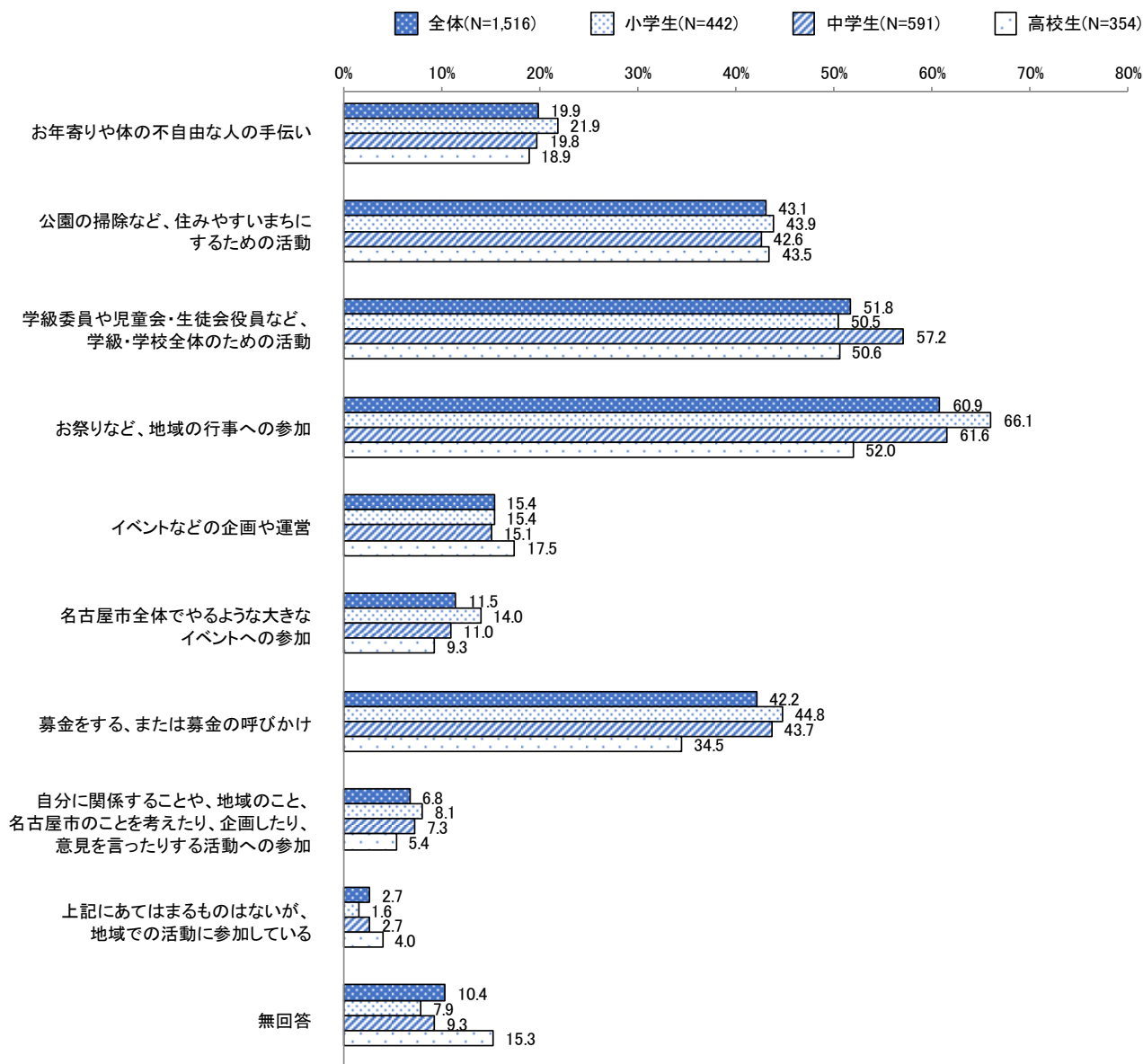


地域や学校での活動について【問 22】

■次の活動中で、あなたがしたことのある活動はなんですか。(複数回答)

◇ 全体では、「お祭りなど、地域の行事への参加」が 60.9%で最も多く、次いで「学級委員や児童会・生徒会役員など、学級・学校全体のための活動」が 51.8%、「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」が 43.1%、「募金をする、または募金の呼びかけ」が 42.2%となっている。

◇ 「自分に関係することや、地域のこと、名古屋市のことを考えたり、企画したり、意見を言ったりする活動への参加」の経験があるのは 6.8%である。



【前回調査との数値比較】

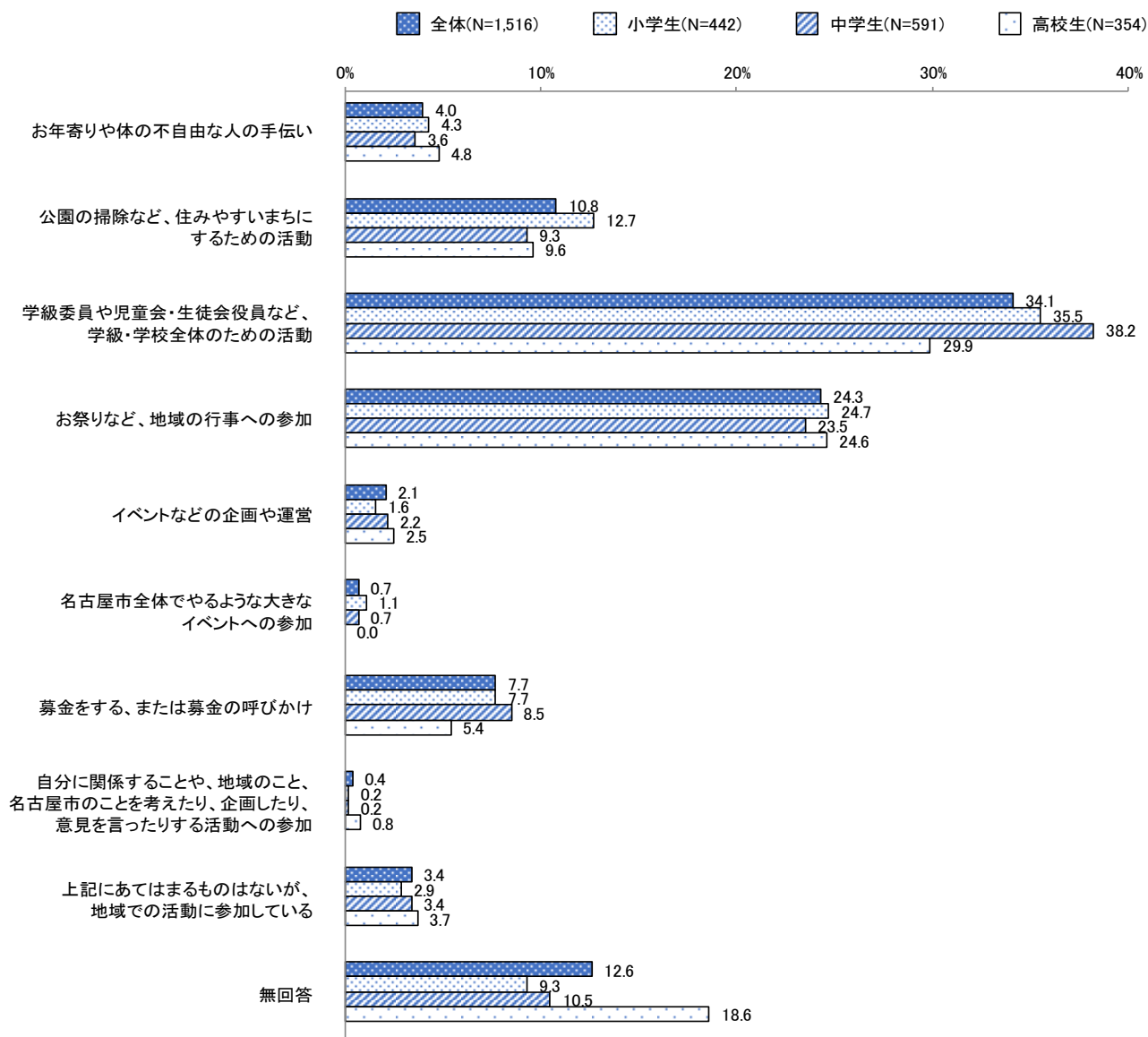
	地域や学校での活動		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
お年寄りや体の不自由な人の手伝い	23.2	19.9	▲ 3.3
公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動	47.3	43.1	▲ 4.2
学級委員や児童会・生徒会役員など、学級・学校全体のための活動	78.8	51.8	▲ 27.0
お祭など、地域の行事への参加	55.9	60.9	5.0
イベントなどの企画や運営	17.7	15.4	▲ 2.3
名古屋市全体でやるような大きなイベントへの参加	13.5	11.5	▲ 2.0
募金をする、または募金の呼びかけ	44.9	42.2	▲ 2.7
自分に関係することや、地域のこと、名古屋市のことを考えたり、企画したり、意見を言ったりする活動への参加	4.0	6.8	2.8
上記にあてはまるものはないが、地域での活動に参加している	—	2.7	2.7

ふだん、一番よくする活動について 【問 23】

■あなたがふだん一番よくする活動を教えてください。(1つ)

◇ 全体では、「学級委員や児童会・生徒会役員など、学級・学校全体のための活動」が34.1%で最も多く、次いで「お祭りなど、地域の行事への参加」が24.3%、「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」が10.8%となっている。

◇ 小学生、中学生、高校生ともその順番には変わらない。

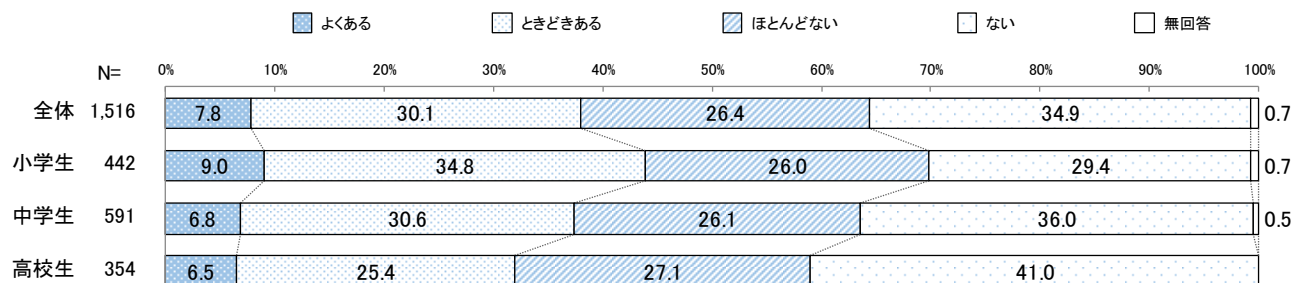


近所に住んでいる人たちとの関係について 【問 24】

■これまで近所の大人からほめられたり、しかられたりしたことはありますか。(1つ)

◇ 全体では、「ない」が 34.9%と最も多く、次いで「ときどきある」が 30.1%、「ほとんどない」が 26.4%となっている。

◇ 高校生になるにつれて、「ない」「ほとんどない」の割合が高くなる。

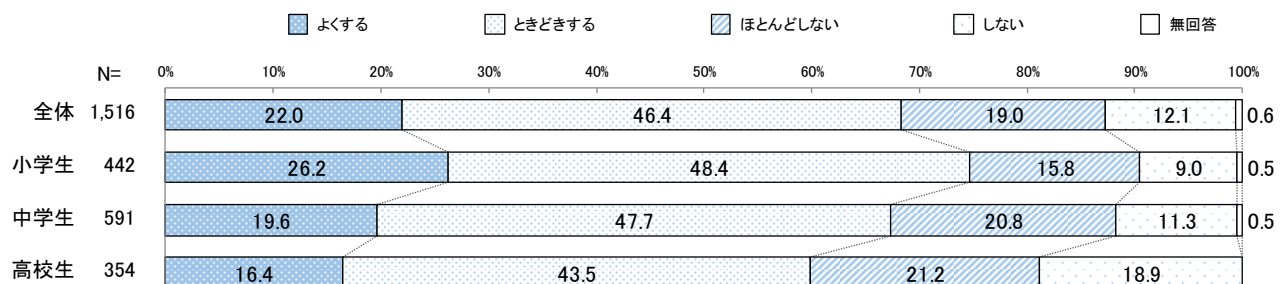


近所の大人とのあいさつや会話について 【問 25】

■ふだん、近所の大人とあいさつをしたり、話をすることがありますか。(1つ)

◇ 全体では、「ときどきする」が 46.4%と最も多く、次いで「よくする」が 22.0%、「ほとんどしない」が 19.0%となっている。

◇ 高校生になるにつれて、「しない」「ほとんどしない」の割合が高くなる。



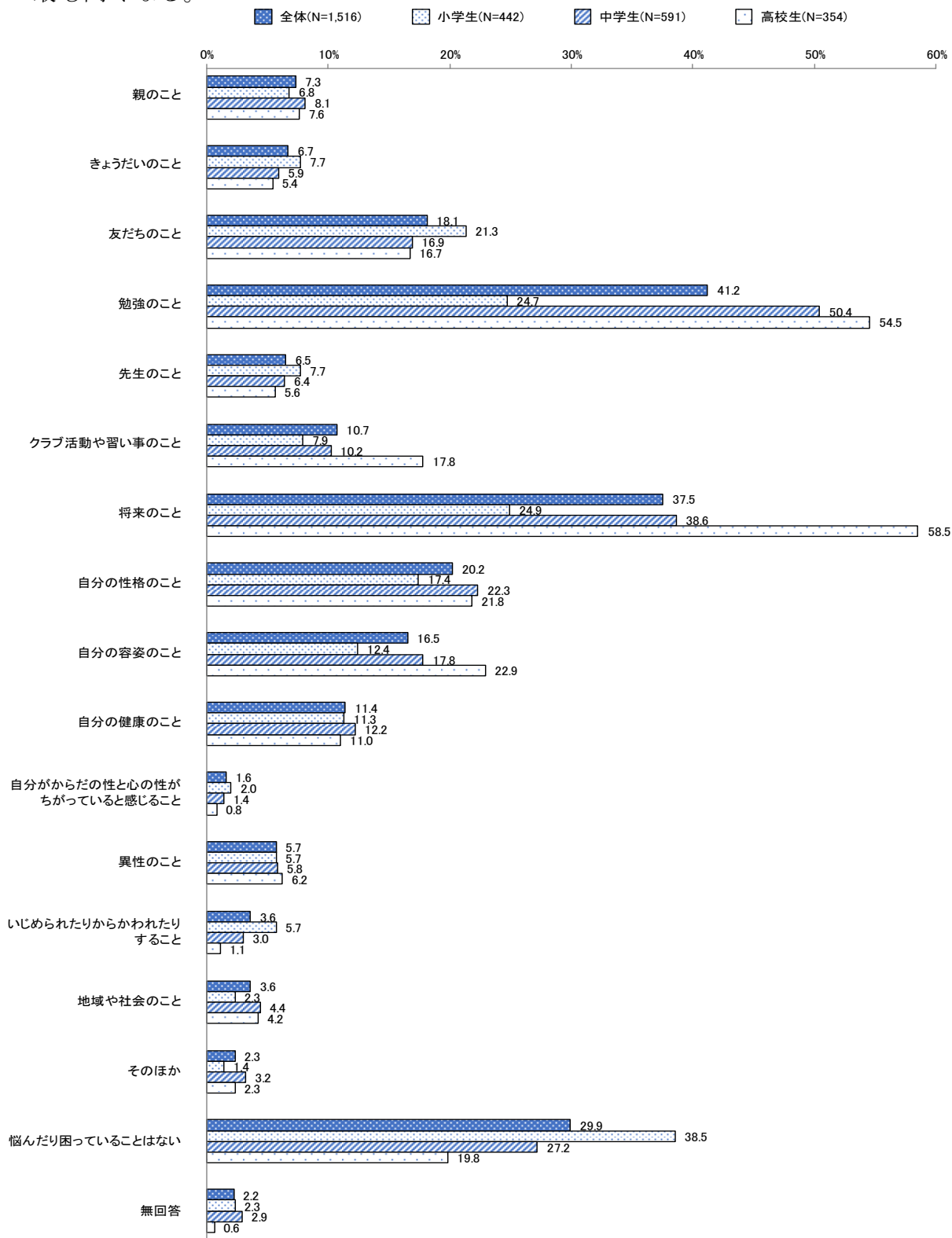
～あなた自身に関する質問～

あなたの悩みなどについて 【問 26】

■あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。(複数回答)

◇ 全体では、「勉強のこと」が 41.2%と最も多く、次いで「将来のこと」37.5%、「悩んだり困っていることはない」が 29.9%となっている。

◇ 小学生は「悩んだり困っていることはない」の割合が 38.5%と最も高い。中学生になると「勉強のこと」が 50.4%、高校生になると「将来のこと」が 58.5%とそれぞれ最も高くなる。



【前回調査との数値比較】

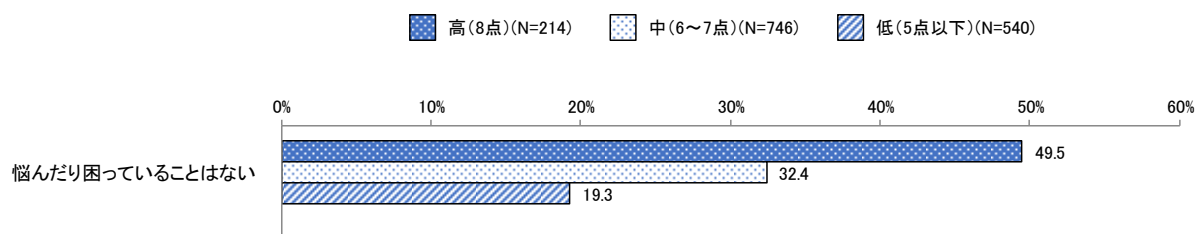
	勉強のこと			将来のこと			自分の性格のこと		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	38.5	41.2	2.7	33.4	37.5	4.1	16.1	20.2	4.1
小学生	23.4	24.7	1.3	18.5	24.9	6.4	14.1	17.4	3.3
中学生	45.2	50.4	5.2	33.1	38.6	5.5	16.6	22.3	5.7
高校生	46.8	54.5	7.7	50.5	58.5	8.0	18.3	21.8	3.5

	自分の容姿のこと			悩んだり困っている ことはない		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	10.5	16.5	6.0	33.7	29.9	▲ 3.8
小学生	4.9	12.4	7.5	44.7	38.5	▲ 6.2
中学生	11.0	17.8	6.8	32.6	27.2	▲ 5.4
高校生	16.0	22.9	6.9	26.0	19.8	▲ 6.2

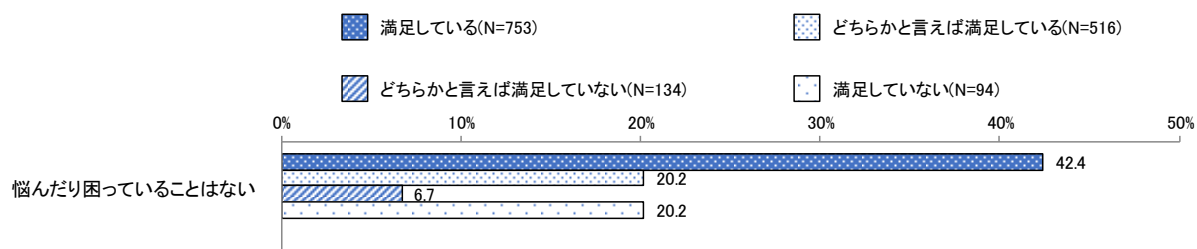
『悩みや困ったこと（問 26）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が悩んでいることや困っていることはないと回答した割合が高い。

<自己肯定感指標>

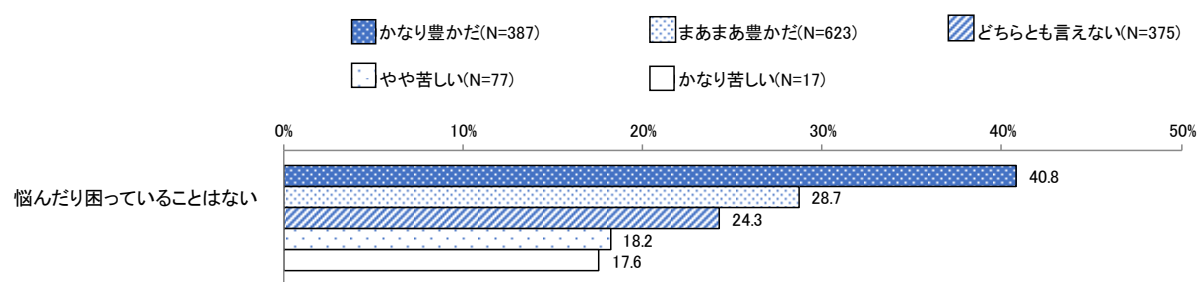


<生活満足度>



『悩みや困ったこと（問 26）と経済的な生活レベル（問 14）』

- ◎ 経済的な生活レベルが「豊かだ」と感じている子の方が悩んでいることや困っていることとはないと回答した割合が高い。

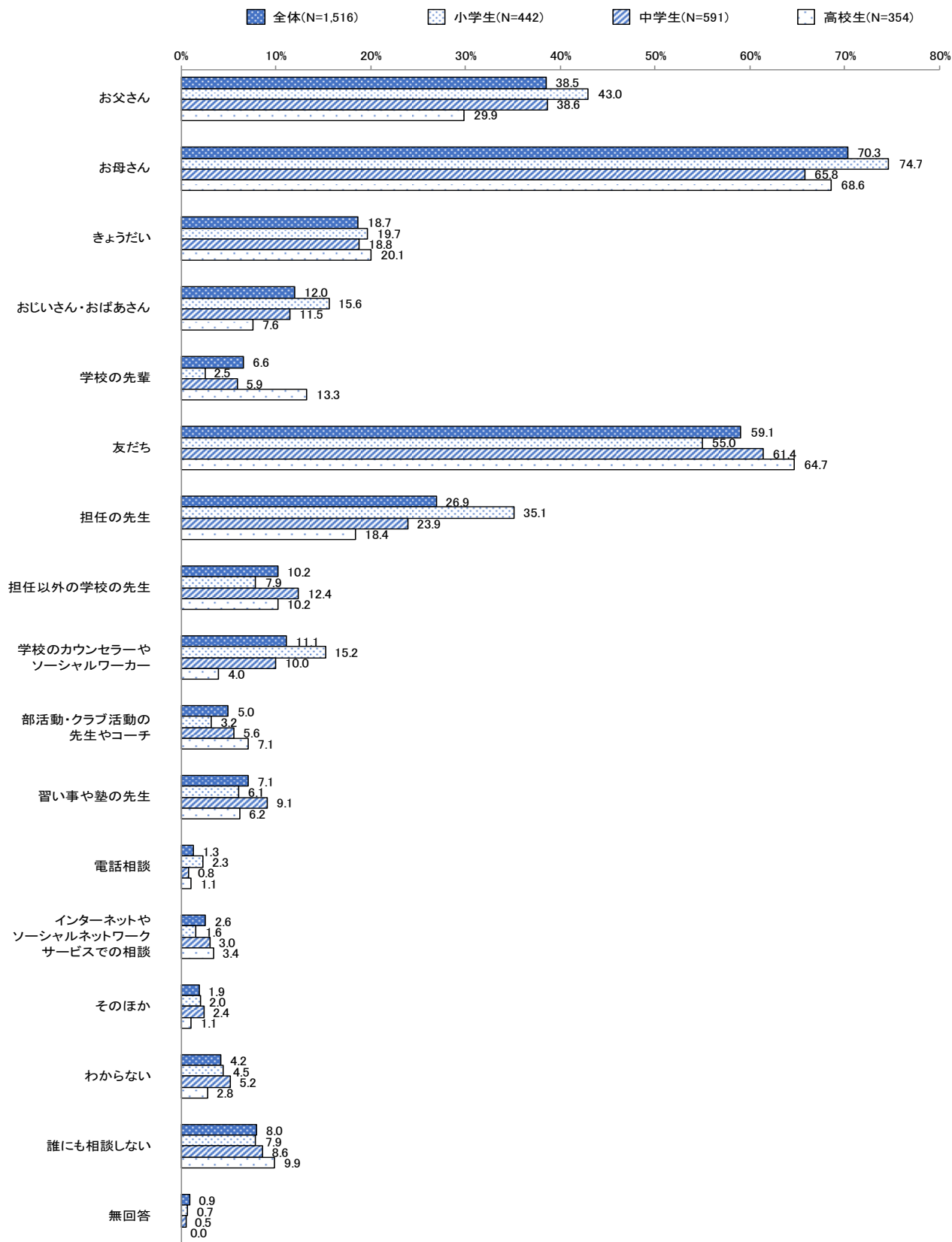


悩みの相談相手について 【問 27】

■悩みや困ったことがあるときに相談する人はだれですか。（複数回答）

◇ 全体では、「お母さん」が 70.3%で最も多く、次いで「友だち」が 59.1%、「お父さん」が 38.5%、「担任の先生」が 26.9%、「きょうだい」が 18.7%となっている。

◇ 「お父さん」「お母さん」に相談する割合は、ともに小学生が最も高い。



【前回調査との数値比較】

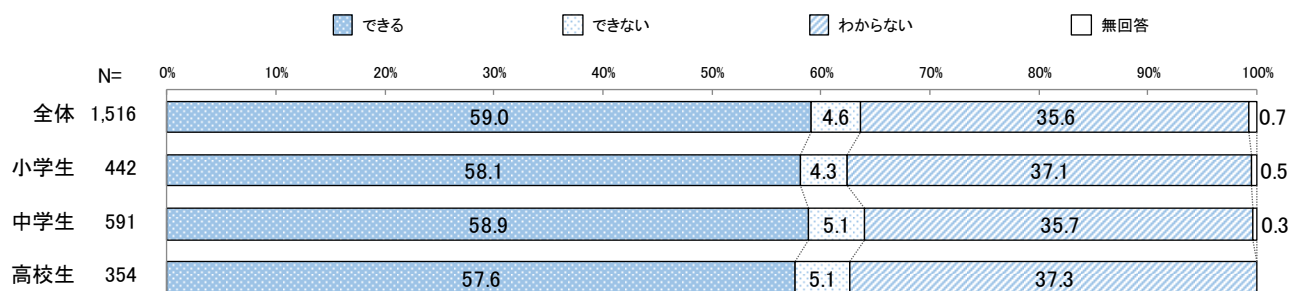
	誰にも相談しない		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	7.7	8.0	0.3
小学生	6.9	7.9	1.0
中学生	7.5	8.6	1.1
高校生	8.7	9.9	1.2

いじめを見たり聞いたりしたときのことについて 【問 28】

■あなたは、いじめだと思うことを見たり聞いたりしたときに先生や親、友だちに相談することができますか。（1つ）

◇ 全体では、「できる」と回答した割合が約 6 割を占める。

◇ 小学生、中学生、高校生ともに、「できない」と回答した割合は 5%前後となっている。

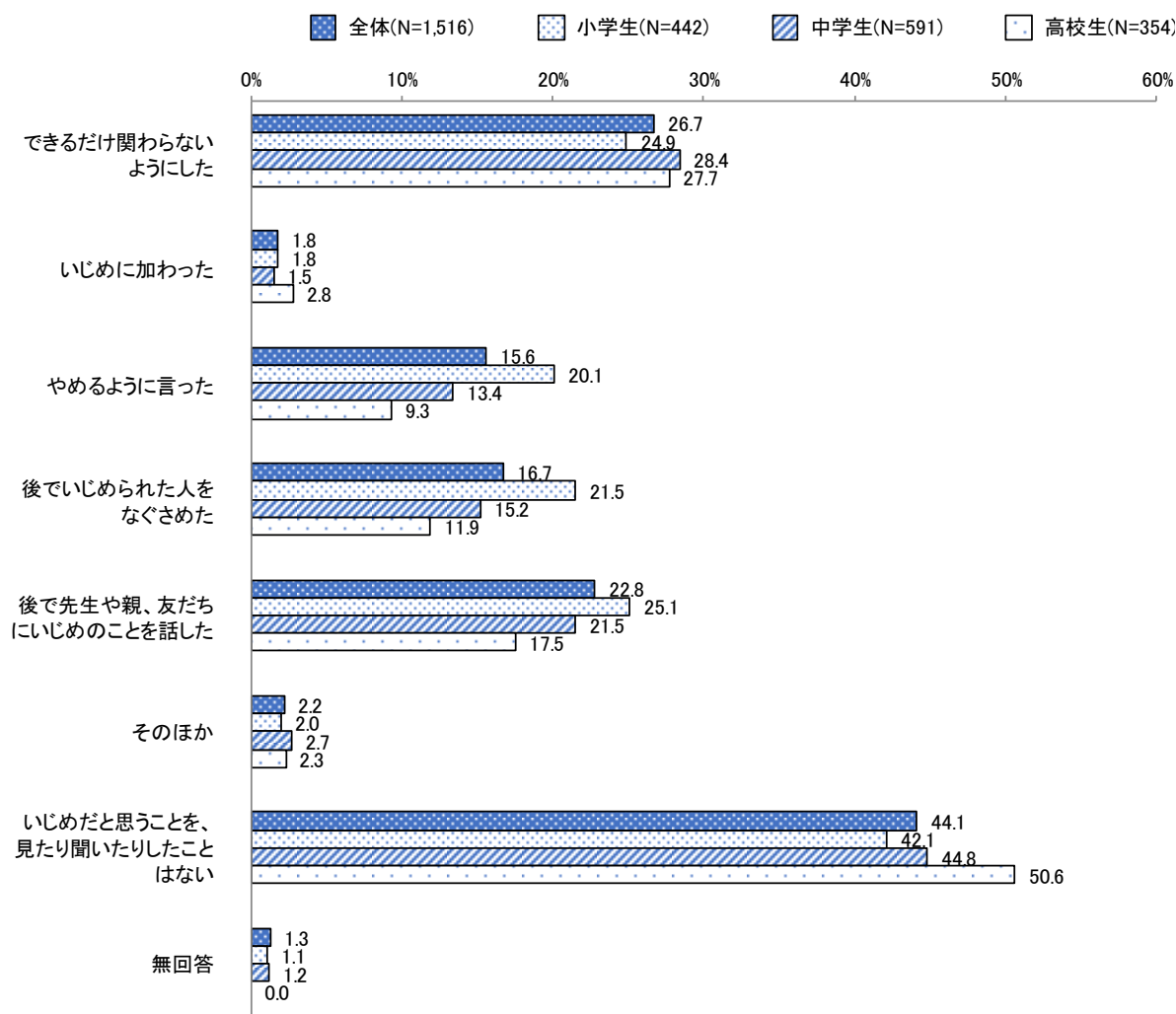


いじめを見たり聞いたりしたときの行動について 【問 29】

■これまでに、いじめだと思うことを見たり聞いたりしたときにどうしましたか。

(複数回答)

- ◇ 全体では、「いじめだと思うことを、見たり聞いたりしたことはない」が 44.1%で最も多く、次いで「できるだけ関わらないようにした」が 26.7%、「後で先生や親、友だちにいじめのことを話した」が 22.8%となっている。
- ◇ 小学生は、「やめるように言った」「後でいじめられた人をなぐさめた」「後で先生や親、友だちにいじめのことを話した」の割合が、中学生、高校生に比べていずれも最も高い。



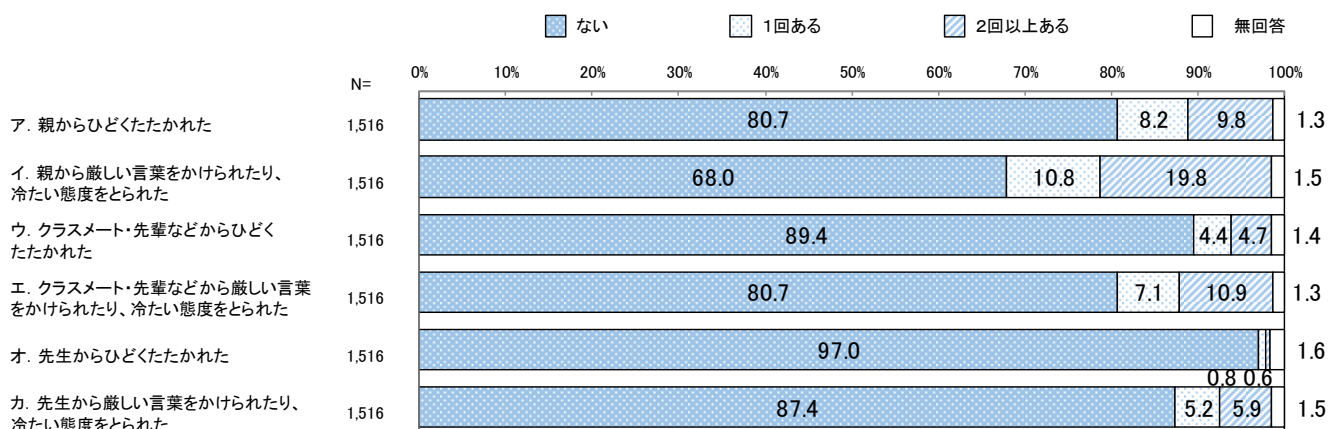
【前回調査との数値比較】

	できるだけ関わらないようにした			いじめだと思うことを、見たり聞いたりしたことはない		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	28.9	26.7	▲ 2.2	42.0	44.1	2.1
小学生	22.9	24.9	2.0	42.6	42.1	▲ 0.5
中学生	31.5	28.4	▲ 3.1	42.0	44.8	2.8
高校生	32.4	27.7	▲ 4.7	44.3	50.6	6.3

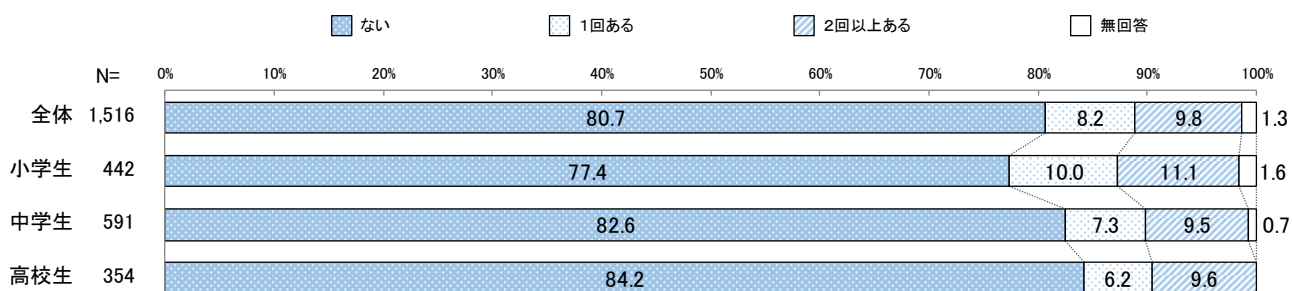
たたかれたり、傷つけられたことについて 【問 30】

■あなたはこれまでに、だれからひどくたたかれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりしたことがありますか。(各1つ)

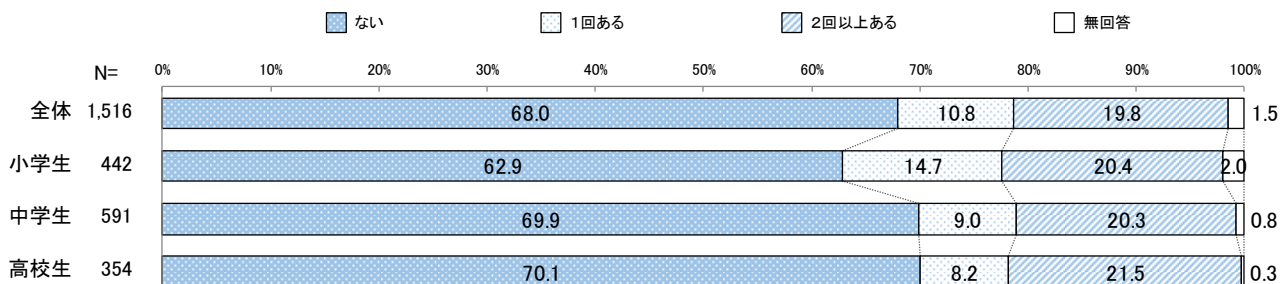
- ◇ 全ての項目で「ない」が60%以上の割合を占めている。
- ◇ 「1回ある」と「2回以上ある」の合計の割合は、「親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」が30.6%と最も多く、次いで「親からひどくたたかれた」「クラスメート・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」が同率で18.0%となっている。
- ◇ 「2回以上ある」は、「親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」の割合が最も高く、19.8%である。



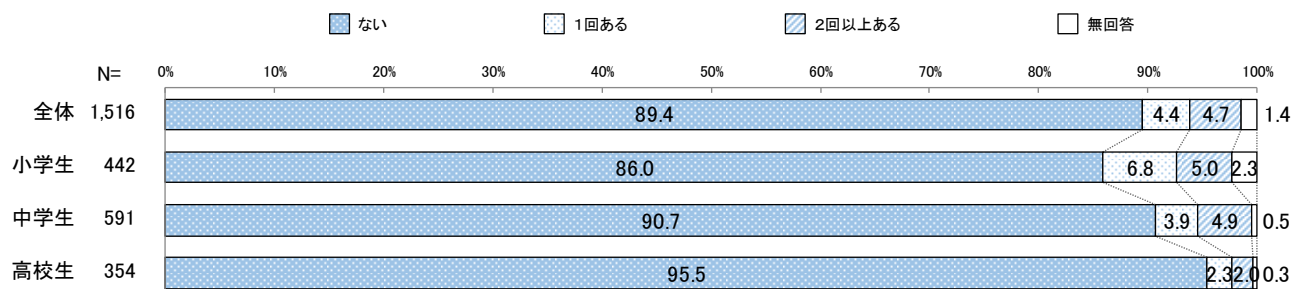
ア. 親からひどくたたかれた



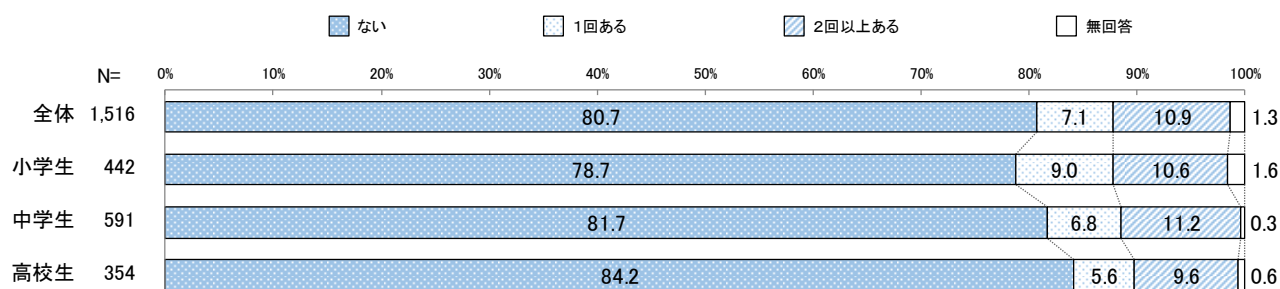
イ. 親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた



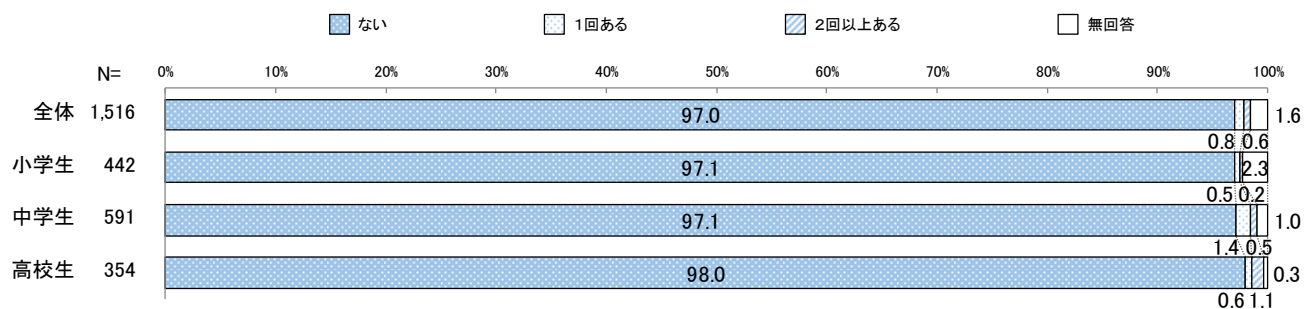
ウ. クラスメート・先輩などからひどくたたかれた



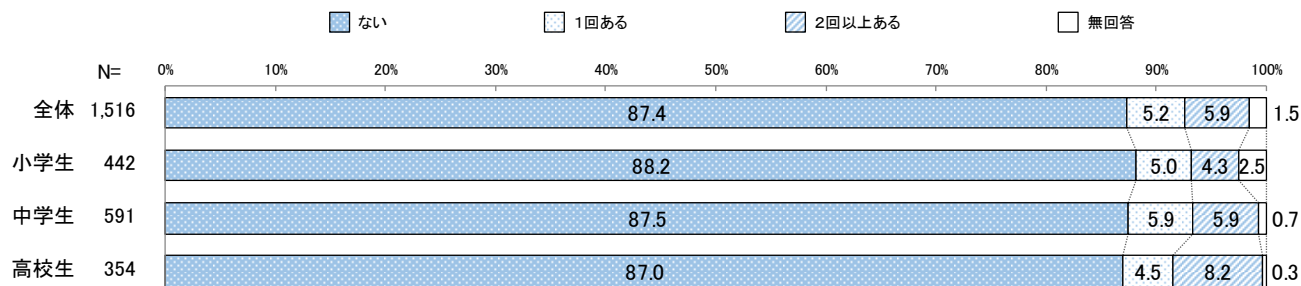
エ. クラスメート・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた



オ. 先生からひどくたたかれた



カ. 先生から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた



【前回調査との数値比較】※各項目における「1回ある」「2回以上ある」の割合

	親からひどくたたかれた		
	平成 30年	令和 5年	変化量
全 体	19.0	18.0	▲ 1.0
小学生	19.9	21.1	1.2
中学生	18.7	16.8	▲ 1.9
高校生	19.1	15.8	▲ 3.3

親から厳しい言葉をかけられたり、 冷たい態度をとられた		
平成 30年	令和 5年	変化量
25.0	30.6	5.6
23.7	35.1	11.4
23.8	29.3	5.5
29.3	29.7	0.4

	クラスメート・先輩などから ひどくたたかれた		
	平成 30年	令和 5年	変化量
全 体	8.1	9.1	1.0
小学生	11.1	11.8	0.7
中学生	6.4	8.8	2.4
高校生	7.7	4.3	▲ 3.4

クラスメート・先輩などから厳しい 言葉をかけられたり、冷たい態度を とられた		
平成 30年	令和 5年	変化量
15.9	18.0	2.1
12.1	19.6	7.5
13.9	18.0	4.1
23.0	15.2	▲ 7.8

	先生からひどくたたかれた		
	平成 30年	令和 5年	変化量
全 体	2.1	1.4	▲ 0.7
小学生	1.4	0.7	▲ 0.7
中学生	1.6	1.9	0.3
高校生	3.4	1.7	▲ 1.7

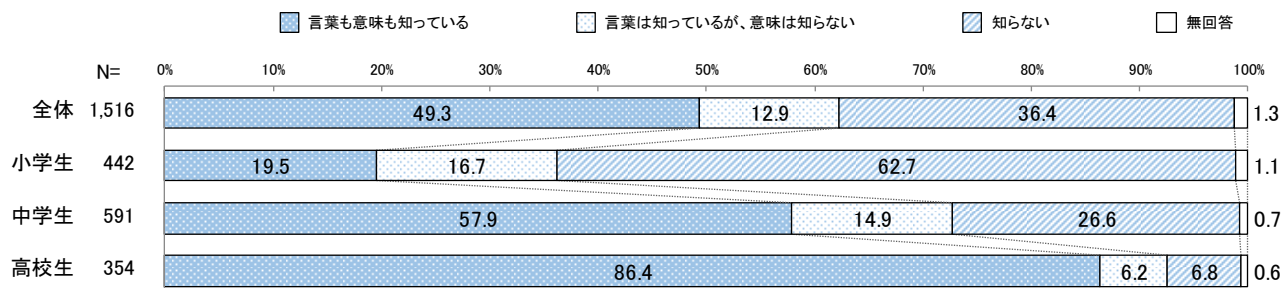
先生から厳しい言葉を かけられたり、冷たい態度を とられた		
平成 30年	令和 5年	変化量
10.8	11.1	0.3
6.0	9.3	3.3
9.8	11.8	2.0
16.9	12.7	▲ 4.2

セクシュアル・マイノリティについて 【問 31】

■「セクシュアル・マイノリティ」（性的少数者）または「LGBT」という言葉を知っていますか。（1つ）

◇ 全体では、「言葉も意味も知っている」が49.3%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が12.9%となっている。

◇ 高校生になるにつれて「言葉も意味も知っている」割合が高くなる。

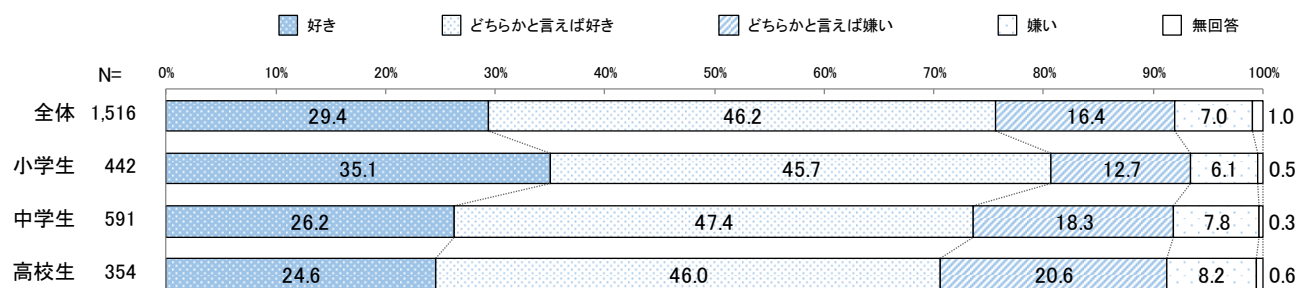


自分のことが好きかについて 【問 32】

■自分のことが好きですか。（1つ）

◇ 全体では、「どちらかといえば好き」が46.2%、「好き」が29.4%となっている。

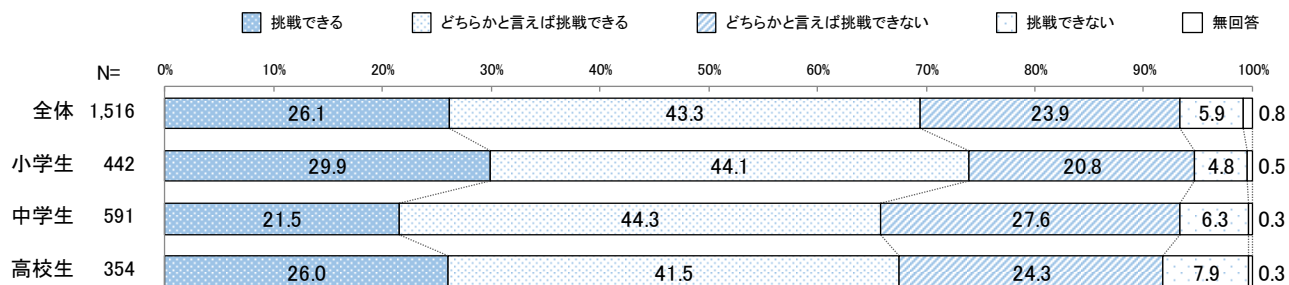
◇ 高校生になるにつれて「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の割合が高くなる。



色々なことに挑戦できるかについて 【問 33】

■色々なことに積極的に挑戦できますか。(1つ)

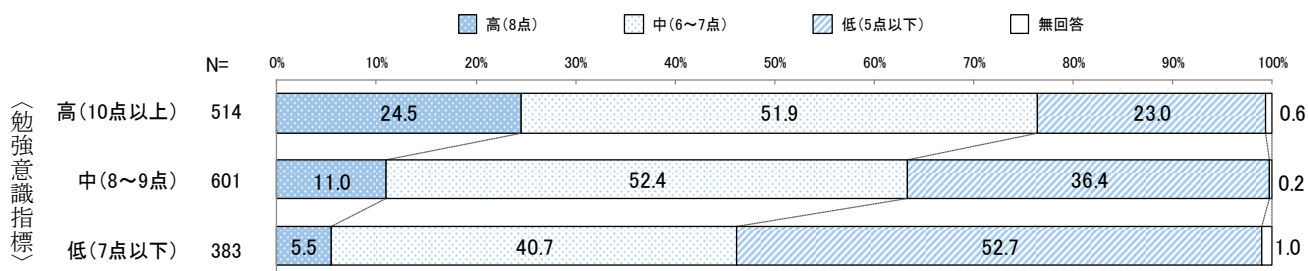
- ◇ 全体では、「どちらかと言えば挑戦できる」が 43.3%で最も多く、次いで「挑戦できる」が 26.1%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて、色々なことに「挑戦できない」割合は高くなる。



『自己肯定感（問 32・33）と勉強意識（問 39～41）』

- 「勉強意識」が高い子は、「自己肯定感」が高い子が多い。

<自己肯定感指標>

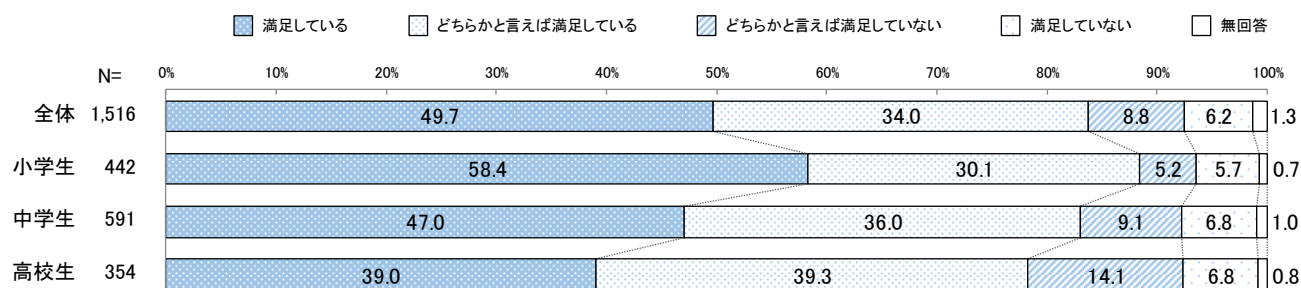


今の生活の満足感について 【問 34】

■今の生活に満足していますか。(1つ)

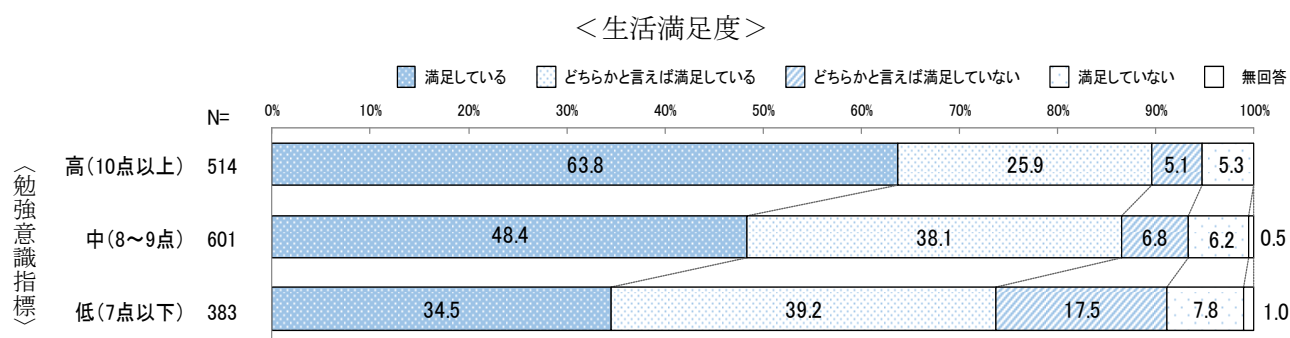
◇ 全体では、「満足している」が 49.7%、「どちらかと言えば満足している」が 34.0%である。

◇ 高校生になるにつれて、「満足している」の割合が低くなる。



『生活満足度（問 34）と勉強意識（問 39～41）』

○ 「勉強意識」が高い子は、生活に「満足している」または「どちらかと言えば満足している」と感じている子が多い。



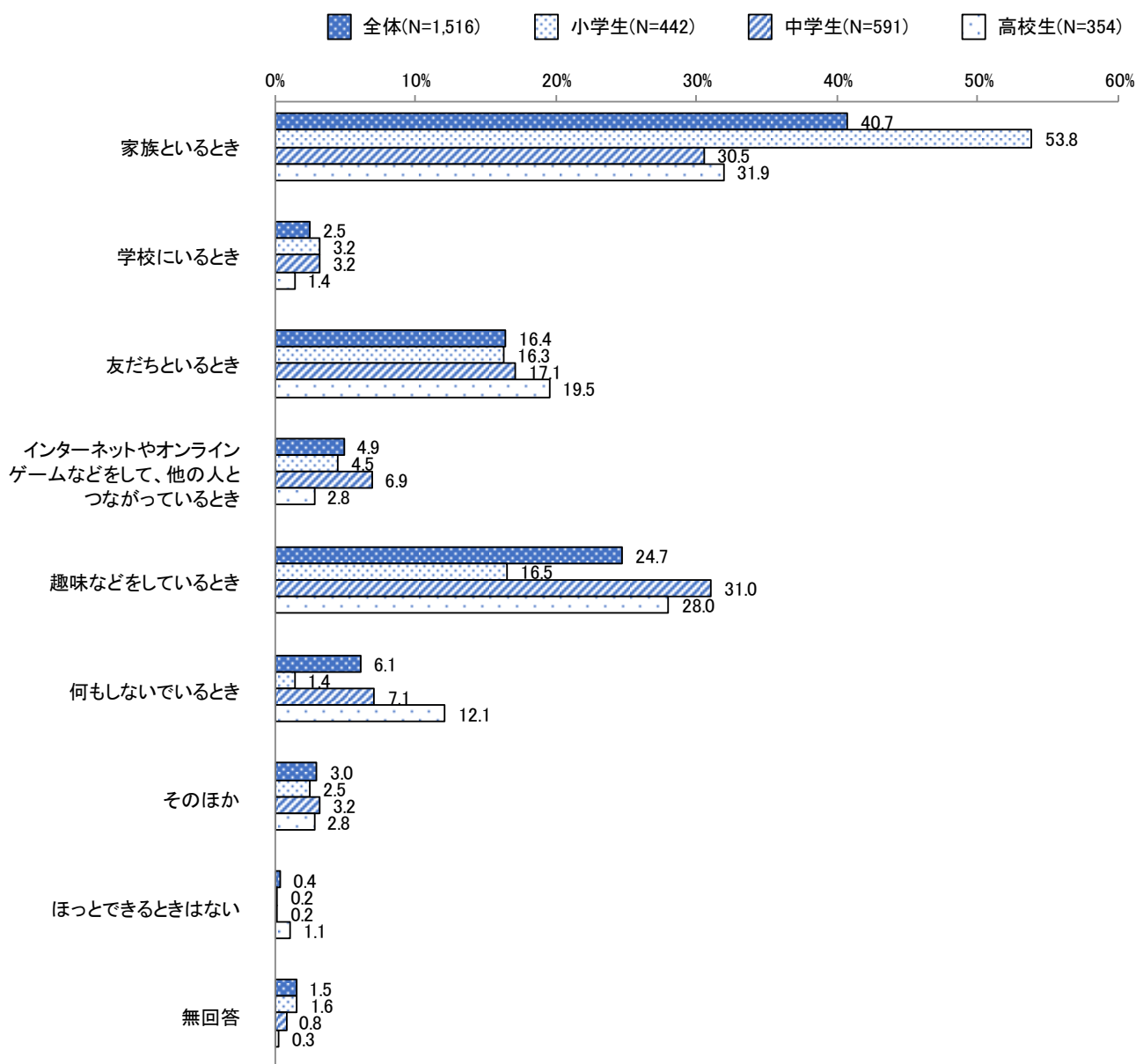
ほっとできるときについて 【問 35】

■ふだんの生活の中で、ほっとできるのはどんなときですか。（順位をつけて3つ）

【1番目】

◇ 全体では、「家族といるとき」が40.7%で最も多く、次いで「趣味などをしているとき」が24.7%、「友だちといるとき」が16.4%となっている。

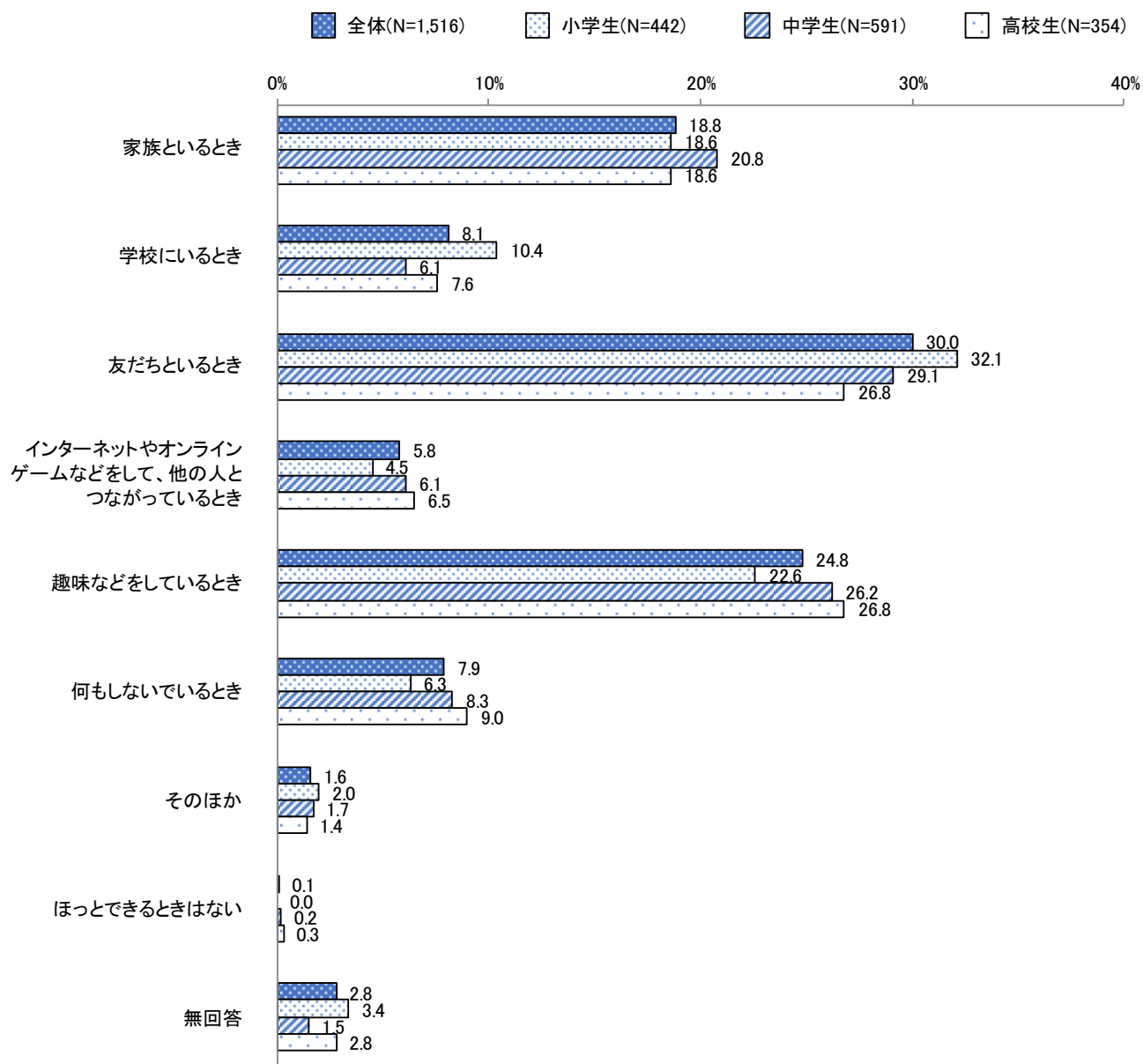
◇ 小学生の「家族といるとき」の割合は53.8%となっており、中学生、高校生と比べると20%以上高い。



【2番目】

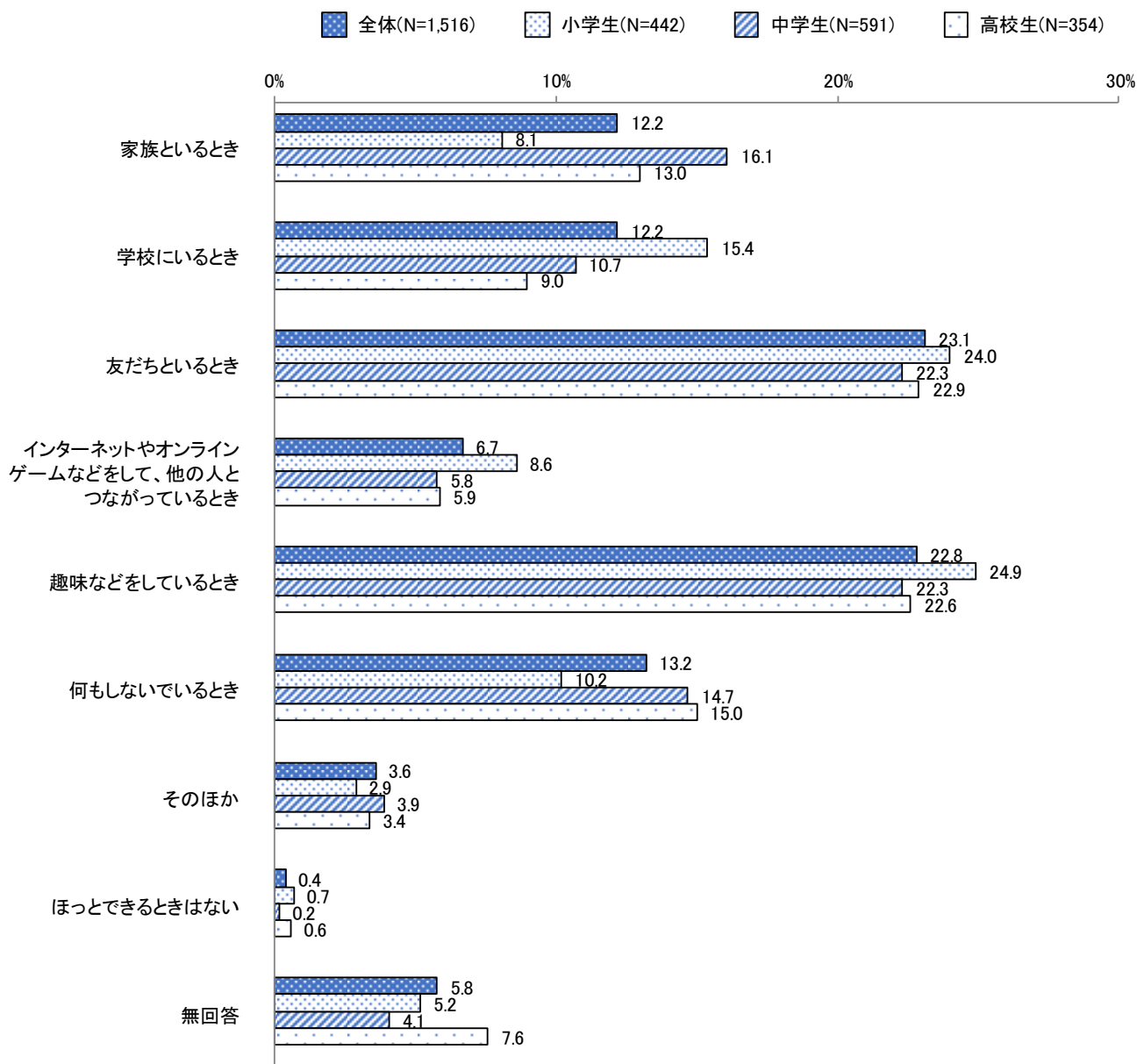
◇ 全体では、「友だちといるとき」が30.0%で最も多く、次いで「趣味などをしているとき」が24.8%、「家族といるとき」が18.8%となっている。

◇ 小学生、中学生、高校生ともその順番には変わらない。



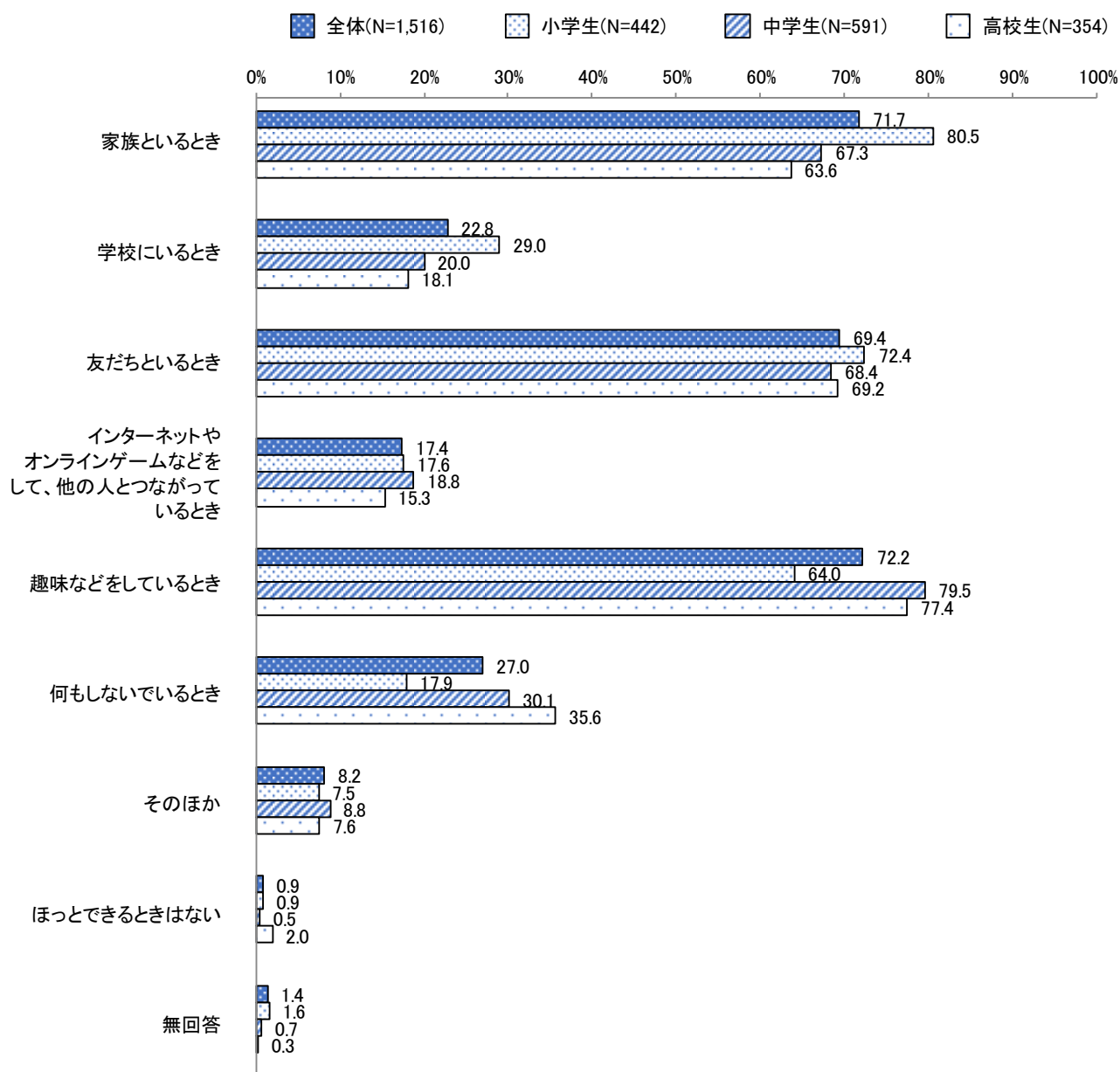
【3番目】

- ◇ 全体では、「友だちといるとき」が23.1%で最も多く、次いで「趣味などをしているとき」が22.8%、「何もしないでいるとき」が13.2%となっている。
- ◇ 小学生、中学生、高校生とも、「友だちといるとき」「趣味などをしているとき」の割合は20%を上回っている。



【1番目＋2番目＋3番目】

- ◇ 全体では、「趣味などをしているとき」が72.2%で最も多く、次いで「家族といるとき」が71.7%、「友だちといるとき」が69.4%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて「家族といるとき」の割合が低くなっている。

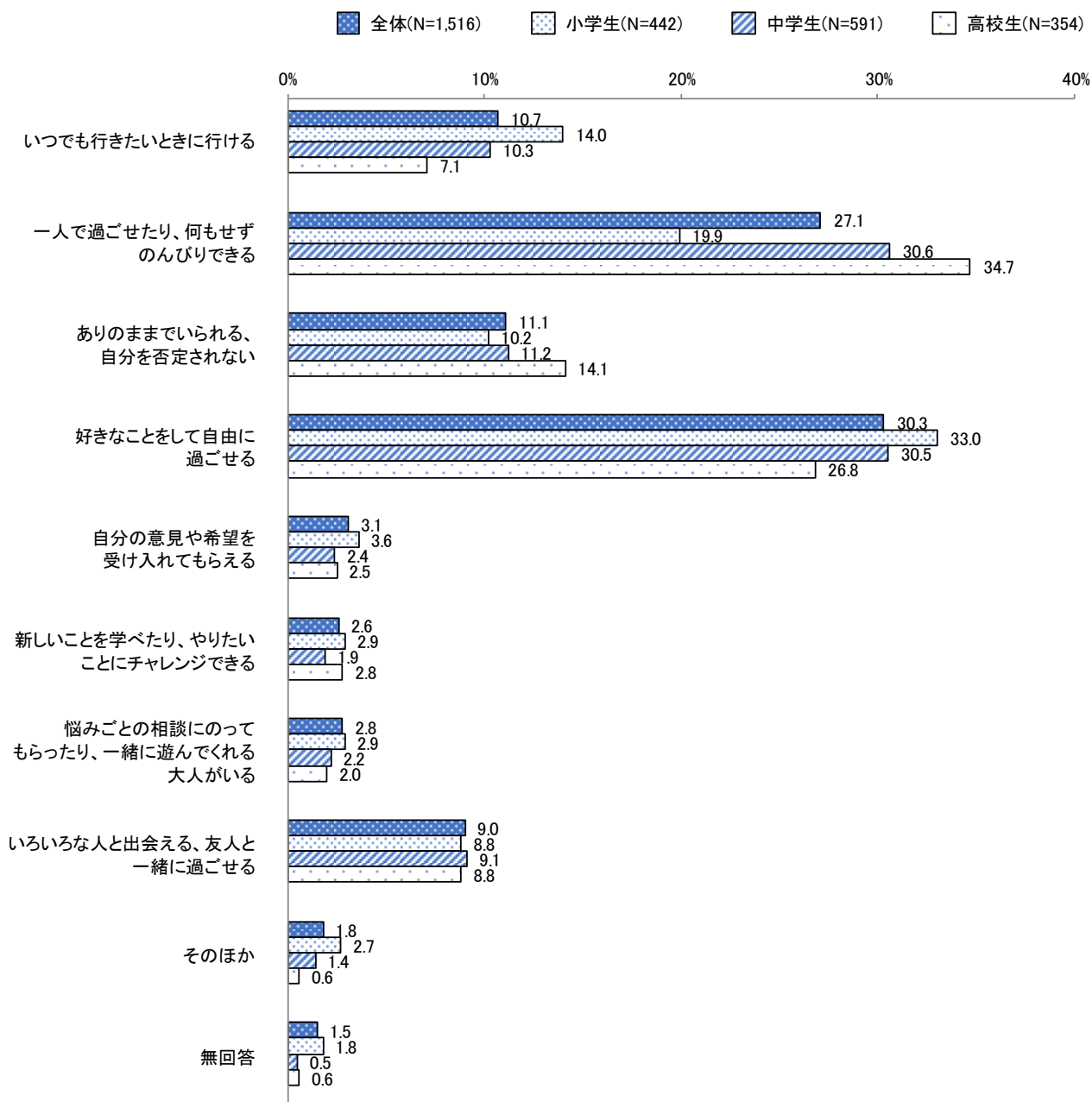


ほっとできる場所について 【問 36】

■あなたにとって、ほっとできる場所、自分らしくいられる場所はどのような場所ですか。（順位をつけて3つ）

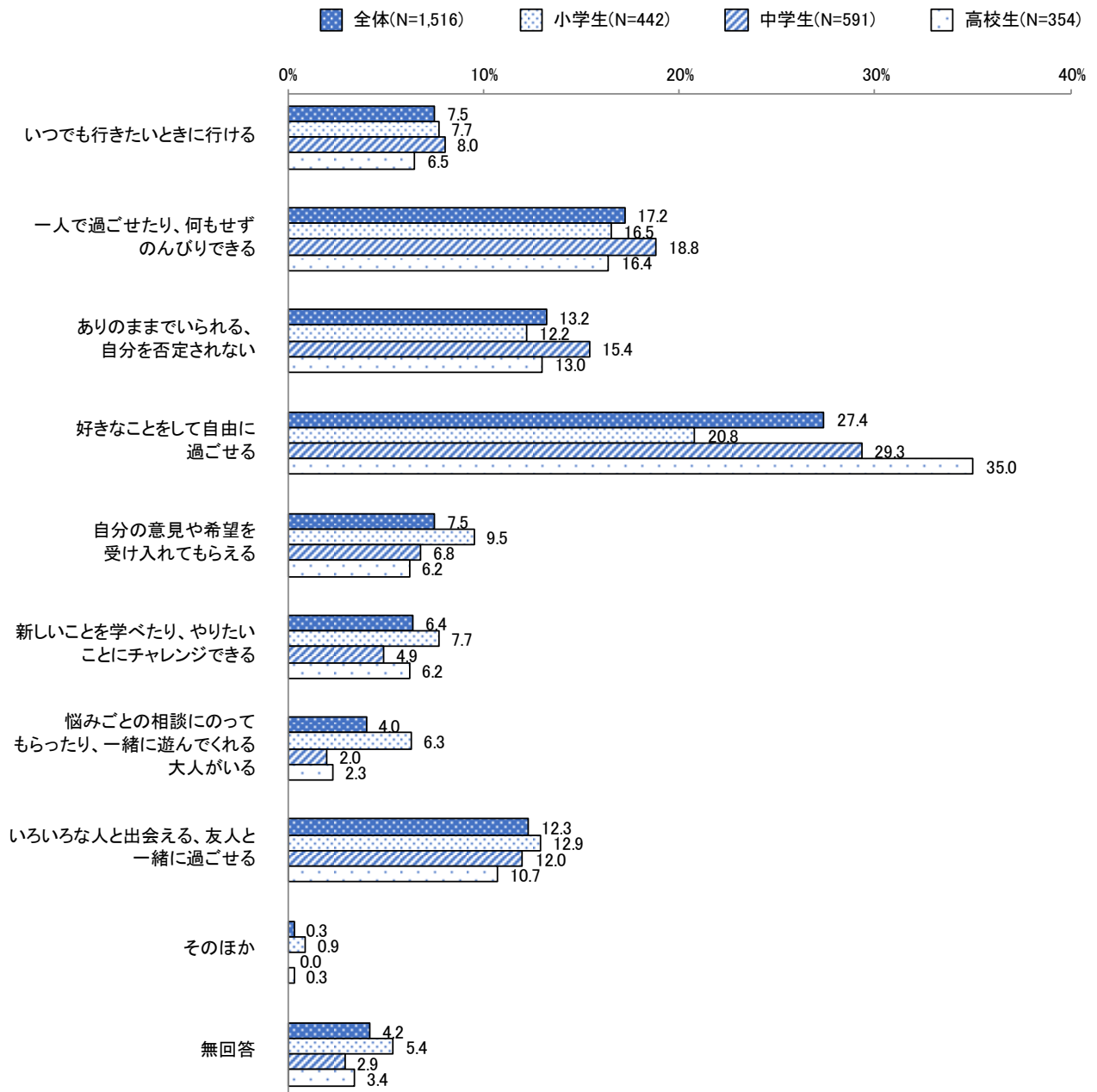
【1 番目】

- ◇ 全体では、「好きなことをして自由に過ごせる」が 30.3%で最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が 27.1%、「ありのままでいられる、自分を否定されない」が 11.1%となっている。
- ◇ 中学生と高校生の「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」の割合は、小学生と比べて、ともに 10%以上高くなっている。



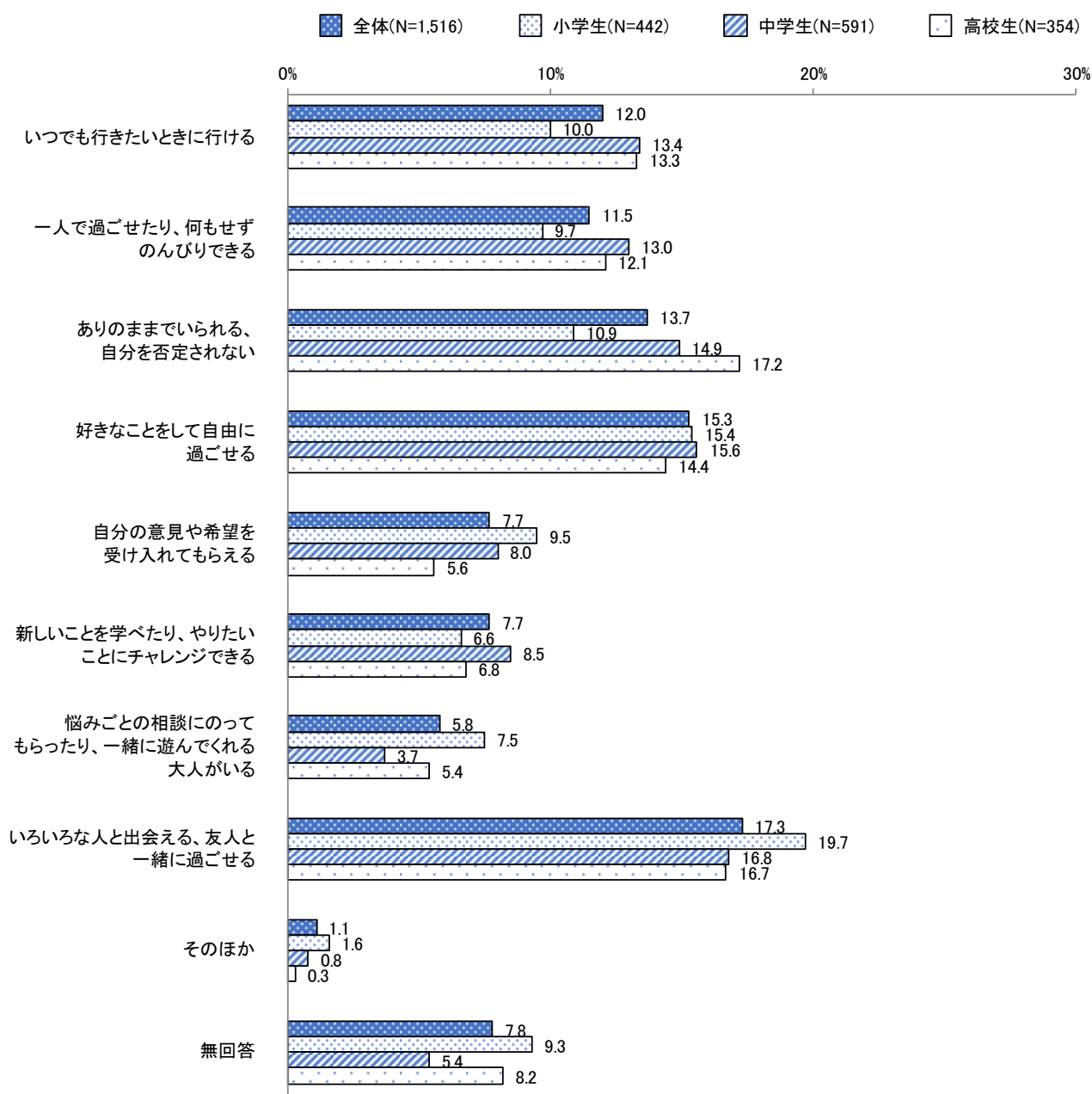
【2番目】

- ◇ 全体では、「好きなことをして自由に過ごせる」が27.4%で最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が17.2%、「ありのままでいられる、自分を否定されない」が13.2%となっている。
- ◇ 小学生、中学生、高校生のいずれも「好きなことをして自由に過ごせる」の割合が最も高い。高校生になるにつれてその割合は高くなっており、高校生は小学生よりも14.2%高くなっている。



【3番目】

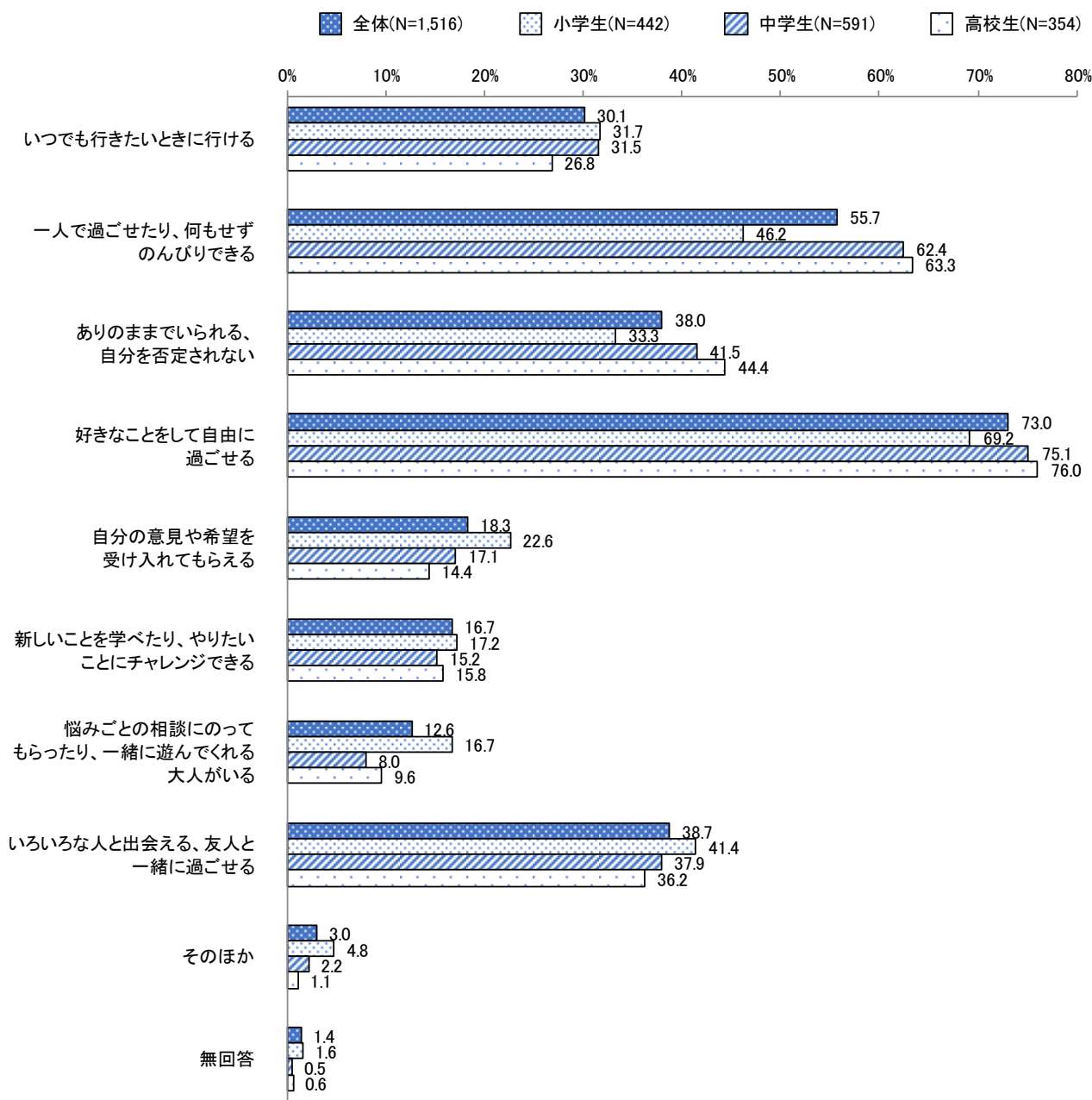
- ◇ 全体では、「いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」が17.3%で最も多く、次いで「好きなことをして自由に過ごせる」が15.3%、「ありのままでいられる、自分を否定されない」が13.7%となっている。
- ◇ 小学生、中学生、高校生とも、「好きなことをして自由に過ごせる」の割合は15%前後となっており、学校種別による差はほとんどない。



【1番目＋2番目＋3番目】

◇ 全体では、「好きなことをして自由に過ごせる」が73.0%で最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が55.7%、「いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」が38.7%となっている。

◇ 学校種別に見ると、小学生の「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」の割合は、中学生と高校生に比べて15%以上低くなっている。ただし他の項目において、学校種別の割合の差は、いずれも10%未満にとどまっている。

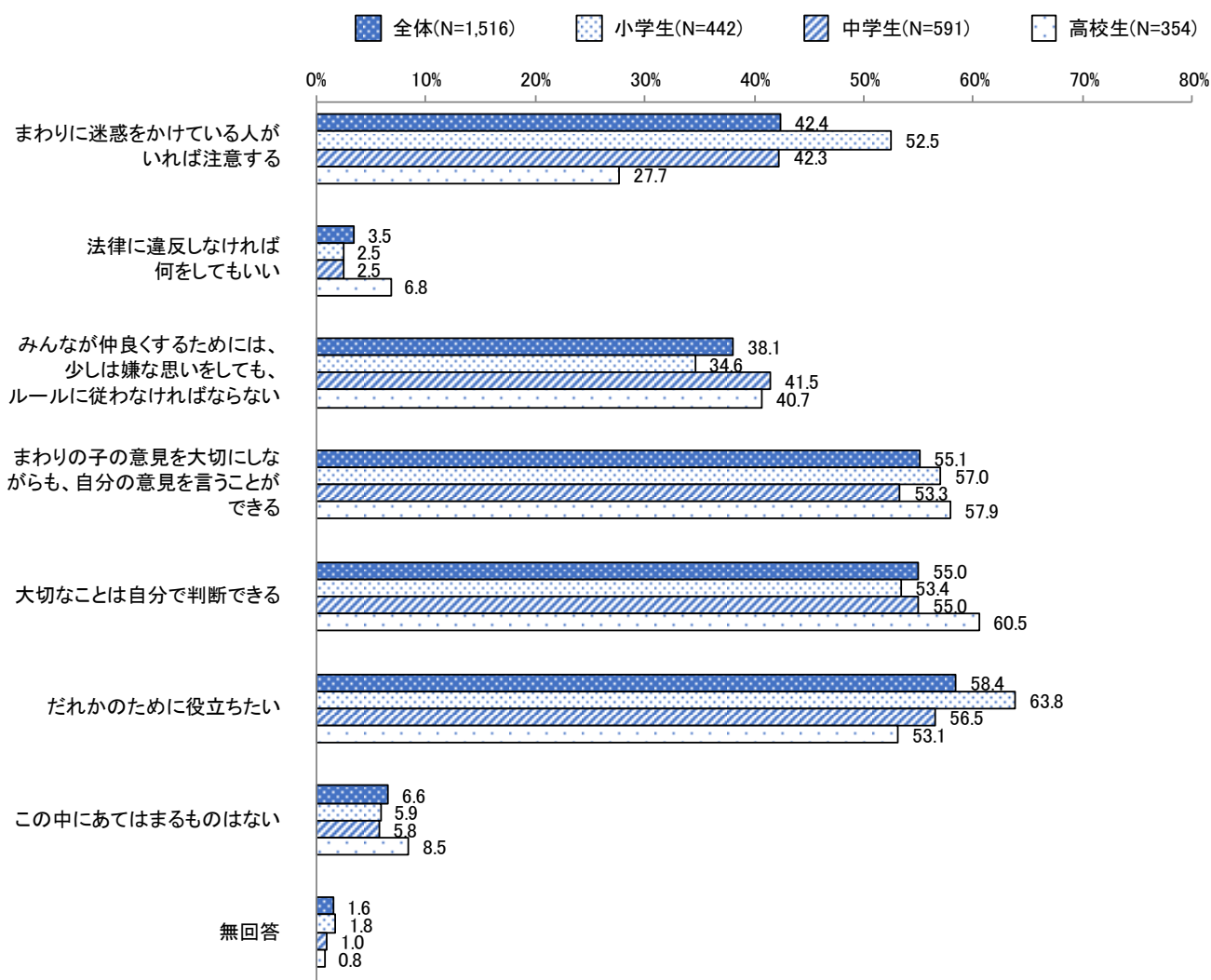


ものごとの考え方について 【問 37】

■次の中から、あなたがふだんから考えたり、やったりしていることはなんですか。

(複数回答)

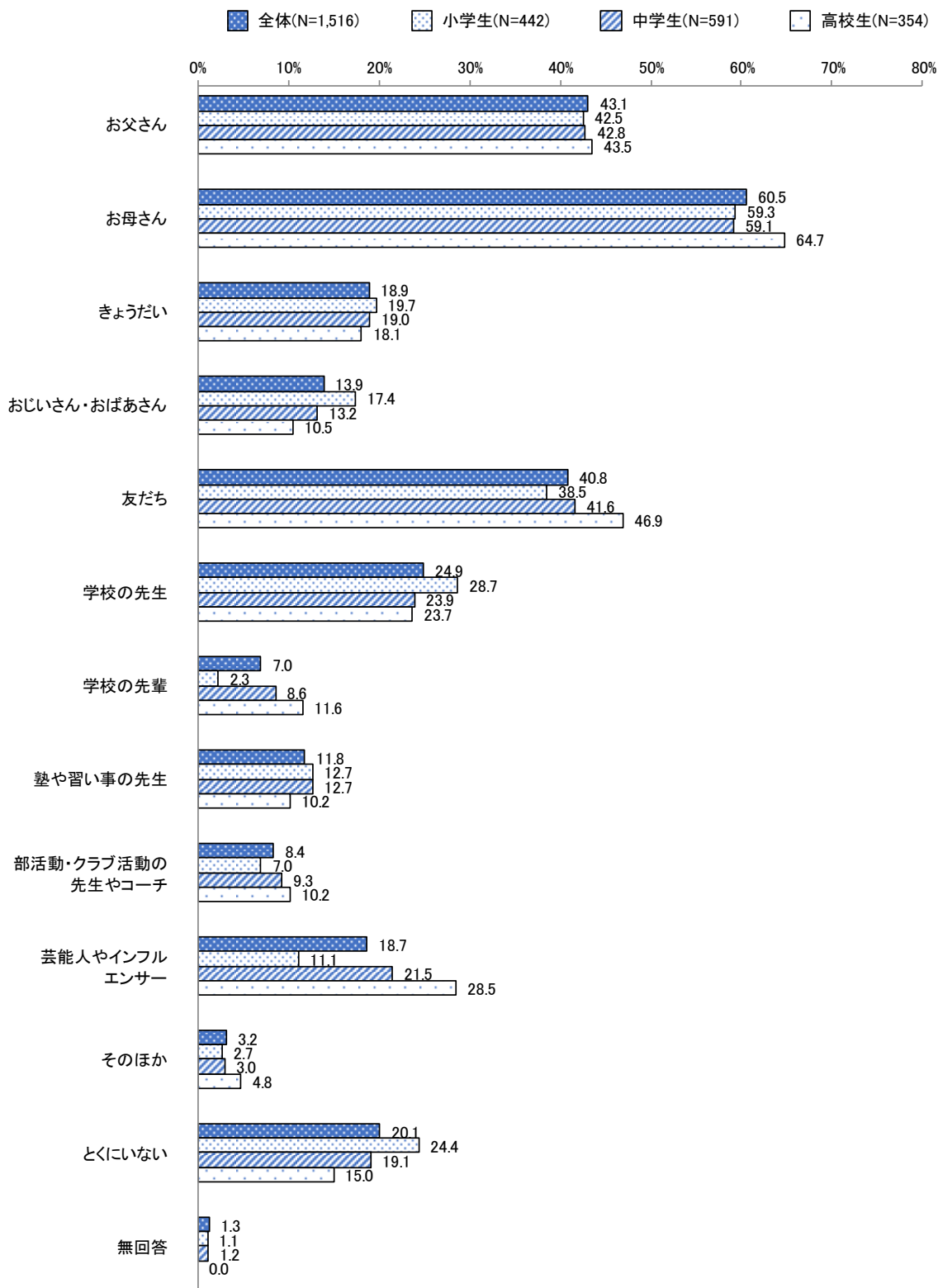
- ◇ 全体では、「だれかのために役立ちたい」が 58.4%で最も多く、次いで「まわりの子の意見を大切にしながらも、自分の意見を言うことができる」が 55.1%、「大切なことは自分で判断できる」が 55.0%、「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」が 42.4%となっている。
- ◇ 小学生は、「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」が 52.5%、「だれかのために役立ちたい」が 63.8%と割合が高く、高校生になると「大切なことは自分で判断できる」が 60.5%と割合が高くなる。



考え方に影響を与えている大人について 【問 38】

■あなたの考え方に影響を与えている大人はだれですか。（複数回答）

- ◇ 全体では、「お母さん」が 60.5%で最も多く、次いで「お父さん」が 43.1%、「友だち」が 40.8%となっている。
- ◇ 小学生、中学生はその順番に変わりはないが、高校生になると「友だち」の割合が「お父さん」よりも高くなる。

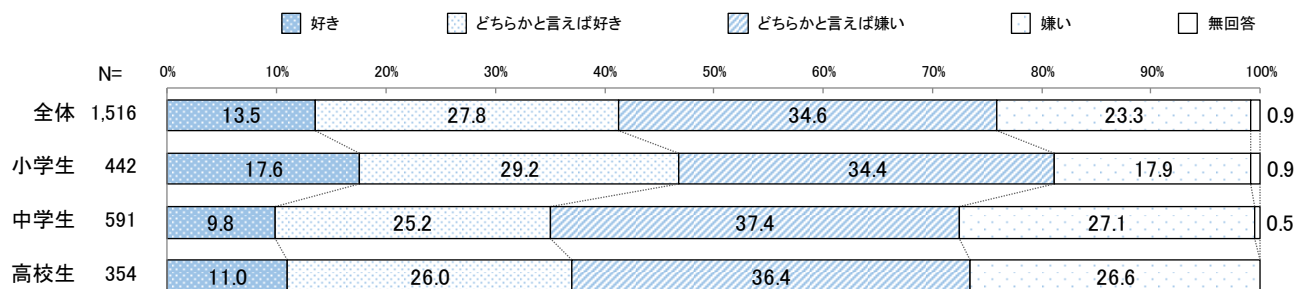


勉強が好きかについて

【問 39】

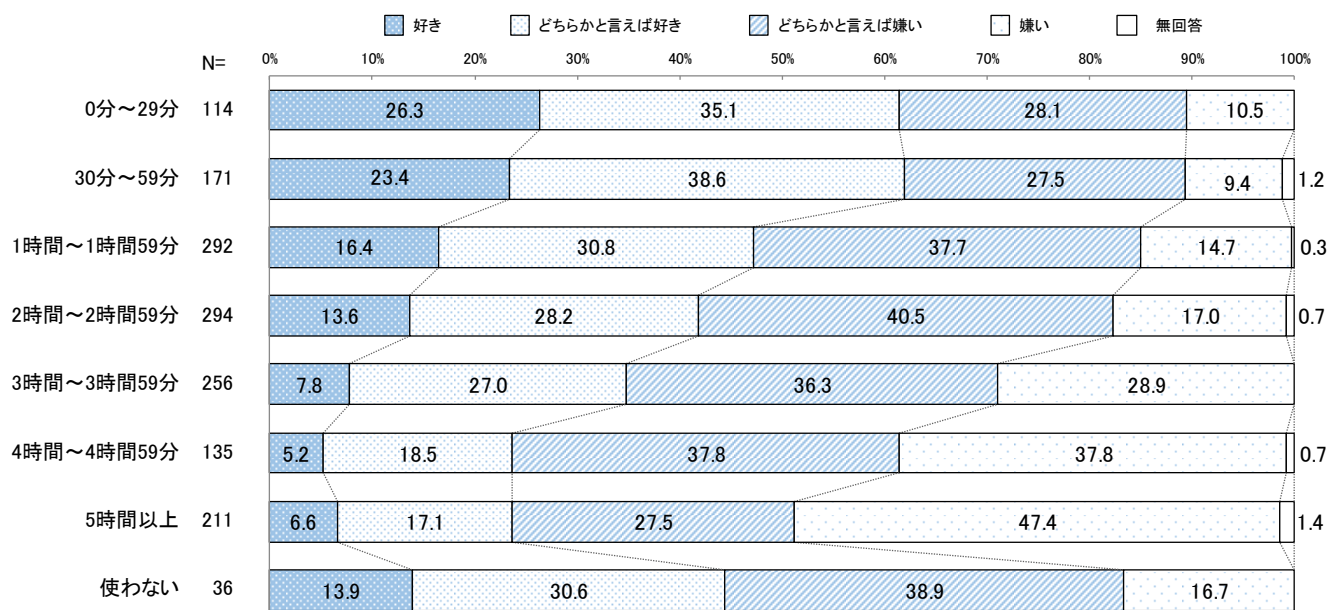
■勉強は好きですか。(1つ)

- ◇ 全体では、「どちらかと言えば嫌い」が 34.6%で最も多く、次いで「どちらかと言えば好き」が 27.8%、「嫌い」が 23.3%となっている。
- ◇ 小学生の場合、「好き」と「どちらかといえば好き」の合計の割合が 4 割以上であるが、中学生、高校生は 3 割台にとどまっている。



『勉強が好きか (問 39) とインターネットの使用時間 (問 12)』

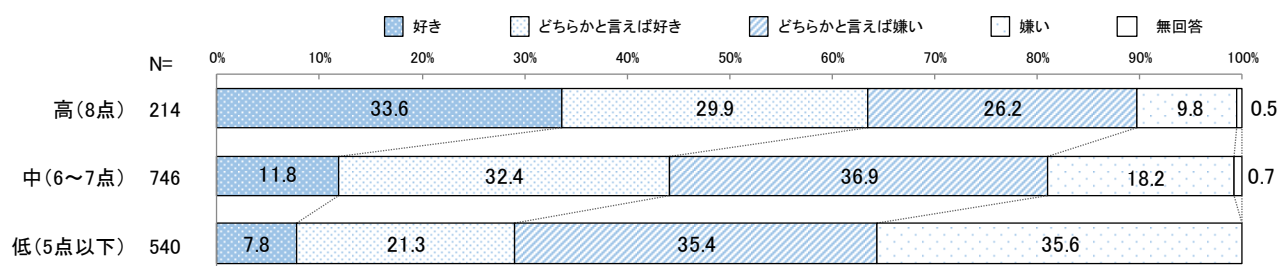
- ◎インターネットの使用時間が 1 時間未満の子は、勉強が「好き」または「どちらかと言えば好き」な子が 6 割を超えている。



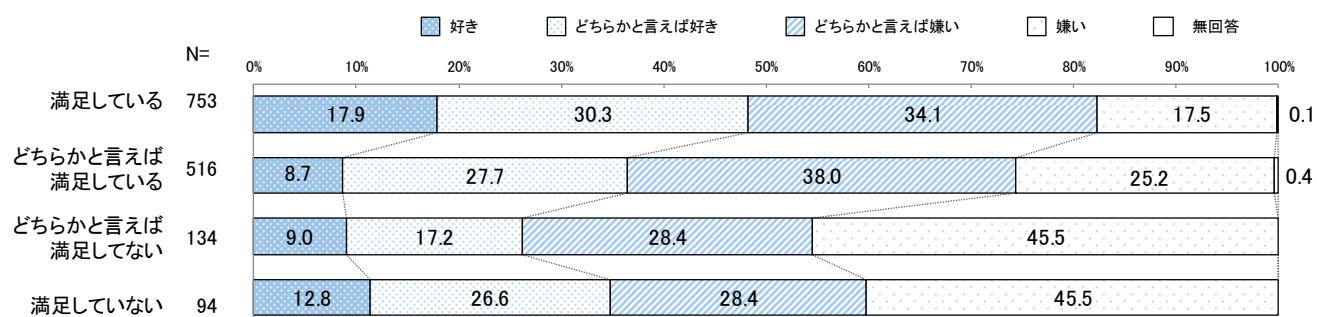
『勉強が好きか（問 39）と自己肯定感（問 32・33）・生活満足度（問 34）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が勉強が好きと感じている子が多い。

<自己肯定感指標>



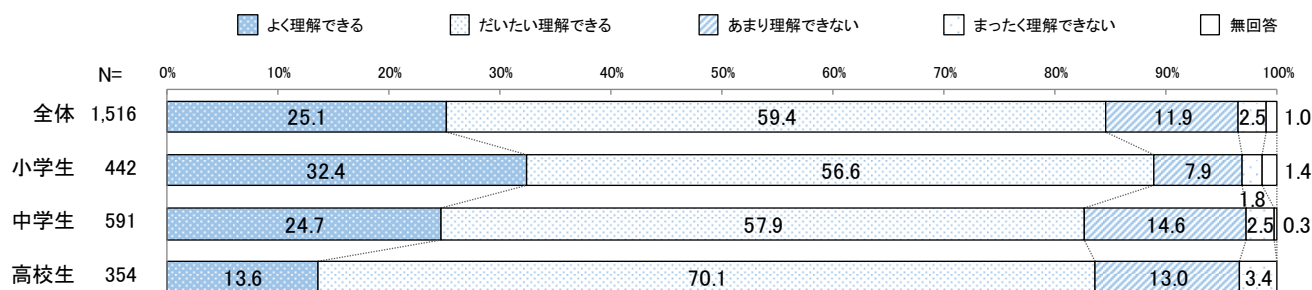
<生活満足度>



勉強が理解できるかについて【問 40】

■勉強が理解できますか。(1つ)

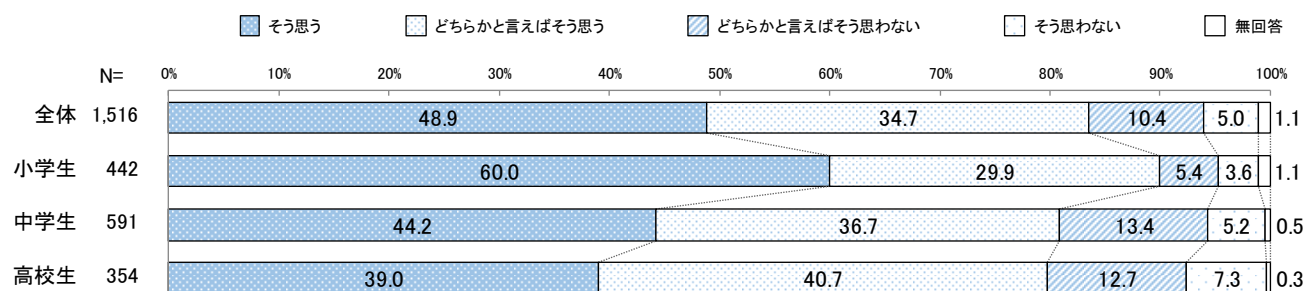
- ◇ 全体では、「だいたい理解できる」が 59.4%、「よく理解できる」が 25.1%であった。
- ◇ 勉強を「よく理解できる」割合は、高校生になるにつれて低くなる。



勉強が将来役に立つかについて【問 41】

■勉強は将来役に立つと思いますか。(1つ)

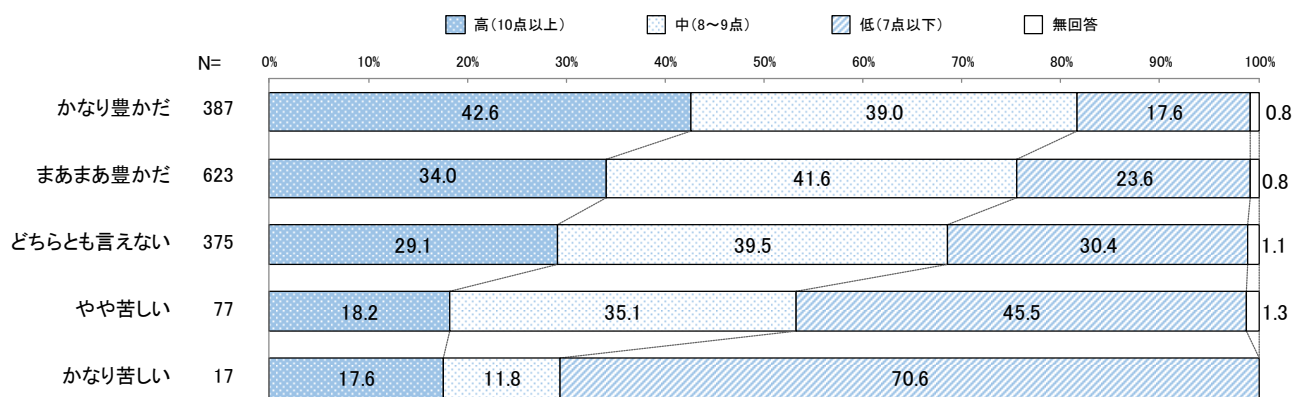
- ◇ 全体では、「そう思う」が 48.9%、「どちらかと言えばそう思う」が 34.7%であった。
- ◇ 勉強は将来役に立つと「思う」割合は、高校生になるにつれて低くなる。



『勉強意識（問 39～41）と経済的な生活レベル（問 14）』

- 「経済レベルが豊かだ」と感じている子の方が勉強意識が高い。

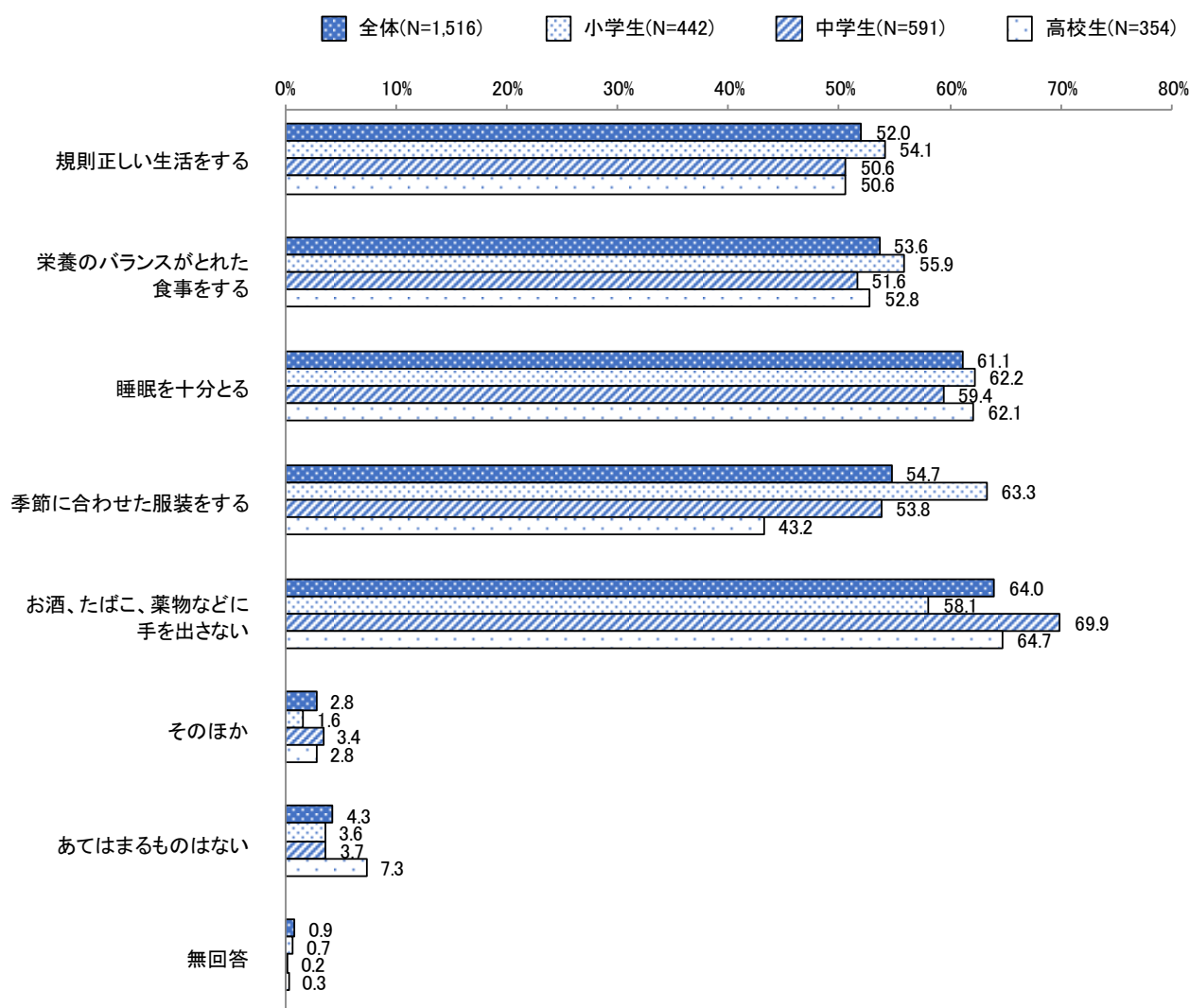
<勉強意識指標>



自分自身を大切にするために心がけていることについて 【問 42】

■自分の身体を大切にするために心がけていることはありますか。（複数回答）

- ◇ 全体では、「お酒、たばこ、薬物などに手を出さない」が 64.0%で最も多く、「睡眠を十分とる」が 61.1%、「季節に合わせた服装をする」が 54.7%、「栄養のバランスのとれた食事をする」が 53.6%、「規則正しい生活をする」が 52.0%となっている。
- ◇ 学校種別に見ると、「季節に合わせた服装をする」では高校生が 43.2%であるが、他の項目では、小学生、中学生、高校生ともに全て 50%を超えている。

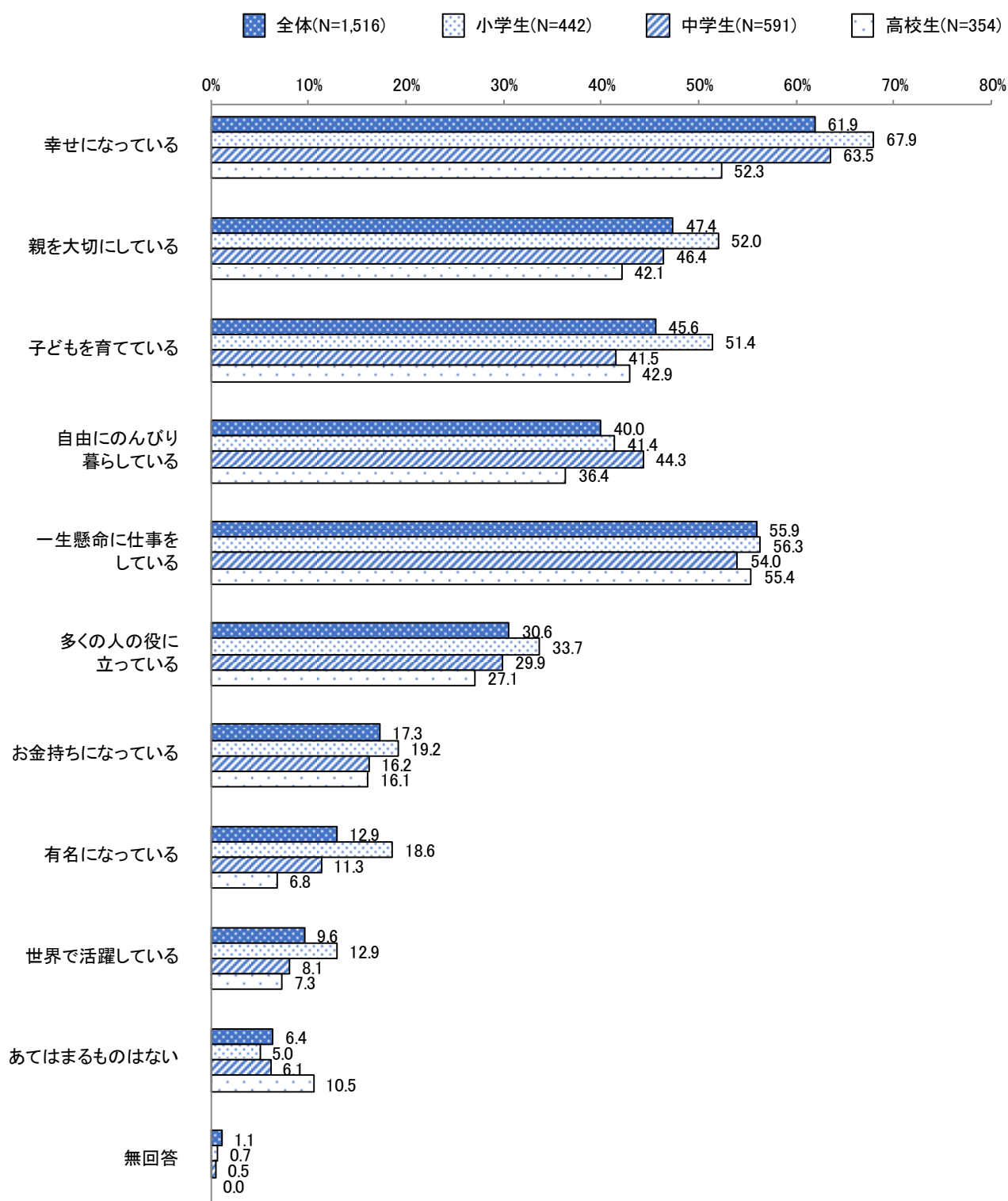


40 歳になったときの状態について 【問 43】

■あなたが40 歳くらいになったとき、次のような状態になっていると思いますか。

(複数回答)

- ◇ 全体では、「幸せになっている」が 61.9%で最も多く、次いで「一生懸命に仕事をしている」が 55.9%、「親を大切にしている」が 47.4%、「子どもを育てている」が 45.6%となっている。
- ◇ 「一生懸命に仕事をしている」の割合は、学校種別でほとんど差はなく、いずれも 55% 前後となっている。



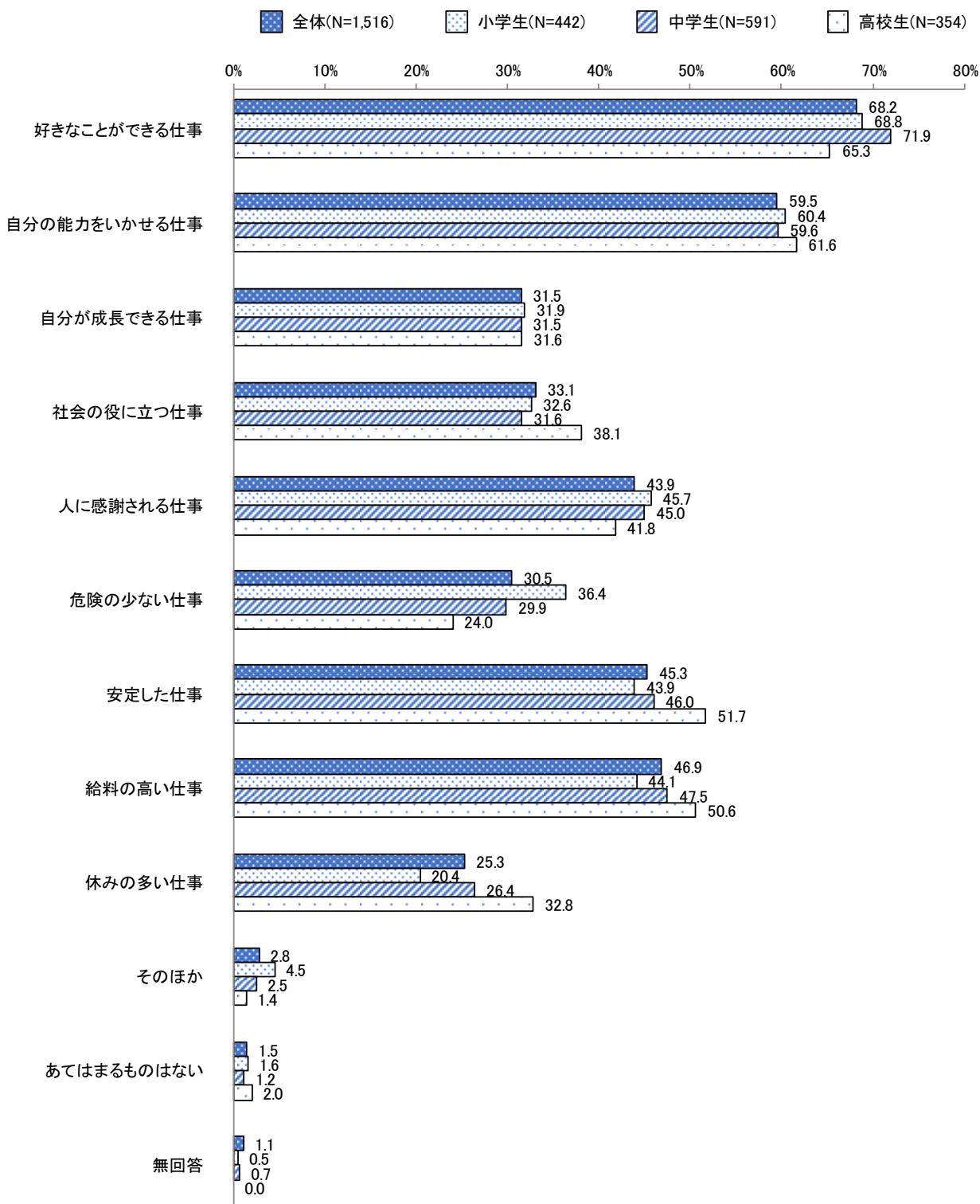
【前回調査との数値比較】

	子どもを育てている			多くの人の役に立っている		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	53.8	45.6	▲ 8.2	25.4	30.6	5.2
小学生	62.0	51.4	▲ 10.6	30.8	33.7	2.9
中学生	50.4	41.5	▲ 8.9	27.1	29.9	2.8
高校生	52.7	42.9	▲ 9.8	19.6	27.1	7.5

将来の仕事について 【問 44】

■あなたは将来どんな仕事をしたいですか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「好きなことができる仕事」が 68.2%で最も多く、次いで「自分の能力をいかせる仕事」が 59.5%、「給料の高い仕事」が 46.9%、「安定した仕事」が 45.3%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて、「安定した仕事」「給料の高い仕事」「休みの多い仕事」の割合が高くなっている。

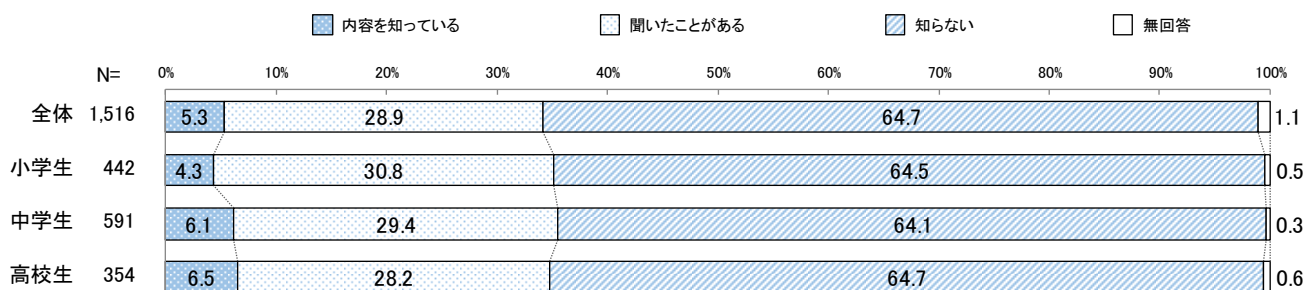


なごや子どもの権利条例を知っているかについて 【問 45】

■なごや子どもの権利条例を知っていますか。（1つ）

◇ 「知らない」が64.7%と全体の6割以上を占める。

◇ 小学生の「内容を知っている」割合が4.3%で、高校生になるにつれて高くなる。



【前回調査との数値比較】

	内容を知っている＋聞いたことがある		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	24.5	34.2	9.7
小学生	27.1	35.1	8.0
中学生	25.2	35.5	10.3
高校生	23.0	34.7	11.7

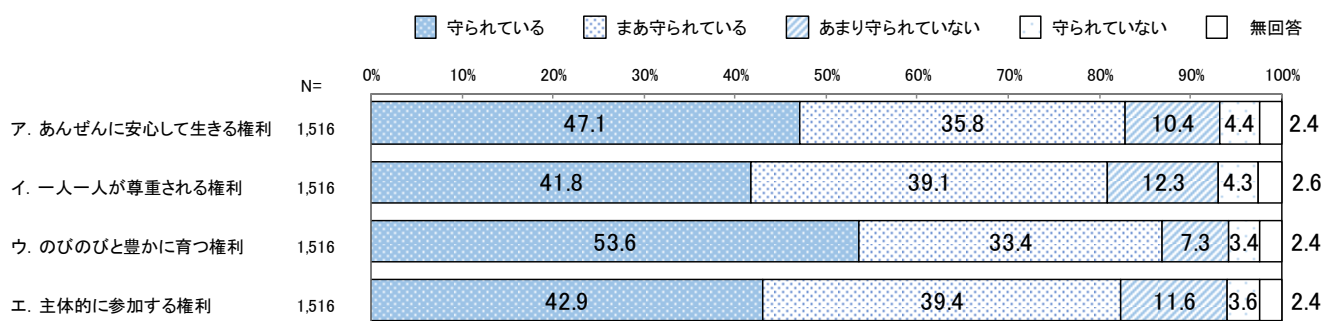
なごや子どもの権利条例で権利が守られているかについて 【問 46】

■なごや子どもの権利条例で決められている次の権利が守られていると思いますか。

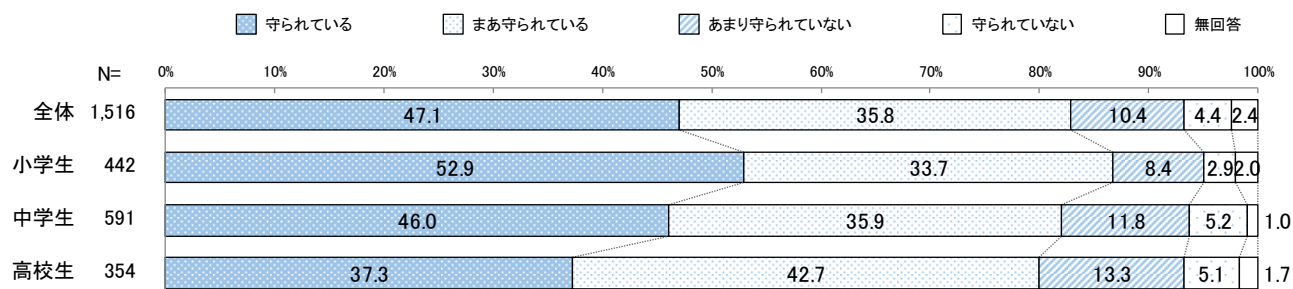
（各1つ）

◇ 全ての項目で「守られている」「まあ守られている」の合計が80%以上の割合を占めている。

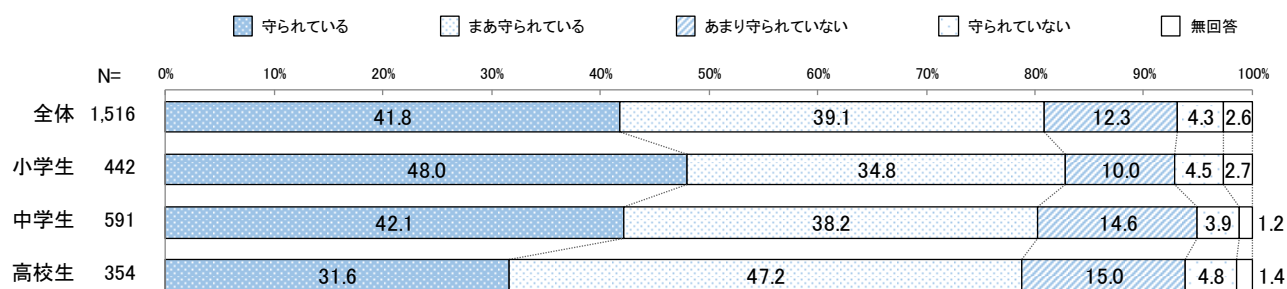
◇ 全ての項目で「守られている」「まあ守られている」の合計の割合が、高校生になるにつれて低くなる。



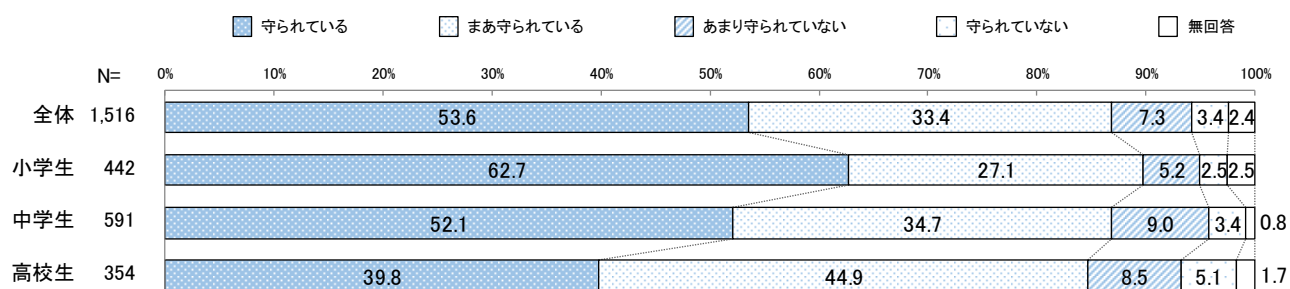
ア. あんぜんに安心して生きる権利



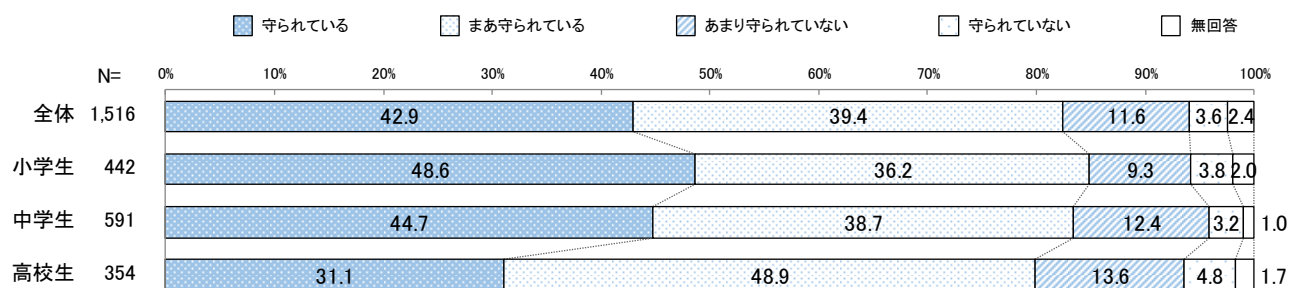
イ. 一人一人が尊重される権利



ウ. のびのびと豊かに育つ権利



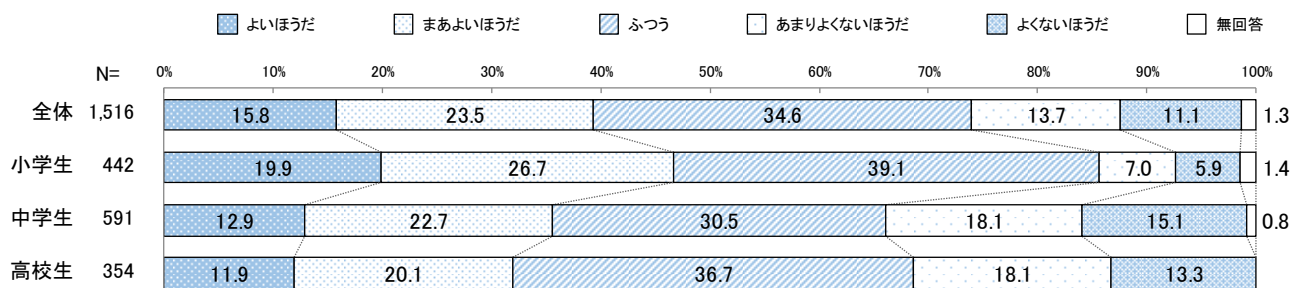
エ. 主体的に参加する権利



自分の成績について 【問 49】

■自分の成績についてどう思いますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「ふつう」が34.6%と最も多く、次いで「まあよいほうだ」が23.5%、「よいほうだ」が15.8%、「あまりよくないほうだ」が13.7%、「よくないほうだ」が11.1%となっている。
- ◇ 高校生の自分の成績がよいと感じている割合（よいほうだ＋まあよいほうだ）が一番低い。

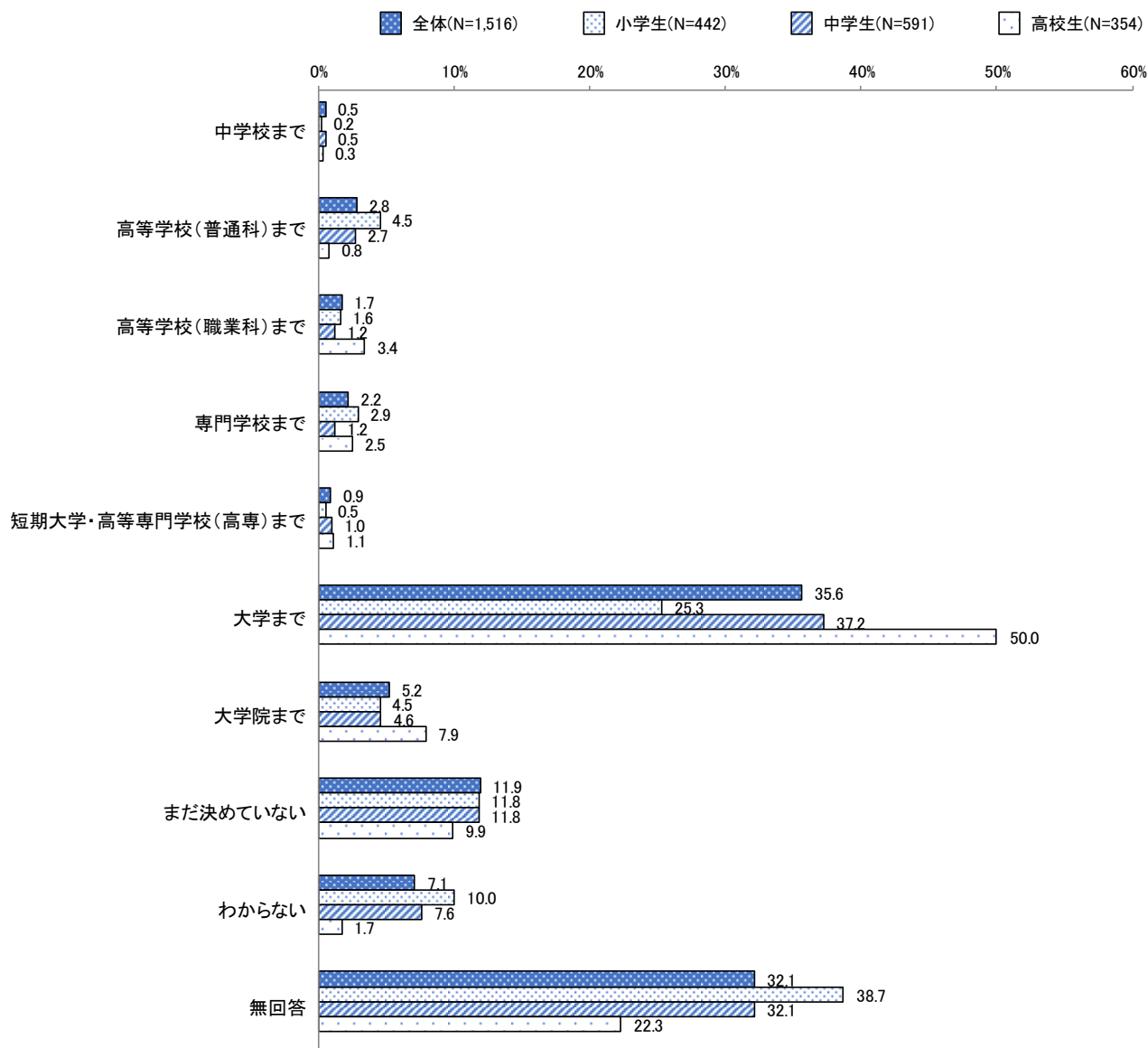


進学最終目標について 【問 50】

■進学最終目標はどこですか。(1つ)

◇ 全体では、「大学まで」が35.6%と最も多く、次いで「大学院まで」が5.2%、「高等学校（普通科）まで」が2.8%となっている。また、「まだ決めていない」が11.9%である。

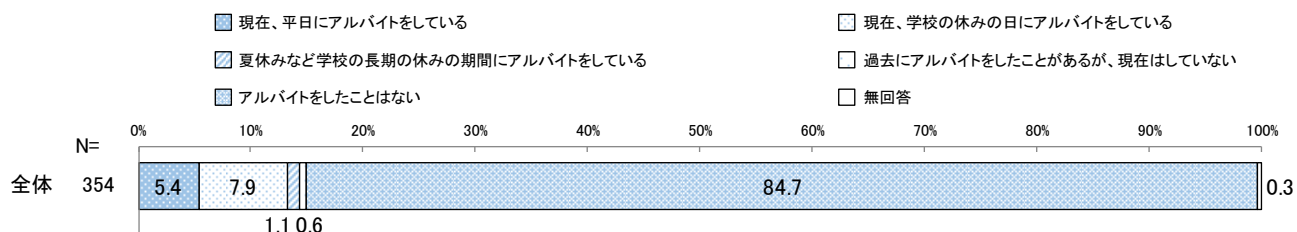
◇ 「大学まで」と回答した割合は、高校生で最も高い。



高校生のアルバイトについて 【問 51】

■アルバイトをしていますか。(高校生のみ) (1つ)

◇ 「アルバイトをしたことはない」が84.7%と最も多く、次いで「現在、学校の休みの日にアルバイトをしている」が7.9%、「現在、平日にアルバイトをしている」が5.4%となっている。



～自由意見～

自分の将来の夢や、大人に対して言いたいことなど、ご自由にお書きください。

- ◇ 「その他」を除くと、「将来の職業・夢」は 38.2%と最も多く、次いで「子どもの気持ち」が 24.7%、「大人に対して」が 10.1%であった。

表 子どもの意見の概要・件数

	件数（件）	構成比（％）
将来の職業・夢	224	38.2
子どもの気持ち	145	24.7
大人に対して	59	10.1
社会への関心	46	7.8
行政への意見等	24	4.1
その他	89	15.2
合計	587	100.0

主な意見は、以下のとおりである。

（１）将来の職業・夢（224 件）

- ・将来は看護師になってみんなから信頼される優しい看護師になりたい。
- ・将来の夢は声優になることです。
- ・私はだれもが安心してのびのびといられるカフェを父、祖母、自分の３人で営んでいきたいです。
- ・ゲームデザイナーになって、世界をおどろかせるゲームを作りたい！
- ・ぼくの将来の夢は野球選手です。今はクラブチームで頑張っています。これからもがんばります。
- ・将来はユーチューバーになってカンボジアにいる「なん民」をたすけたい。
- ・将来の夢は今のエネルギー問題を解決し、たくさんの人の役にたてる発明をし、起業したいです。

（２）子どもの気持ち（145 件）

- ・いろんな言語を話せるようになりたい。
- ・将来は、自分のやりたいことをして、のびのびと自由に健康に暮らしたい。
- ・夢はあるけど、学力が足りなくて大学に行ける自信が無い。
- ・お母さんへ、いつも相談のってくれてありがとう。
- ・中学校のランチの時間が短過ぎて早食いするのがつらいです。早食いは健康に良くないと思います。
- ・頭が良くなりたい！
- ・自分というものがはっきりなくて不安。
- ・なんでお勉強をたくさんしないといけないんですか？

(3) 大人に対して (59 件)

- ・車の交通ルールを守って欲しいです。
- ・大人よりも今私の周りにいる知人、友人の方がよっぽどまともで、すごいと思う。
どうして大人になると理不尽なことばかりで自分のことしか考えられなくなるのか私には理解できない。私はそんな大人に絶対になりたくない。
- ・子供は子供なりの意見を持っています。それを尊重してあげてください。
- ・学校でもっと有意義で社会でやくだつことを教えてほしい。
- ・大人達は、批判されないように、子ども達がけがをしないように病気にならないように、～にならないように、～が危ないからと子ども達の成長をさまたげているように感じる。子ども達にもっと経験を積ませることが大事だと思う。リスクとリターンを考えてください。

(4) 社会への関心 (46 件)

- ・子どもでも気軽に政治に関わることができる仕組みが欲しい。
- ・犯罪、いじめ、非常識なことかっこわるいよ。
- ・ブラック企業をなくして欲しい。
- ・私立大学の学費を減らしてほしいです。家から通える大学に行きたいのですが私立大学の学費が高すぎます。
- ・今より、おきゅう料がおおい社会実現をおねがいします。
- ・ずーっと戦争のない世界にして下さい。

(5) 行政への意見等 (24 件)

- ・名古屋市にも「ラーケーションの日」を導入してもらいたいです。
- ・中学にもきゅうしょくがほしい。
- ・中学校のタブレットがきたなくてこわれているのでいやだ。中学校のつくえが小さくて勉強しづらい。大きくしてほしい。
- ・子どもも大人ものびのび生きられるような市にしてください。
- ・名古屋市内、全面禁えんにしてほしい。
- ・学校などでは、生徒のケアだけでなく教師など、学校で働く人のケアというか、心に余裕を持たせたりすることも大切かなと思います。

(6) その他 (89 件)

- ・小学校の頃から「生活をよりよくするアンケート」をたくさんやってきましたが、変わったこと良くなったことがあまり感じられません。
- ・もう少しアンケートを短くしてくれると嬉しいです。